

浜村警察署鹿野駐在所改修工事

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺(A2)	図面番号	図面名称	縮尺(A2)
	【建築図】			【電気設備図】	
A-01	表紙・図面リスト	—	E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	—
A-02	建築改修工事仕様書(1)	—	E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	—
A-03	建築改修工事仕様書(2)	—	E-03	盤結線図、照明器具参考姿図	—
A-04	建築改修工事仕様書(3)	—	E-04	電灯・コンセント設備 改修図(改修後)	1:50
A-05	建築改修工事仕様書(4)	—	E-05	電灯・コンセント設備 撤去図(改修前)	1:50
A-06	工事概要・付近見取図・配置図	1:100	E-06	弱電設備 改修図(改修後)	1:50
A-07	仕上表	—	E-07	弱電設備 撤去図(改修前)	1:50
A-08	平面図(改修前)	1:50			
A-09	平面図(改修後)	1:50			
A-10	立面図(改修前)	1:100		【機械設備図】	
A-11	立面図(改修後)	1:100	M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	—
A-12	矩計図(1)(改修前)	1:30	M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	—
A-13	矩計図(2)(改修前)	1:30	M-03	冷暖房・換気設備 撤去図、改修図(改修前後)	1:50
A-14	矩計図(3)(改修後)	1:30	M-04	給排水・給湯・衛生器具設備 改修図(改修後)	1:50
A-15	矩計図(4)(改修後)	1:30	M-05	給排水・給湯・衛生器具設備 撤去図(改修前)	1:50
A-16	展開図(1)(改修前・改修後)	1:50			
A-17	展開図(2)(改修前・改修後)	1:50			
A-18	展開図(3)(改修前・改修後)	1:50			
A-19	基礎伏図(改修前・改修後)、土間コンクリート詳細図	1:100 1:30			
A-20	床伏図・軸組図(改修前・改修後)	1:100			
A-21	天井伏図(改修前・改修後)、建具配置図(改修前・改修後)	1:100			
A-22	建具表(撤去)	1:50			
A-23	建具表(改修)	1:50			
A-24	外構平面図(改修前・改修後)、外構詳細図	1:100 1:30			
A-25	車庫棟(解体棟)平面図、立面図、矩計図、基礎伏図、床伏図、小屋伏図、屋根伏図、天井伏図	1:100 1:30			



5	1	改修工法 [5. 1. 3]	<table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かませ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>アルミ製建具</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○建具表による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○建具表による</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○建具表による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○建具表による</td> </tr> </table>	建具の種類	かませ工法	撤去工法	適用箇所	アルミ製建具	-	○	○建具表による	樹脂製建具	-	-	○建具表による	鋼製建具	-	-	○建具表による	ステンレス製建具	-	-	○建具表による	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																																																																																																																																																				
		建具の種類	かませ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
アルミ製建具	-	○	○建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
樹脂製建具	-	-	○建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
鋼製建具	-	-	○建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ステンレス製建具	-	-	○建具表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>使用原の質量に対する性能(シリンダ箱のみ)</p> <p>1) ラッチボルトの側圧強度試験(4KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。</p> <p>2) レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行った後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施設時ハンドルが固定される際は、施設状態が維持され、かつ、施設操作に支障がない。</p> <p>3) 握り玉のねじり強度試験(3KN・cm)をおこなった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施設時握り玉が固定される際は、施設状態が維持され、かつ、施設操作に支障がない。</p> <p>4) ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施設時ハンドルが固定される際は、施設状態が維持され、かつ、施設操作に支障がない。</p> <p>5) ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施設時ハンドルが固定される際は、施設状態が維持され、かつ、施設操作に支障がない。</p> <p>鍵</p> <p>1) かぎ(鍵)数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ(鍵)違い数とみなさないものとする。</p> <p>2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一側みは、最大連続までとしていること。</p> <p>試験方法は、JIS A 1541-1(建築金物-鍵-第1部:試験方法)による。</p> <p>鍵前鎖(レバーハンドル)</p> <p>性能</p> <p>ねじり強度</p> <p>レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行った後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施設時ハンドルが固定される際は、施設状態が維持され、かつ、施設操作に支障がないこと。</p> <p>引張り強度</p> <p>ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施設時ハンドルが固定される際は、施設状態が維持され、かつ、施設操作に支障がないこと。</p> <p>試験方法は、JIS A 1541-1-2006及びJIS A 1541-1(建築金物-鍵-第1部:試験方法)による。</p> <p>垂直荷重強度</p> <p>ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施設時ハンドルが固定される際は、施設状態が維持され、かつ、施設操作に支障がないこと。試験方法は、JIS A 1541-1(建築金物-鍵-第1部:試験方法)による。</p> <p>・クローザー類 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>性能試験項目</th> <th>①ドアクローザ</th> <th>②ヒンジクローザ</th> <th>③フロアヒンジ</th> </tr> <tr> <td rowspan="6">初期性能</td> <td>閉じ速度(秒)</td> <td>常温(5~35℃)無風状態において、開閉(70°から全閉0°)までの時間を5~8秒に調整できること。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>温度依存性(℃)</td> <td>緩衝油の流動点は、JIS K 2259(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品量り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ストップ入力</td> <td>60N以下</td> <td>100N以下</td> <td>100N以下</td> </tr> <tr> <td>ストップ解除</td> <td>但しコシット型は200N以下</td> <td>20N以上</td> <td>10N以上</td> </tr> <tr> <td>バックチェック性能(秒)</td> <td>ドア開閉方向に荷重60N/mfを継続50°から負荷する。バックチェック開始角度(70~85°)から更に20°まで開閉の時間は0.8秒以上としていること。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>デッドロック性能(秒)</td> <td>開閉90°の位置からデッドロック解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">耐久性</td> <td>繰返し開閉後の閉じ速度(秒)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>繰返し開閉後の閉じ速度(秒)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>繰返し開閉後の閉じ速度(秒)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">耐久性の試験回数(繰返し開閉回数)</td> <td>20万回</td> <td>10万回</td> <td>30万回</td> </tr> <tr> <td>注1) Aタイプ取付けは、右記の閉じ速度の70%程度までとする。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注2) コシット型は右記の閉じ速度の50%程度までとする。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">鍵前鎖(シリンダ箱及びシリンダ本鎖)</td> <td>性能試験は、JIS A 1510-3(建築用ドア金物の試験方法-第3部:フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ)に規定する試験方法による。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2) 試験1)の質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>マスターキー</td> <td>製作する(組)</td> <td>製作しない</td> <td>既存に補込む</td> </tr> <tr> <td>鍵の製作本数</td> <td>※各室3本1組(室名札付き)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鍵箱</td> <td>設ける(組用)</td> <td>設けない</td> <td></td> </tr> </table>	区分	性能試験項目	①ドアクローザ	②ヒンジクローザ	③フロアヒンジ	初期性能	閉じ速度(秒)	常温(5~35℃)無風状態において、開閉(70°から全閉0°)までの時間を5~8秒に調整できること。			温度依存性(℃)	緩衝油の流動点は、JIS K 2259(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品量り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。			ストップ入力	60N以下	100N以下	100N以下	ストップ解除	但しコシット型は200N以下	20N以上	10N以上	バックチェック性能(秒)	ドア開閉方向に荷重60N/mfを継続50°から負荷する。バックチェック開始角度(70~85°)から更に20°まで開閉の時間は0.8秒以上としていること。			デッドロック性能(秒)	開閉90°の位置からデッドロック解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。			耐久性	繰返し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。			繰返し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。			繰返し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。			耐久性の試験回数(繰返し開閉回数)	20万回	10万回	30万回	注1) Aタイプ取付けは、右記の閉じ速度の70%程度までとする。			注2) コシット型は右記の閉じ速度の50%程度までとする。			鍵前鎖(シリンダ箱及びシリンダ本鎖)	性能試験は、JIS A 1510-3(建築用ドア金物の試験方法-第3部:フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ)に規定する試験方法による。				2) 試験1)の質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。				マスターキー	製作する(組)	製作しない	既存に補込む	鍵の製作本数	※各室3本1組(室名札付き)			鍵箱	設ける(組用)	設けない		<p>5. 7. 2~4]</p> <p>建具の加工、組立時の含水率 ※A種</p> <p>建築物の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆</p> <p>○フラッシュ</p> <p>表面材の合板の品質等</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種 生地、透湿材料等 (※ラワン合板程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>樹種名() 接着の程度(・1類・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 ○オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能()タイプ 接着の程度(・1類・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)</td> <td>表面の状況による区分() 曲げ強さによる区分() 接着剤による区分() 難燃性による区分()</td> <td></td> </tr> </table> <p>表面材の厚さ ※改修標準仕様書表5.7.6による</p> <p>・かまち戸 かまち樹種() 鋼製樹種() 見込み寸法 ※36mm ・建具表による</p> <p>・ふすま 張りの種類(・I型・II型) 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁(無地) ・生地縁(ウレタンリキヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による(既存建具改修)</p> <p>・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・縦張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・枠、くつりの材料 ・建具表による</p> <p>※取付け調整は、1名以上の技能士が自ら作業するとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。</p> <p>ガラス [5. 1. 4. 2~4]</p> <p>下記のガラス以外の種類、厚さの呼びによる種類等 ※ 建具表による</p> <p>合わせガラスの材料ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>材料ガラスの種類、組合せ</th> <th>落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類</th> </tr> <tr> <td>・フロート板、フロート板合わせガラス</td> <td>・I類 ・II-2類 ・III類</td> </tr> </table> <p>強化ガラスの形状による種類、材料ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>材料ガラスの種類による名称</th> <th>材料ガラス</th> <th>破損の状態及びショットバック衝撃特性による種類</th> </tr> <tr> <td>○フロート強化ガラス</td> <td>○フロート板ガラス</td> <td>・I類 ・II類</td> </tr> </table> <p>熱線吸収ガラスの材料ガラスの種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>材料ガラスの種類</th> <th>性能による種類</th> <th>色調</th> </tr> <tr> <td>・熱線吸収入りフロートガラス</td> <td>・1類 ・2類</td> <td>・グリーン</td> </tr> </table> <p>複層ガラスの材料ガラスの種類、厚さの組合せ及び複層ガラスの厚さ ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>断熱性による区分</th> <th>乾燥気体の種類</th> </tr> <tr> <td>・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6</td> <td>○空気 ・アルゴン</td> </tr> </table> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分</p> <table border="1"> <tr> <th>乾燥気体の種類</th> </tr> <tr> <td>・G ○S ○空気 ・アルゴン</td> </tr> </table> <p>熱線反射ガラスの材料ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>材料ガラスの種類</th> <th>日射遮蔽性による区分</th> <th>耐久性による区分</th> </tr> <tr> <td>色調(・ブルー ・グレー)</td> <td>・1類 ・2類 ・3類</td> <td>A類 ・A類 ・B類</td> </tr> </table> <p>反射係数調整 ・内面 ・外面 映り調整 ・行わない ・行う</p> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラスの留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形</td> <td>※建具の製造時の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>※シーリング材</td> <td>※建具の製造時の仕様による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※シーリング材</td> <td>※建具の製造時の仕様による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形</td> <td>※建具の製造時の仕様による</td> </tr> </table>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板	表面の樹種 生地、透湿材料等 (※ラワン合板程度)		・天然木化粧合板	樹種名() 接着の程度(・1類・2類)		・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ○オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能()タイプ 接着の程度(・1類・2類)		・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)	表面の状況による区分() 曲げ強さによる区分() 接着剤による区分() 難燃性による区分()		材料ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類	・フロート板、フロート板合わせガラス	・I類 ・II-2類 ・III類	材料ガラスの種類による名称	材料ガラス	破損の状態及びショットバック衝撃特性による種類	○フロート強化ガラス	○フロート板ガラス	・I類 ・II類	材料ガラスの種類	性能による種類	色調	・熱線吸収入りフロートガラス	・1類 ・2類	・グリーン	断熱性による区分	乾燥気体の種類	・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6	○空気 ・アルゴン	乾燥気体の種類	・G ○S ○空気 ・アルゴン	材料ガラスの種類	日射遮蔽性による区分	耐久性による区分	色調(・ブルー ・グレー)	・1類 ・2類 ・3類	A類 ・A類 ・B類	建具の種類	ガラスの留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※建具の製造時の仕様による	鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材	※建具の製造時の仕様による	ステンレス製	※シーリング材	※建具の製造時の仕様による	樹脂製	※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※建具の製造時の仕様による	<p>6</p>	内装改修工事	<p>他の部位との取合い等 [6. 1. 3]</p> <p>既存床の撤去及び下地補修 [6. 2. 2]</p> <p>既存壁の撤去及び下地補修 [6. 3. 2]</p> <p>製材 [6. 5. 2]</p> <p>5</p>	<p>既存切壁等の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の構造範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げとする ・図示</p> <p>天井内の既存壁等の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両面600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げとする ・図示</p> <p>既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示</p> <p>ビニルシート等の撤去 ※仕上げ材のみ(接着剤共) ・下地モルタル等(・図示の範囲) ・撤去範囲全て)</p> <p>合成樹脂塗料の除去工法 ・機械的除去工法 ・目視工法</p> <p>既存のコンクリート又はモルタル面の地下処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外装改修工事による。</p> <p>改修後の床の清浄範囲 ※改修部の端部より1m程度</p> <p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書表4.9.1によるモルタル塗り(仕上げ厚又は全厚25mmを超える場合の措置 ※図示)</p> <p>ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ※木材のうち、杉、桧及び松は、「鳥取県産木材産地証明制度」の認証を受けたものを使用する。</p> <p>○JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の利用</th> </tr> <tr> <td>壁・天井下地床板・小屋根</td> <td>スギ</td> <td>図示</td> <td>※2種</td> <td>図示</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>○JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の利用</th> </tr> <tr> <td>見え張り面</td> <td>スギ</td> <td>図示</td> <td>※小節</td> <td>図示</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>見え張り面以外</td> <td></td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td></td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の利用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10%以下</td> <td>・A種 ・B種</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・JAS 1083(製材)以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の利用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>・適用する ・適用しない(※A種・B種)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・「集材材の日本森林規格」による造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・「集材材の日本森林規格」による化粧張り造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品目</th> <th>樹種名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・「集材材の日本森林規格」以外の造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・「集材材の日本森林規格」以外の化粧張り造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・JAS 0701に基づく造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無し(加工・天然木加工・塗装加工) ・適用する ・適用しない</td> <td></td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・JAS 0701以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・適用する ・適用しない</td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・JAS 3079に基づく直交集材材(CLT)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>曲げ強度(強度等級)</th> <th>種類</th> <th>強度性能(使用環境)</th> <th>樹種名</th> <th>間伐材等の利用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>有効断面係数比</th> <th>防虫等級</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※5.5 ・12</td> <td></td> <td>※1類 広葉樹 ・2類 針葉樹 ※C-D以上</td> <td></td> <td>※C-D以上</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>○特別</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>○構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>有効断面係数比</th> <th>防虫等級</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td>※12 ・15</td> <td>※2級以上 ・1級</td> <td>※1類 ○特別</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>○特別</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>-</td> </tr> </table>	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の利用	壁・天井下地床板・小屋根	スギ	図示	※2種	図示	※A種	・B種	-	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の利用	見え張り面	スギ	図示	※小節	図示	※A種	・B種	-	見え張り面以外			※小節以上		※A種	・B種	-	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の利用				※1等		※10%以下	・A種 ・B種	-	施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の利用				()	・適用する ・適用しない(※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	-	施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用					※1等 ・2等		-	施工箇所	品目	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用		化粧薄板: 芯材:					※1等 ・2等	-	施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用					※15%以下	-	施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用		化粧薄板: 芯材:				※15%以下	-	施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用				・無し(加工・天然木加工・塗装加工) ・適用する ・適用しない		-	施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用				・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・適用する ・適用しない		※14%以下	-	施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種類	強度性能(使用環境)	樹種名	間伐材等の利用							-	施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	有効断面係数比	防虫等級	強度等級	間伐材等の適用		※5.5 ・12		※1類 広葉樹 ・2類 針葉樹 ※C-D以上		※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	○特別	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	-	施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫等級	強度等級	間伐材等の適用	図示	※12 ・15	※2級以上 ・1級	※1類 ○特別	※C-D以上		・適用する ・適用しない	○特別	・適用する ・適用しない	-	<p>有限会社 保木本設計</p> <p>一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号</p> <p>一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一</p> <p>CHECK DESIGN DRAW PROJECT NO TITLE DRAWING NAME SCALE NO</p> <p>浜村警察署鹿野駐在所改修工事 建築改修工事仕様書(2) - A-03</p>
区分	性能試験項目	①ドアクローザ	②ヒンジクローザ	③フロアヒンジ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
初期性能	閉じ速度(秒)	常温(5~35℃)無風状態において、開閉(70°から全閉0°)までの時間を5~8秒に調整できること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	温度依存性(℃)	緩衝油の流動点は、JIS K 2259(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品量り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	ストップ入力	60N以下	100N以下	100N以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	ストップ解除	但しコシット型は200N以下	20N以上	10N以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	バックチェック性能(秒)	ドア開閉方向に荷重60N/mfを継続50°から負荷する。バックチェック開始角度(70~85°)から更に20°まで開閉の時間は0.8秒以上としていること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	デッドロック性能(秒)	開閉90°の位置からデッドロック解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
耐久性	繰返し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	繰返し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	繰返し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
耐久性の試験回数(繰返し開閉回数)	20万回	10万回	30万回																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	注1) Aタイプ取付けは、右記の閉じ速度の70%程度までとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	注2) コシット型は右記の閉じ速度の50%程度までとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
鍵前鎖(シリンダ箱及びシリンダ本鎖)	性能試験は、JIS A 1510-3(建築用ドア金物の試験方法-第3部:フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ)に規定する試験方法による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	2) 試験1)の質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	マスターキー	製作する(組)	製作しない	既存に補込む																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	鍵の製作本数	※各室3本1組(室名札付き)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	鍵箱	設ける(組用)	設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
合板の種類	規格等	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・普通合板	表面の樹種 生地、透湿材料等 (※ラワン合板程度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・天然木化粧合板	樹種名() 接着の程度(・1類・2類)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ○オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能()タイプ 接着の程度(・1類・2類)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)	表面の状況による区分() 曲げ強さによる区分() 接着剤による区分() 難燃性による区分()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
材料ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・フロート板、フロート板合わせガラス	・I類 ・II-2類 ・III類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
材料ガラスの種類による名称	材料ガラス	破損の状態及びショットバック衝撃特性による種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○フロート強化ガラス	○フロート板ガラス	・I類 ・II類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
材料ガラスの種類	性能による種類	色調																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・熱線吸収入りフロートガラス	・1類 ・2類	・グリーン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
断熱性による区分	乾燥気体の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6	○空気 ・アルゴン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
乾燥気体の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・G ○S ○空気 ・アルゴン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
材料ガラスの種類	日射遮蔽性による区分	耐久性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
色調(・ブルー ・グレー)	・1類 ・2類 ・3類	A類 ・A類 ・B類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
建具の種類	ガラスの留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※建具の製造時の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材	※建具の製造時の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ステンレス製	※シーリング材	※建具の製造時の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
樹脂製	※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※建具の製造時の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の利用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
壁・天井下地床板・小屋根	スギ	図示	※2種	図示	※A種	・B種	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の利用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
見え張り面	スギ	図示	※小節	図示	※A種	・B種	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
見え張り面以外			※小節以上		※A種	・B種	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の利用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			※1等		※10%以下	・A種 ・B種	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の利用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			()	・適用する ・適用しない(※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				※1等 ・2等		-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品目	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	化粧薄板: 芯材:					※1等 ・2等	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				※15%以下	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			・無し(加工・天然木加工・塗装加工) ・適用する ・適用しない		-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・適用する ・適用しない		※14%以下	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種類	強度性能(使用環境)	樹種名	間伐材等の利用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
						-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	有効断面係数比	防虫等級	強度等級	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	※5.5 ・12		※1類 広葉樹 ・2類 針葉樹 ※C-D以上		※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	○特別	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫等級	強度等級	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
図示	※12 ・15	※2級以上 ・1級	※1類 ○特別	※C-D以上		・適用する ・適用しない	○特別	・適用する ・適用しない	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

Table with 5 columns: 内装改修工事, 防音・防振処理, 軽量鉄骨天井下地, 軽量鉄骨壁下地, ビニル床シート, ビニル床タイル. Includes material specifications, dimensions, and application methods.

Table with 5 columns: 接着剤, ビニル幅木, ゴム床タイル, カーペット敷き, 合成樹脂塗床, 防じん用塗床, フローリング張り, 壁紙張り, モルタル塗り. Includes material types, grades, and application details.

Table with 5 columns: せっこうボード, 塗装改修工事, 床仕上げ, 防音・防振処理, 防音・防振処理. Includes material grades, dimensions, and performance requirements.

Table with 5 columns: 防音・防振処理, 防音・防振処理, 防音・防振処理, 防音・防振処理, 防音・防振処理. Includes material grades, dimensions, and performance requirements.

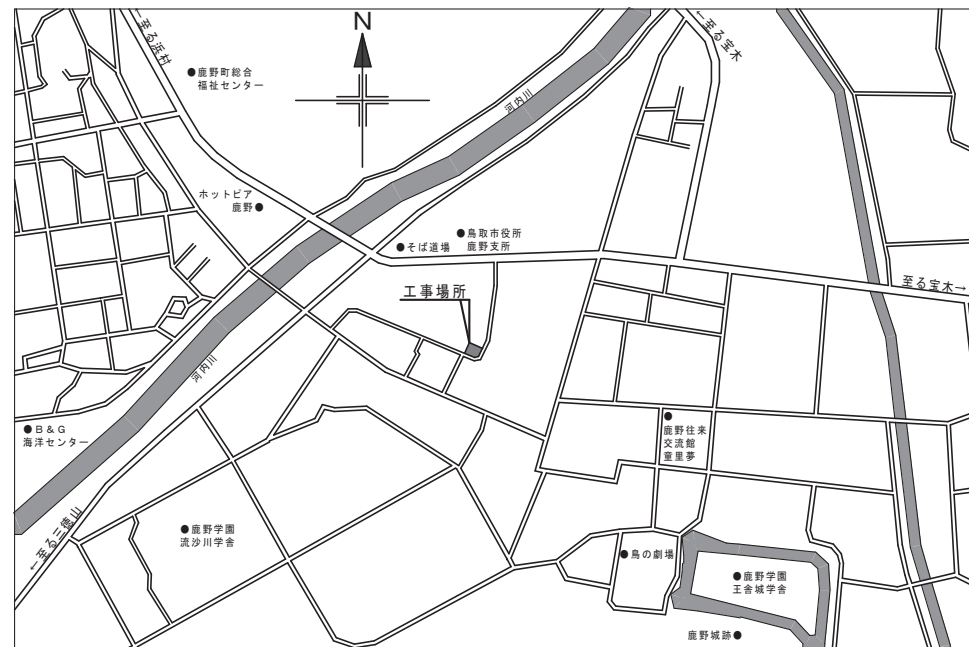


■工事概要■

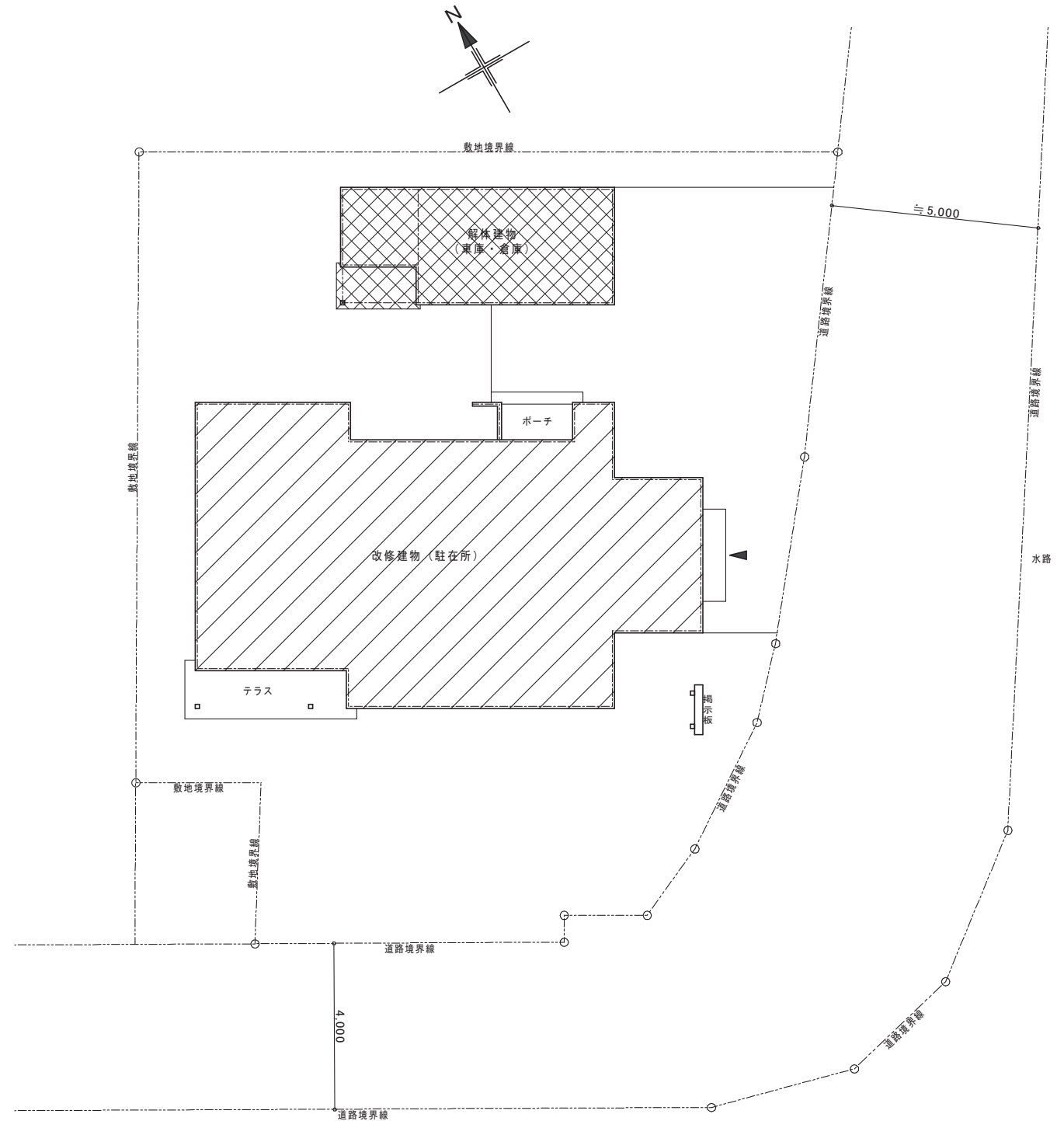
1. 既存駐在所（木造平屋建て、床面積72.32㎡の内外装改修及びコミュニティルームの設置等を行う。
2. 既存車庫・倉庫舎（木造平屋建て16.11㎡）の解体を行う。
3. 既存駐在所の各室照明器具更新（LED化）及び通信線管路新設等を行う。
4. 既存駐在所のトイレの洋式化、衛生設備の更新及び空調設備の更新等を行う。

概略工事工程表（参考）

	1月目	2月目	3月目	4月目	5月目
準備工 仮設工	■				
撤去工事		■			
外装工事			■		
内装工事			■	■	
検査・是正 後片付					■
設備撤去工事	■				
設備改修工事		■	■		
車庫棟解体	■				



付近見取図



配置図 S=1:100



(A2→A3: 縮尺率70.7%各図共通)

	有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK	DESIGN	DRAW	PROJECT NO	TITLE 浜村警察署鹿野駐在所改修工事	DRAWING NAME 工事概要、付近見取図、配置図	SCALE 1:100	NO A-06

外部仕上表

部位	現状	仕様	既存	撤去	改修	開口部	既存	改修	備考
屋根(事務所)	既存のまま	型枠用合板12t 下地アスファルトルーフィング22kg下葺き日本瓦葺き(寄棟)	既存	撤去	改修	開口部	既存	改修	・外壁吹付材にアスベストが含有していないことを定性分析により確認している。(倉庫共)
屋根(住戸)	既存のまま	型枠用合板12t 下地アスファルトルーフィング22kg下葺き日本瓦葺き(切妻)	既存	撤去	改修	開口部	既存	改修	・倉庫屋根材(化粧スレート)にアスベストが含有していることを定性分析により確認している。
鼻隠し(事務所)	既存のまま	20x120	既存のまま	撤去	改修	土台水切	既存	改修	
破風板・鼻隠し(住戸)	既存のまま	鼻隠し25x150 破風板25x180	既存のまま	撤去	改修	根廻り	既存	改修	
軒表	既存のまま	軒天用化粧合板2.5t表し(垂木共)	既存のまま	撤去	改修	ポーチ	既存のまま	改修	
軒裏	既存のまま	塩ビ半丸105φ受け金物#450	撤去(一部)	撤去	改修		既存のまま	改修	
壁	既存	塩ビ60φ掘込み金物#1200(一部撤去)	改修(一部)	改修	改修		既存のまま	改修	
改修(一部)	カラー塩ビ60φSUS掘込み金物#1200								

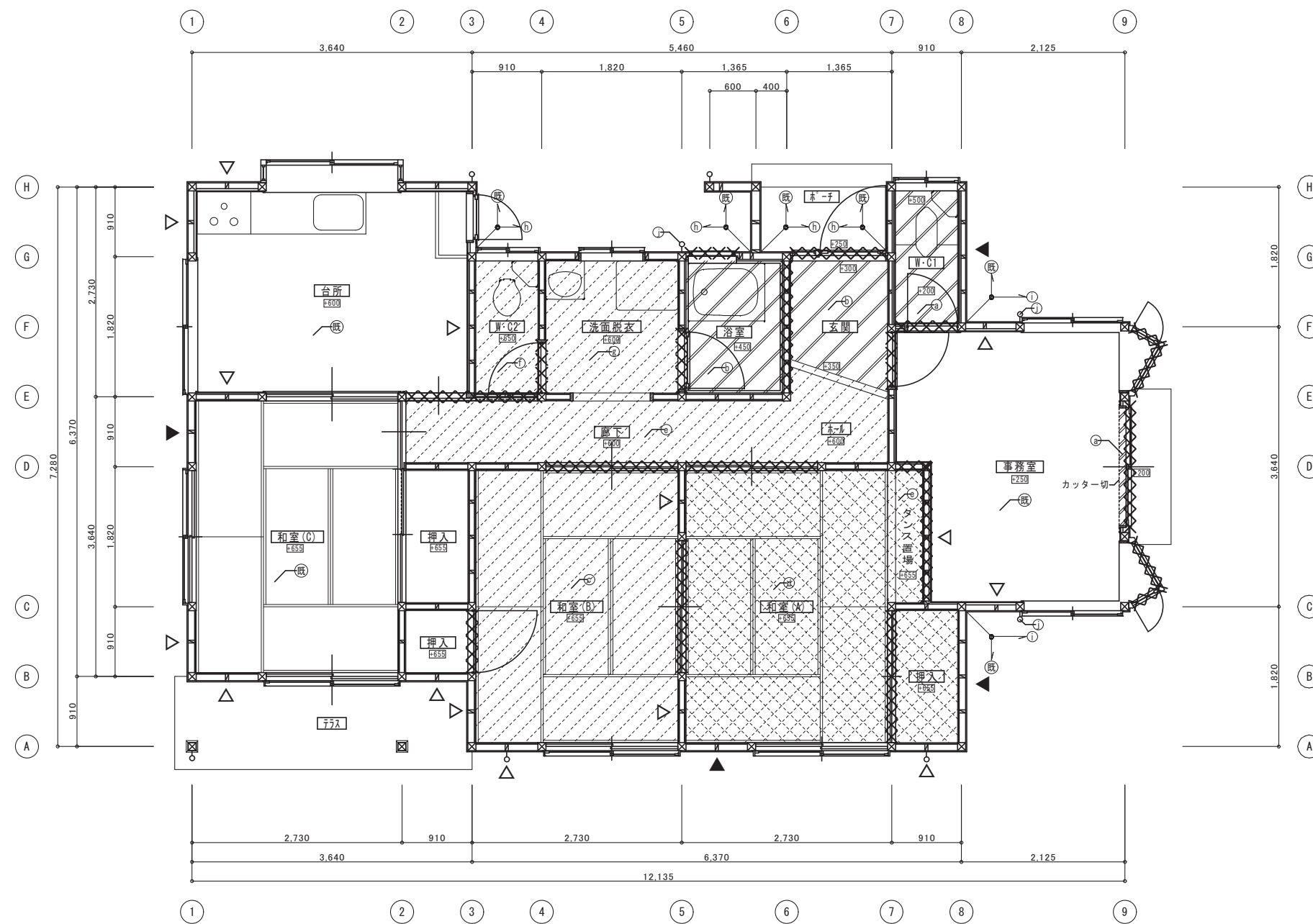
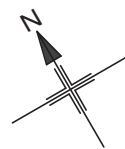
内部仕上表

階	室名(旧室名)	床	巾木	壁	天井	廻り縁	天井高	備考
1階	事務室	既存	コンクリート下地モルタル塗り金コテ押え目地切	モルタル金コテ押え	ラスボード7.0t(外壁側)+ラワン合板4.0t下地 ビニルクロス張り	—	2.750	
		撤去・下地	既存下地調整	既存下地調整	ビニルクロス撤去(合板・ボード共)	—	—	—
		改修後	FS2.0t張り	ビニル巾木H=100新設	GB-R12.5t下地珪藻土仕上塗材(C面のみ珪藻土クロス張り)	—	2.500	
	トイレ1	既存	コンクリート下地モルタル塗り金コテ押え	モルタル金コテ押え	ラスボード7.0t(外壁側)+FK6.0t下地 ビニルクロス張り	—	2.550	
		撤去・下地	モルタル撤去(土間コンクリート共) / 土間コンクリート120t新設	モルタル撤去	ビニルクロス撤去(下地ボード共)	—	—	—
		改修後	モルタル塗りの上FS2.0t張り	モルタル塗りビニル巾木H=100	GB-S12.5t下地ビニルクロス張り	—	2.300	
	(玄関)	既存	コンクリート下地100角タイル張り	モルタル金コテ押え	ラスボード7.0t(外壁側)+ラワン合板4.0t下地 ビニルクロス張り	—	2.650	
	コミュニティールーム	撤去・下地	100角タイル撤去(土間コンクリート共) / 土間コンクリート120t新設	モルタル撤去	ビニルクロス撤去(合板・ボード共)	—	—	
		改修後	モルタル塗りの上FS2.0t張り	モルタル塗りビニル巾木H=100	GB-R12.5t下地珪藻土仕上塗材	—	—	カーテンレール(ダブル)
	(浴室)	既存	コンクリート下地ユニットタイル張り	100角タイル張り	ラスモルタル下地100角タイル張り	—	2.550~2.700	
	コミュニティールーム	撤去・下地	ユニットタイル撤去(土間コンクリート共) / 土間コンクリート120t新設	100角タイル撤去	ラスモルタル100角タイル撤去	—	—	浴槽撤去
		改修後	モルタル塗りの上FS2.0t張り	モルタル塗りビニル巾木H=100	GB-R12.5t下地珪藻土仕上塗材	—	—	—
	(和室A)	既存	床板15t下地タタミ敷き55t	タタミ寄せ60x25	ラスボード7.0t(外壁側)+ラワン合板4.0t下地ジュラク調クロス張り	—	2.400	
	控室	撤去・下地	タタミ撤去(下地板15t床組み共) / 土間コンクリート120t新設	タタミ寄せ撤去	ジュラク調クロス撤去(合板・ボード共)	—	—	
		改修後	モルタル塗りの上FS2.0t張り	モルタル塗りビニル巾木H=100	GB-R12.5t下地ビニルクロス張り	—	—	カーテンレール(ダブル)
	(押入)	既存	ラワン合板5.5t張り	雑巾摺り	ラスボード7.0t(外壁側)+ラワン合板4.0t張り	—	2.400	
	物入	撤去・下地	ラワン合板5.5t撤去(床組み共) / 土間コンクリート120t新設	雑巾摺り撤去	ボード・合板共撤去	—	—	
		改修後	モルタル塗りの上FS2.0t張り	モルタル塗りビニル巾木H=100	GB-R12.5t下地ビニルクロス張り	—	—	—
	(ホール・廊下)	既存	ラワン合板5.5t下地長尺フローリング12.5t張り	木製	ラワン合板4.0t下地 ビニルクロス張り	—	2.400	
	踏込・廊下	撤去・下地	合板・フローリング撤去(一部根太共) / 一部土間コンクリート120t新設	木製幅木撤去	ビニルクロス撤去(合板共)	—	—	
		改修後	構造用合板12t下地複合フローリング12t張り(根太新設共)	ビニル巾木H=60 新設	GB-R12.5t下地ビニルクロス張り	—	—	—
	(和室B)	既存	床板15t下地タタミ敷き55t	タタミ寄せ60x25	ラスボード7.0t(外壁側)+ラワン合板4.0t下地ジュラク調クロス張り	—	2.400	
	洋室	撤去・下地	タタミ撤去(下地板15t根太共) / 根太@303新設	タタミ寄せ撤去	ジュラク調クロス撤去(合板・ボード共)	—	—	
		改修後	構造用合板12t下地複合フローリング12t張り(根太新設共)	ビニル巾木H=60ビニル巾木H=100	GB-R12.5t下地ビニルクロス張り	—	—	カーテンレール(ダブル)
	(洗面脱衣室)	既存	型枠用合板12t下地ビニル床シート2.0t張り	木製	ラスボード7.0t(外壁側)+FK6.0t下地タイル調クロス張り	—	2.400	
	湯沸室	撤去・下地	床シート撤去(下地合板共)	木製幅木撤去	タイル調クロス撤去(ボード・合板共)	—	—	洗面化粧台撤去・洗濯機パン撤去
		改修後	構造用合板12t下地複合フローリング12t張り(根太新設共)	ビニル巾木H=60 新設	GB-S12.5t下地ビニルクロス張り	—	—	ミニキッチン1200新設(L1X1L-DMK12LWE1G100L程度)
	トイレ2	既存	複合フローリング12.0t張り	木製	ラスボード7.0t(外壁側)+FK6.0t下地タイル調クロス張り	—	2.350	
		撤去・下地	フローリング撤去(根太共)	幅木撤去	タイル調クロス撤去(合板・ボード共)	—	—	
		改修後	構造用合板12t下地複合フローリング12t張り(根太新設共)	ビニル巾木H=60 新設	GB-S12.5t下地ビニルクロス張り	—	—	
	台所	既存	複合フローリング12.0t張り	木製	ラスボード7.0t(外壁側)+FK-D6.0t一部ラスモルタルタイル張り	—	2.350	
		撤去・下地	—	—	—	—	—	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	—	—	
	和室C	既存	床板15t下地タタミ敷き55t	タタミ寄せ	ラスボード7.0t(外壁側)+ラワン合板4.0t下地ジュラク調クロス張り	—	2.400	
		撤去・下地	—	—	—	—	—	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	—	—	
	押入	既存	ラワン合板9.0t張り	雑巾摺り	ラスボード7.0t(外壁側)+ラワン合板4.0t張り	—	2.400	
		撤去・下地	—	—	—	—	—	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	—	—	

■特記事項■

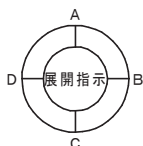
＜ホルムアルデヒド及びVOC放散量等級＞ *各材料の放散量等級は下記以上とする		＜使用材料略記号等＞ *以降の図面においても共通の表現とする		＜断熱施工部位・仕様＞		
合板等	本工事に使用する合板等は全てF☆☆☆☆品とする。	GB-R	石膏ボード	珪藻土仕上塗材	壁	高性能グラスウール(10kg/m3) 100t 新設
クロス	壁紙は全てF☆☆☆☆品とする。	GB-S	シーリング石膏ボード	SDB 14t		(又は、熱抵抗2.2㎡・K/W以上の同等品)
クロス貼り施工	クロス貼りにはでんぶん系施工糊F☆☆☆☆品使用とする。	GB-D	化粧石膏ボード	SDB 16t		対象室:3通り~9通り間
手摺、カウンター等	手摺、カウンター等集成材は全てF☆☆☆☆品とする。	FK	ケイ酸カルシウム板		天井	高性能グラスウール(10kg/m3) 200t 新設
キッチンセット	キッチンセットは全てF☆☆☆☆品とする。	FS	複層ビニル床シート			(又は、熱抵抗4.4㎡・K/W以上の同等品)
木製建具	木製建具に使用する合板等は全てF☆☆☆☆品とする。	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り			対象室:3通り~9通り間
接着剤等	本工事に使用する接着剤は全てF☆☆☆☆品とする。	WP	木材保護塗料塗り		床(住戸ゾーン)	フェノールフォーム断熱材1種 50t 新設
断熱材	告示対象外品					対象室:廊下、洋室、トイレ2、湯沸室
畳	告示対象外品	FF	フェノールフォーム断熱材1種			
木材保護塗料	告示対象外品	GW	高性能グラスウール(10kg/m3)		開口部	樹脂製内窓 新設(詳細は建具表による)
PB	告示対象外品					

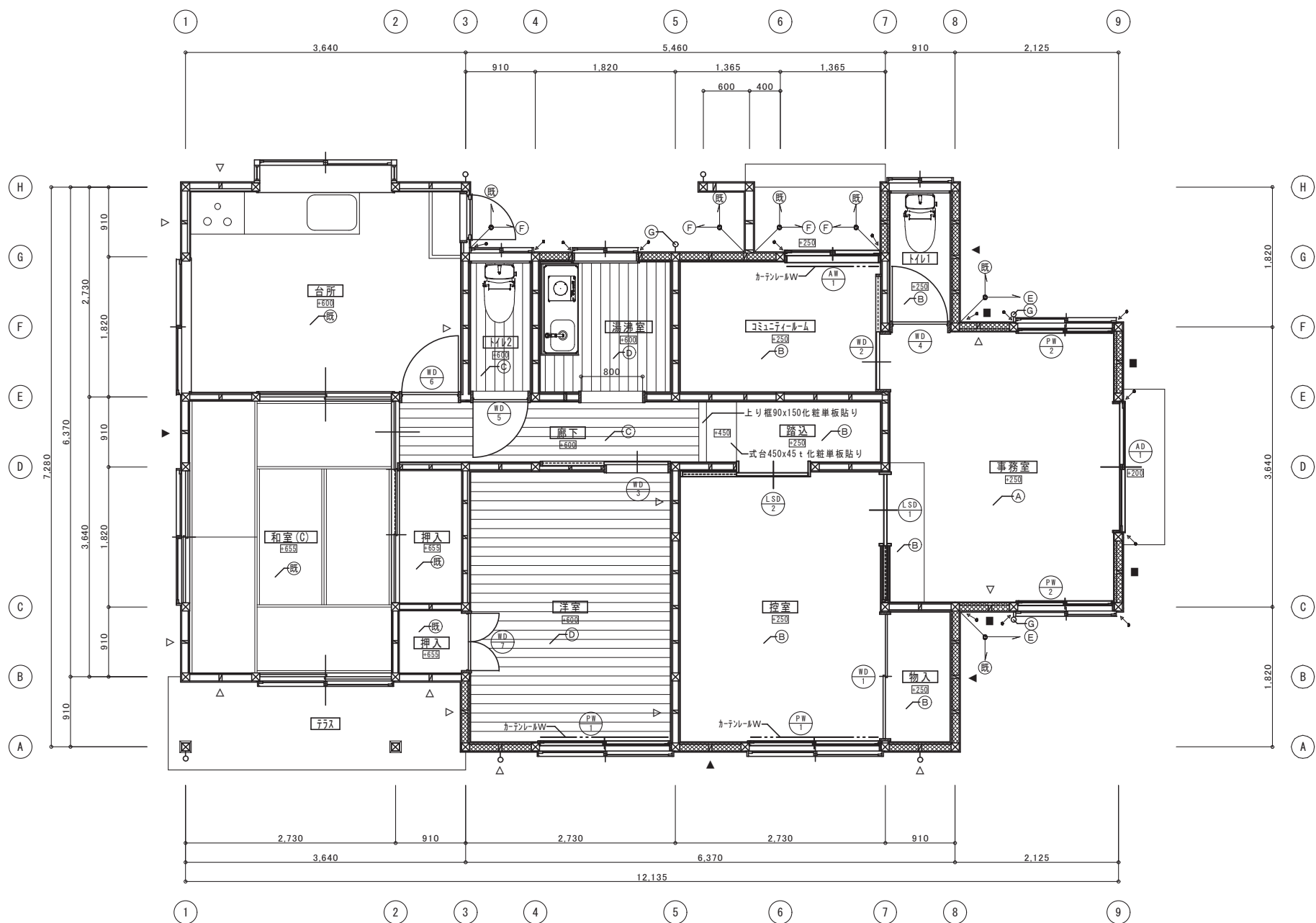
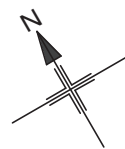




平面図 (改修前) S=1:50

凡例	
(a)	床モルタル塗り撤去 (土間コンクリート100t共)
(b)	床タイル張り撤去 (土間コンクリート100t共)
(c)	床タタミ55t撤去 (床板15t、根太60x54@450共)
(d)	床タタミ55t撤去 (床板15t、根太60x54@450、大引・床束90x90、東石共)
(e)	床長尺フローリング12.5t撤去 (下地合板5.5t、根太60x54@300共)
(f)	床複合フローリング12.5t撤去 (根太60x54@300共)
(g)	床ビニル床シート2.0t撤去 (下地合板12t、根太60x54@300共)
(h)	外壁SDB11t撤去
(i)	外壁SDB11tヨロイ張り撤去
(j)	塩ビ壁紙60撤去
(既)	既存のまま
E603	各室の現況床仕上げ高さ (GL=±0として表記)
☒	既存柱105x105
△	既存筋交い45x105
▲	既存筋交い45x105たすき掛け
(斜線)	床仕上材撤去範囲
(点線)	床仕上材 (床組み共) 撤去範囲
(格子)	土間コンクリート等撤去範囲 (周囲カッター切り共)
(破線)	間仕切り壁・建具等撤去範囲

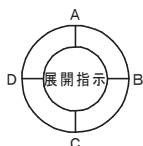


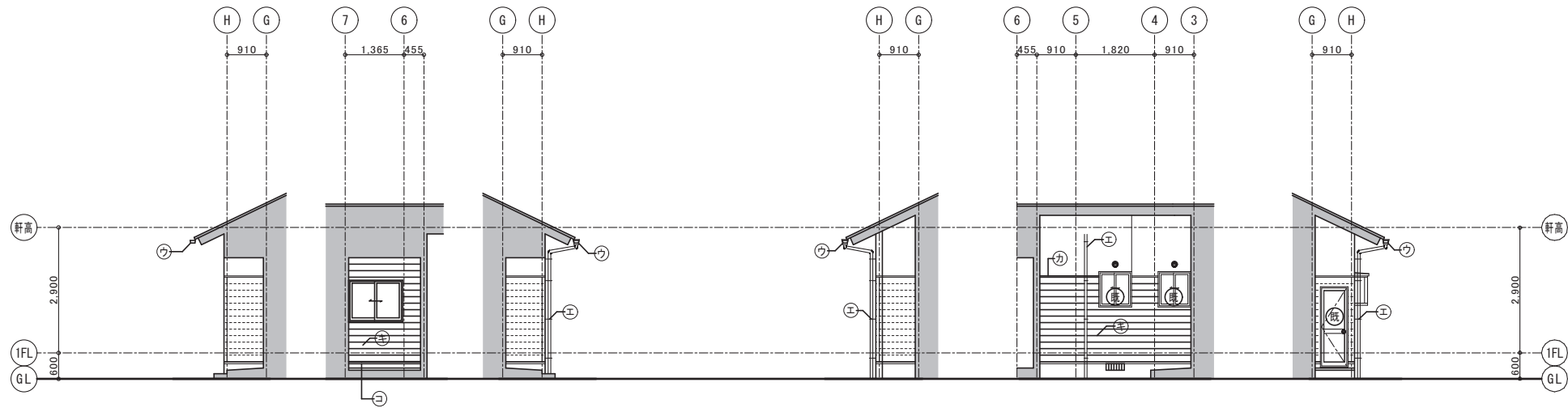


平面図 (改修後) S=1:50

凡例

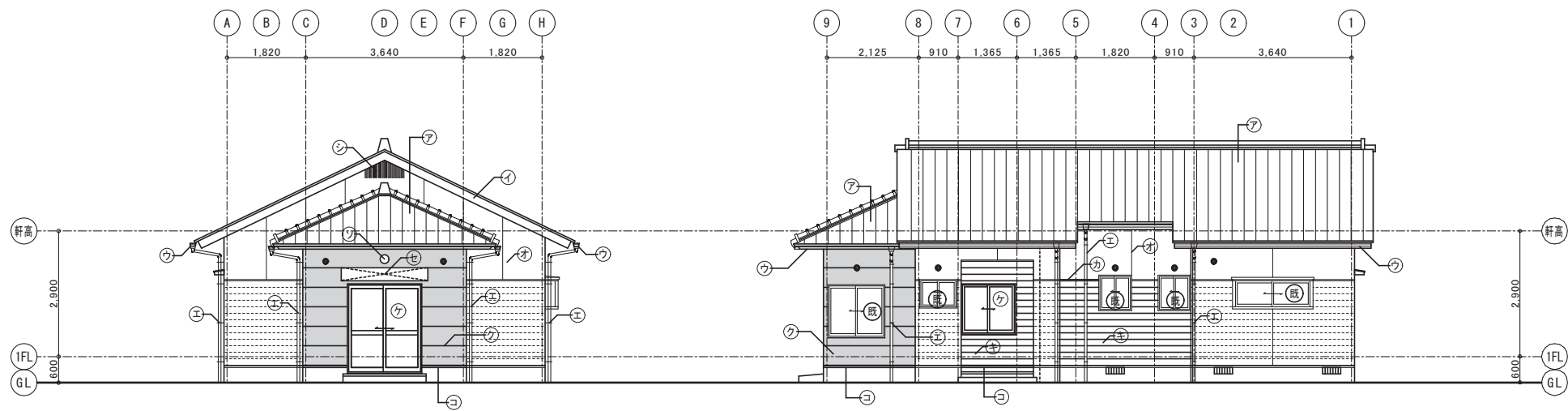
(A)	床モルタル面下地調整の上FS2.0t新設
(B)	床土間コンクリート120t打設モルタル塗り金コテ押えの上FS2.0t新設
(C)	床根太60×60#303新設 (フェノールフォーム1種断熱材50t受け金物共) 構造用合板12t下地複合フローリング12t張り
(D)	床根太50×60#303新設 (フェノールフォーム1種断熱材50t受け金物共) 構造用合板12t下地複合フローリング12t張り
(E)	外壁構造用合板9.0t張り透湿防水シート1.0t下地SDB16t (塗装品) 通気金具張り
(F)	外壁透湿防水シート1.0t下地SDB14t張り (無塗装品) 複層塗材E仕上げ
(G)	塩ビ壁紙60φSUS覆み金物@1200新設
(既)	既存のまま
(E300)	各室の改修後床仕上げ高さ (GL=±0として表記)
(□)	既存柱105x105
(△)	既存筋交い45x105
(▲)	既存筋交い45×105たすき掛け
(■)	面材耐力壁構造用合板9.0t新設
(←)	シーリング





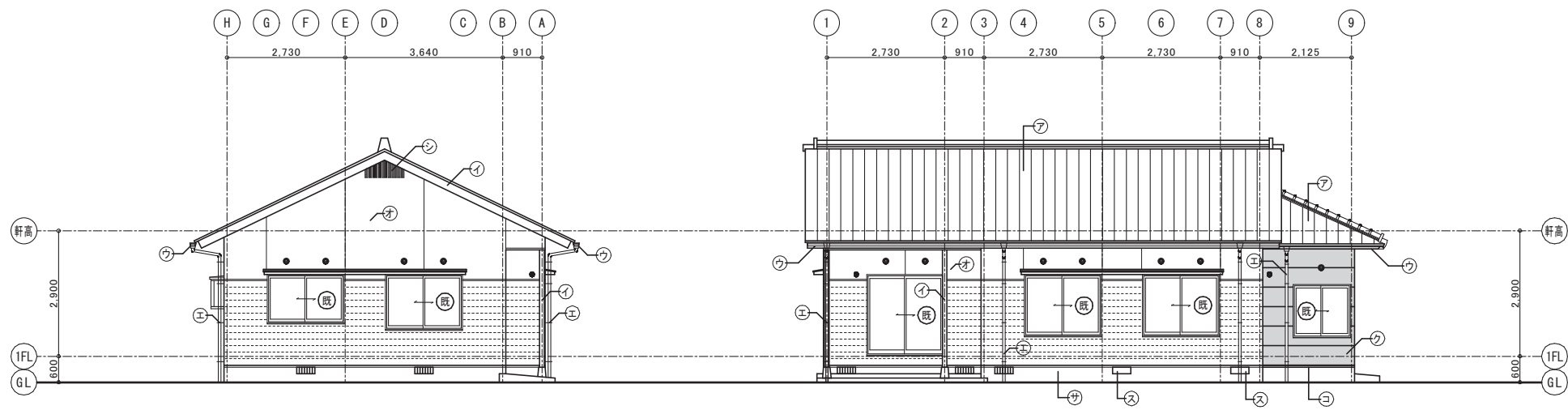
7通り G通り立面図(改修後) 5+910通り

5+910通り G通り立面図(改修後) 3通り



東側立面図(改修後) S=1:100

北側立面図(改修後) S=1:100

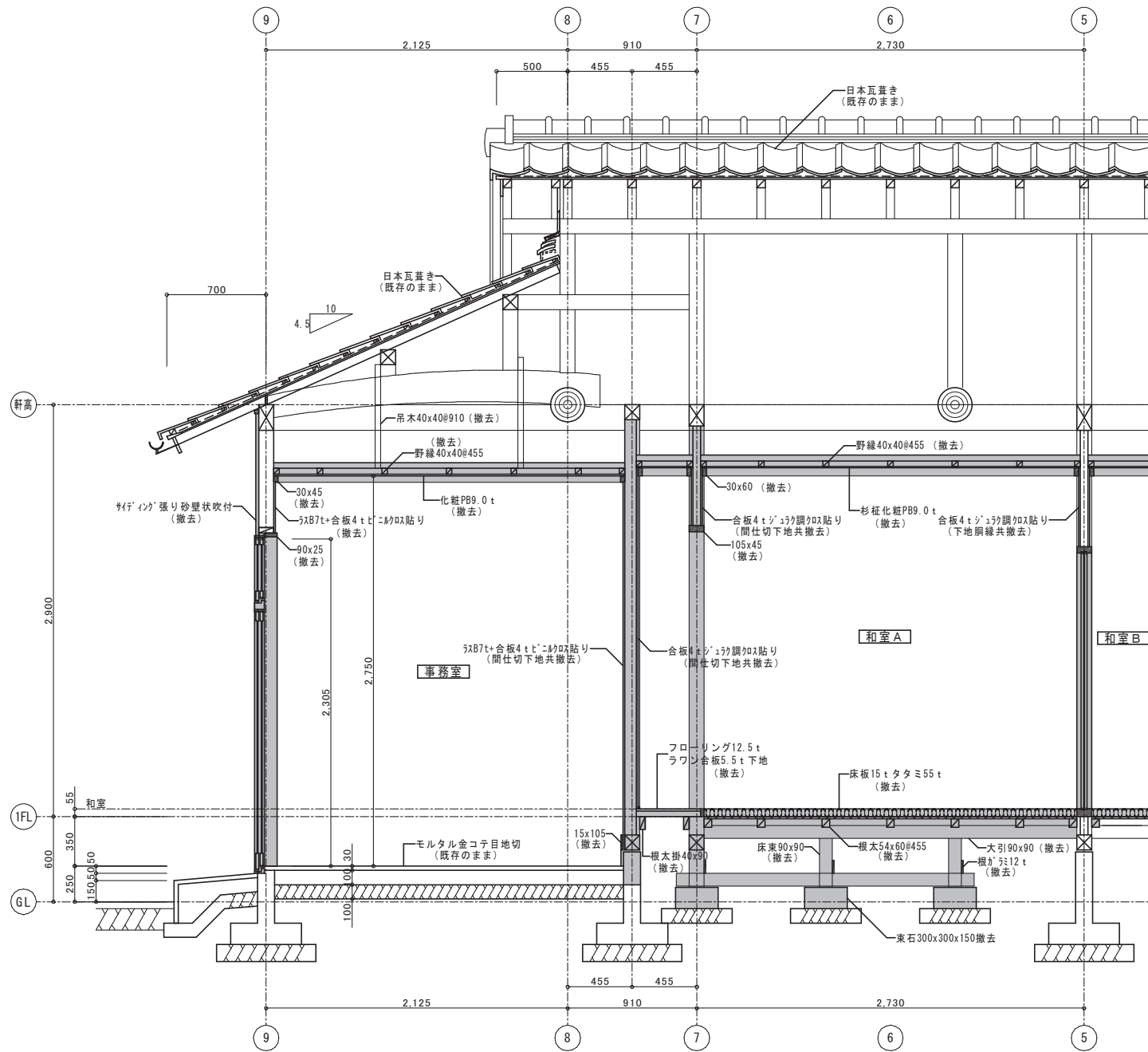


西側立面図(改修後) S=1:100

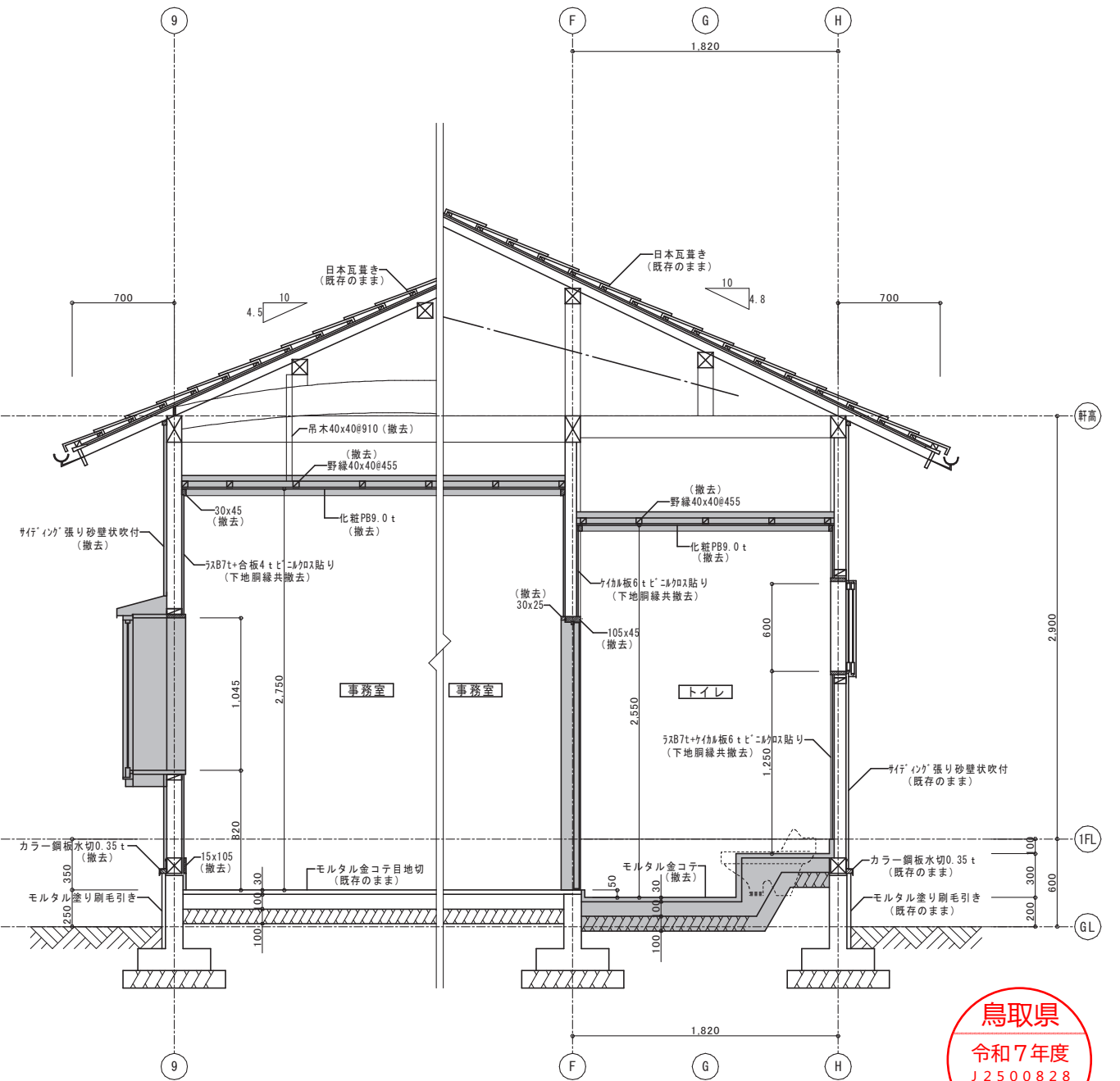
南側立面図(改修後) S=1:100

凡例	
ア	日本瓦葺き(既存のまま)
イ	鼻隠し・破風板・他木部WP塗り
ウ	軒樋カラー増設W-120内吊り金物#450新設
エ	壁樋カラー増設φ60φSUS摺り金物#1200新設
オ	ラスモルタル刷毛引き砂壁状吹付(既存のまま)
カ	見切り水切り新設(上部ラスモルタル刷毛引き砂壁状吹付補修共)
キ	SDB14t(無塗装板)張り複層塗材E新設
ク	SDB16t(塗装品)通気金具張り新設
ケ	アルミ建具新設
コ	土台水切り新設
サ	根廻りモルタル塗り刷毛引き仕上げ(既存のまま)
シ	妻換気孔(既存のまま)
ス	床下換気孔撤去跡モルタル塗り刷毛引き仕上げ
セ	駐在所庁名板新設(検板2,000Wx300Hx25t)文字書き共
ソ	警察マーク再取付(既存品)
既	既存のままの部分を示す
(注記) ・特記なき部分は既存のままとする。 ・SDB新設部分は透湿防水シートを下張りすること。	





矩計図 (改修前) S=1:30

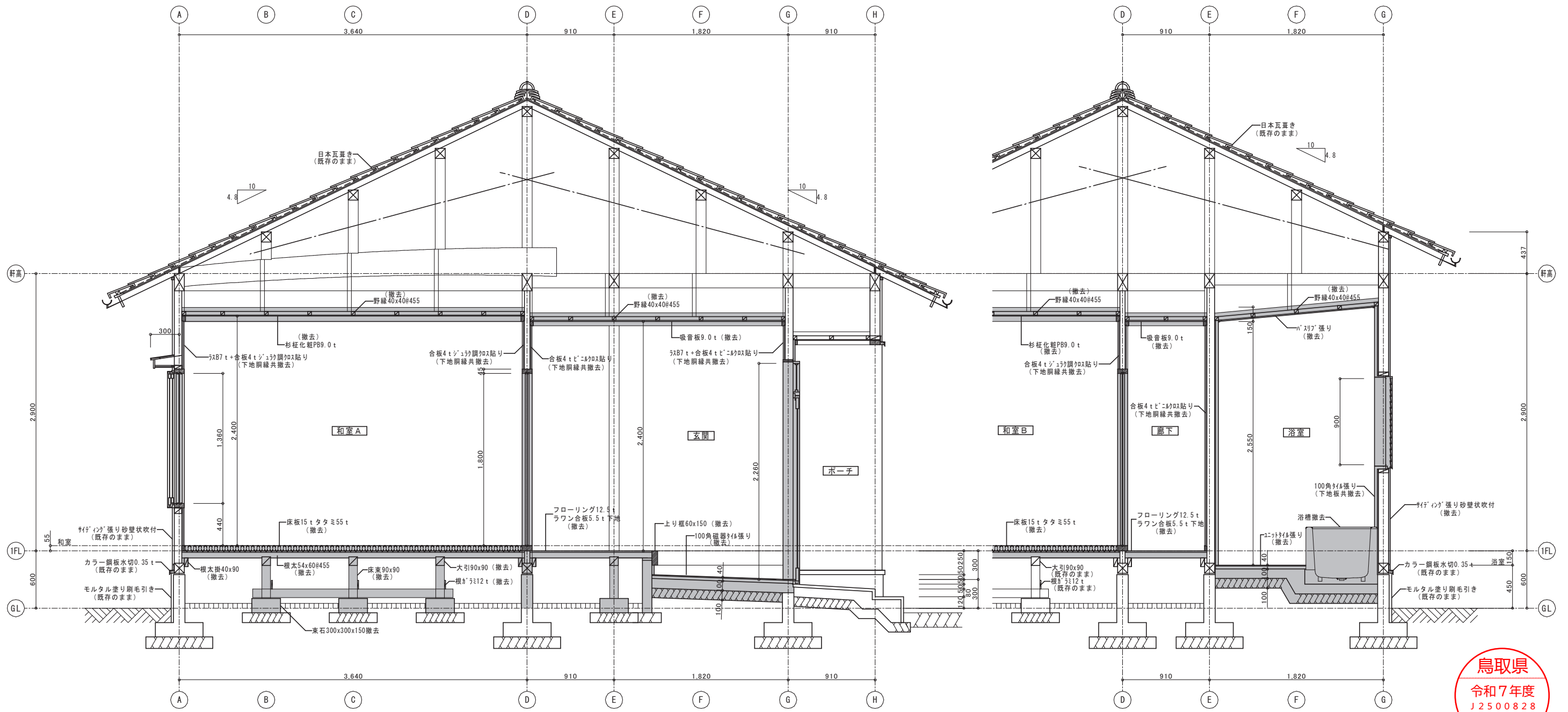


矩計図 (改修前) S=1:30

撤去部分を示す



 有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK 	DESIGN 	DRAW 	PROJECT NO	TITLE 浜村警察署鹿野駐在所改修工事	DRAWING NAME 矩計図 (1) (改修前)	SCALE 1:30	NO A-12
	撤去部分を示す									



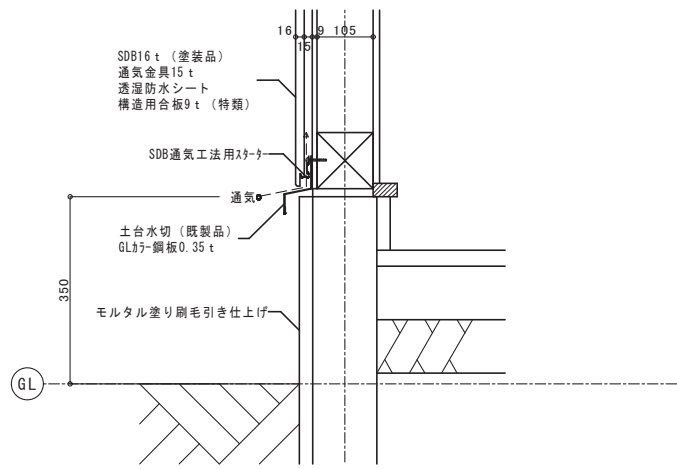
矩計図 (改修前) S=1:30

矩計図 (改修前) S=1:30

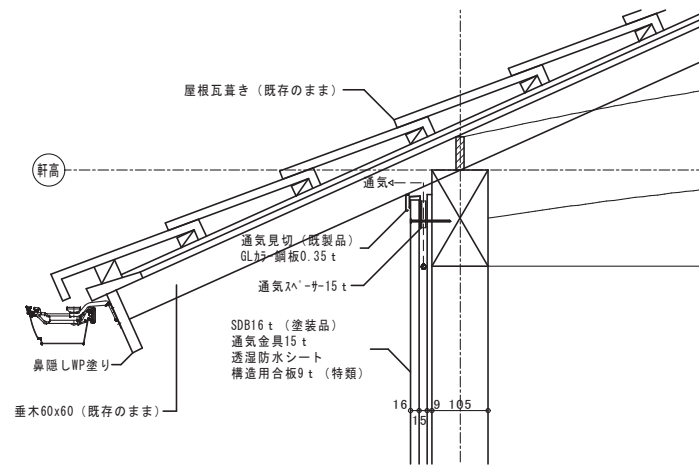
撤去部分を示す



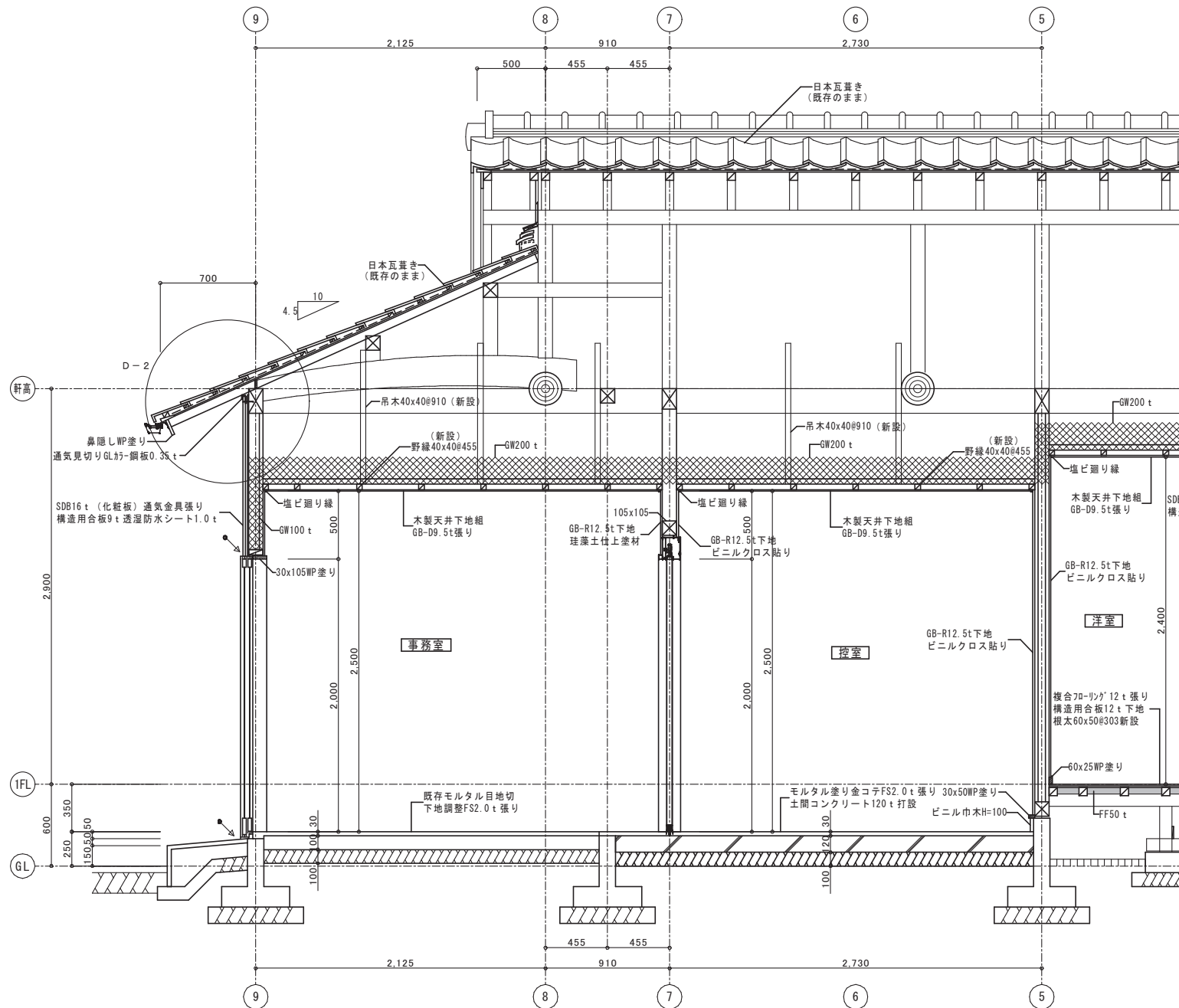
	有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK	DESIGN	DRAW	PROJECT NO	TITLE 浜村警察署鹿野駐在所改修工事	DRAWING NAME 矩計図 (2) (改修前)	SCALE 1:30	NO A-13
	東部建築住宅事務所										



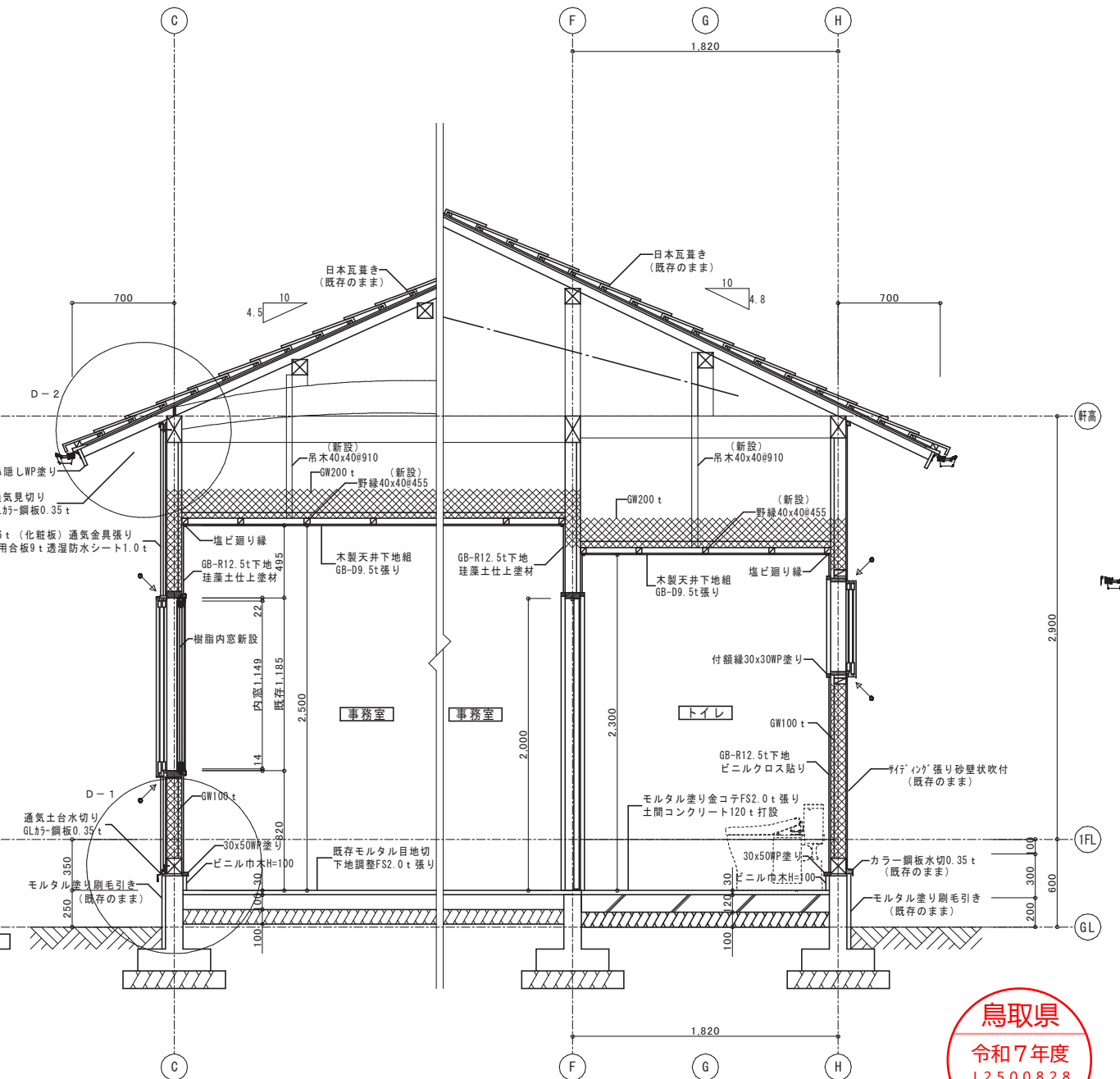
D-1 詳細図 S=1:10



D-2 詳細図 S=1:10



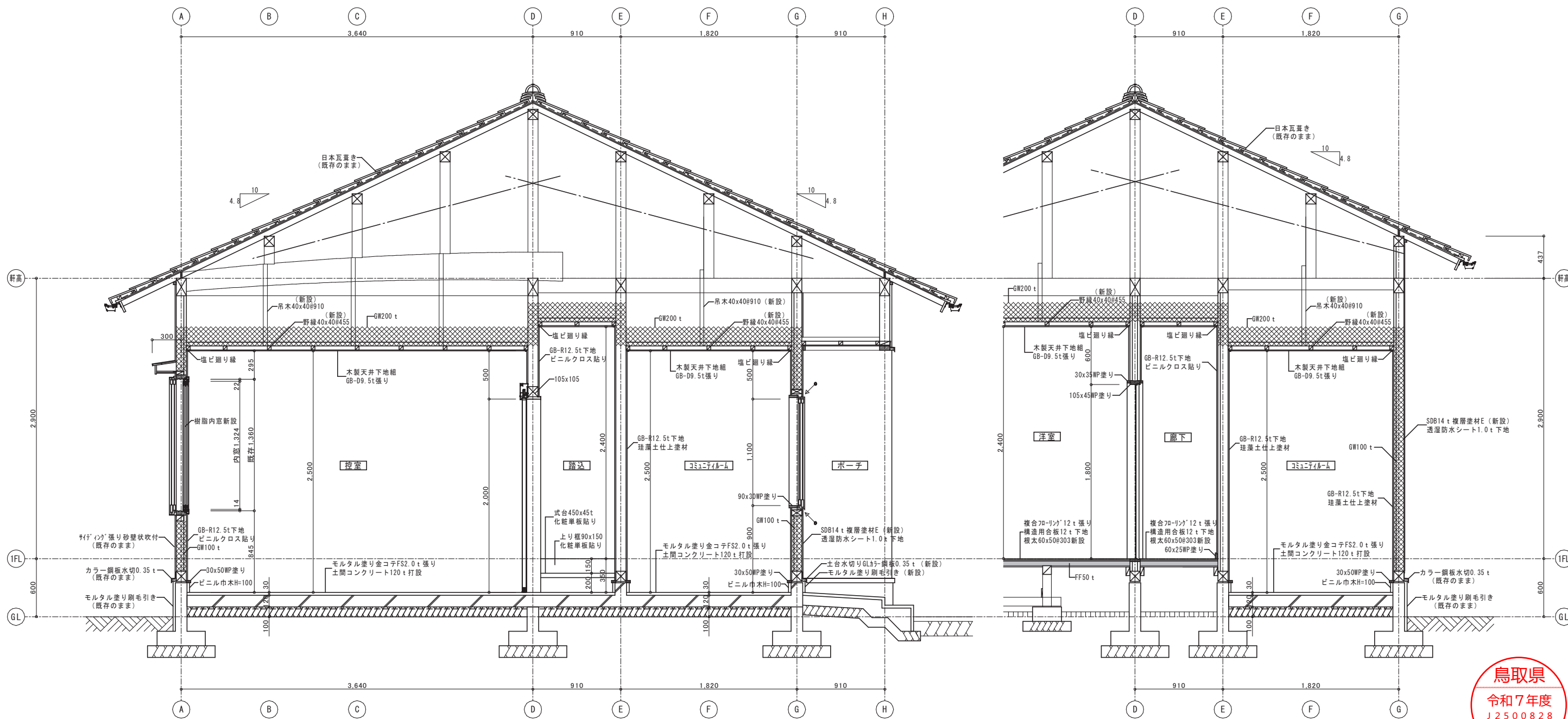
矩計図 (改修後) S=1:30



矩計図 (改修後) S=1:30



	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK	DESIGN	DRAW	PROJECT NO	TITLE 浜村警察署鹿野駐在所改修工事	DRAWING NAME 矩計図 (3) (改修後)	SCALE 1:30 1:10	NO A-14
	鳥取県 令和7年度 J2500828 東部建築住宅 事務所									

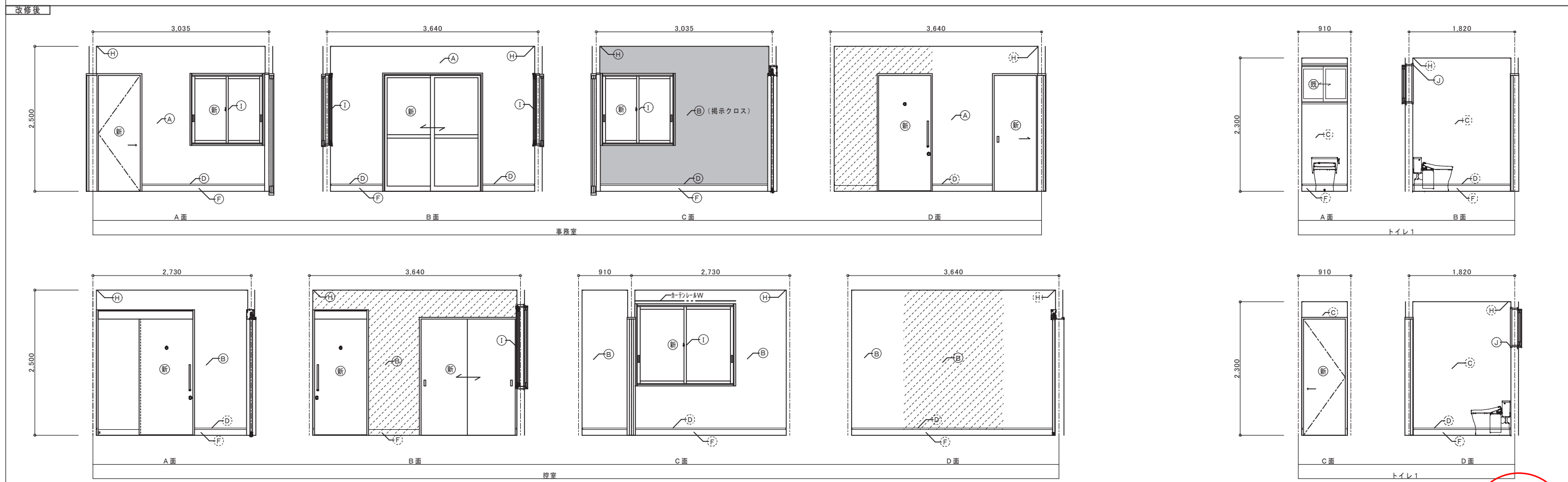
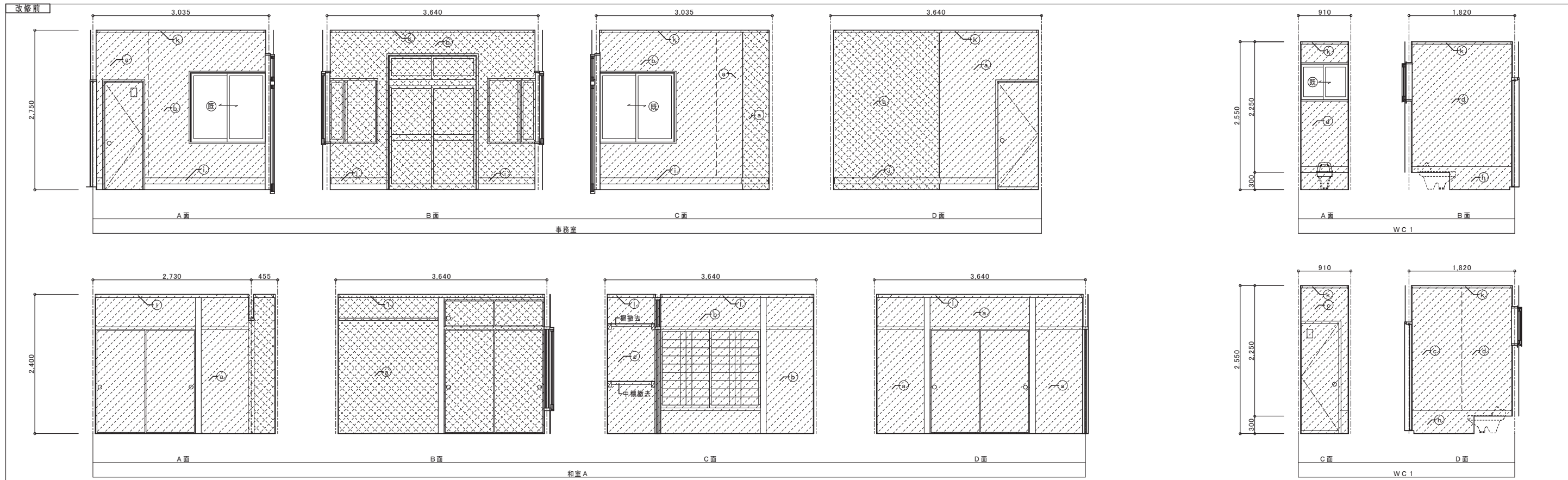


矩計図 (改修後) S=1:30

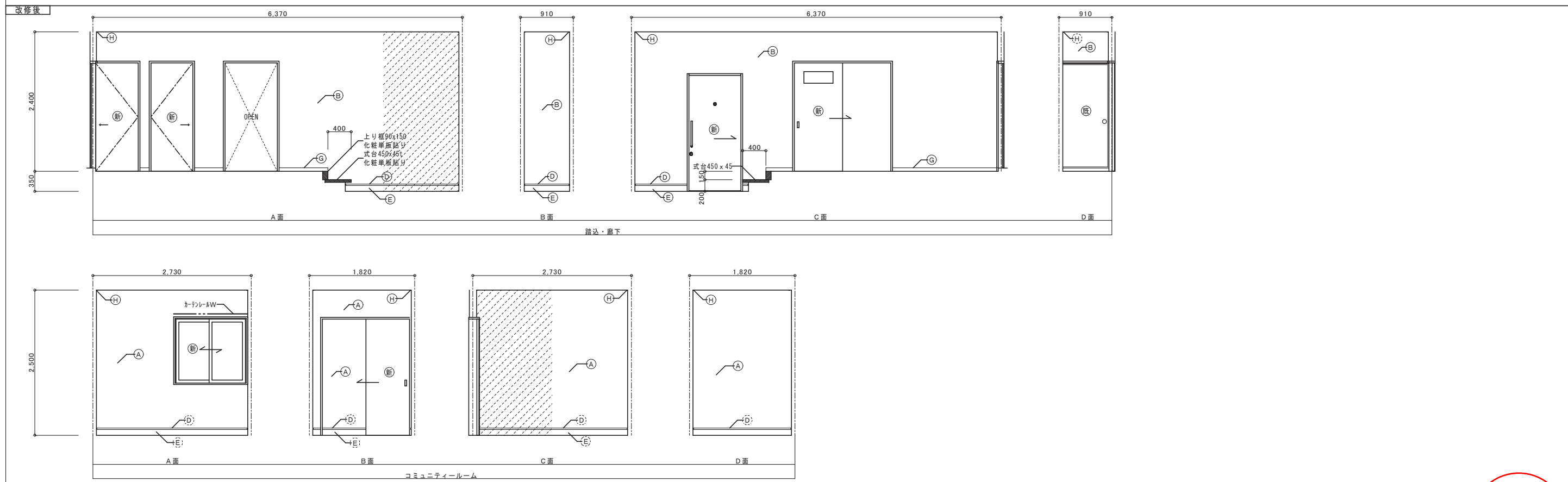
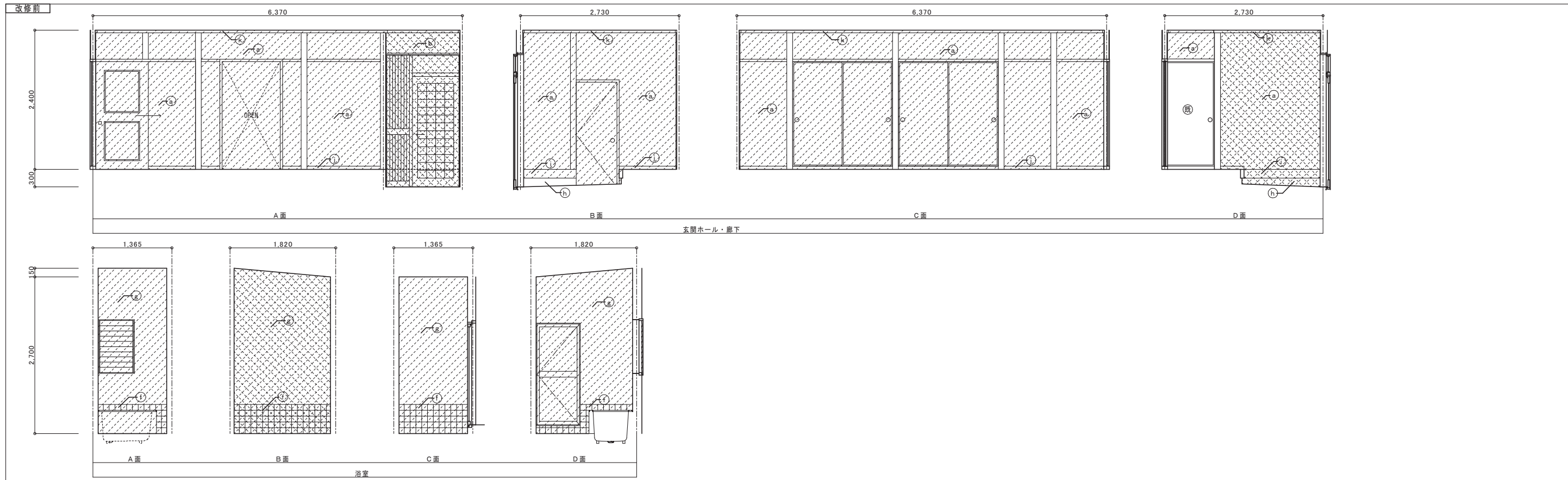
矩計図 (改修後) S=1:30



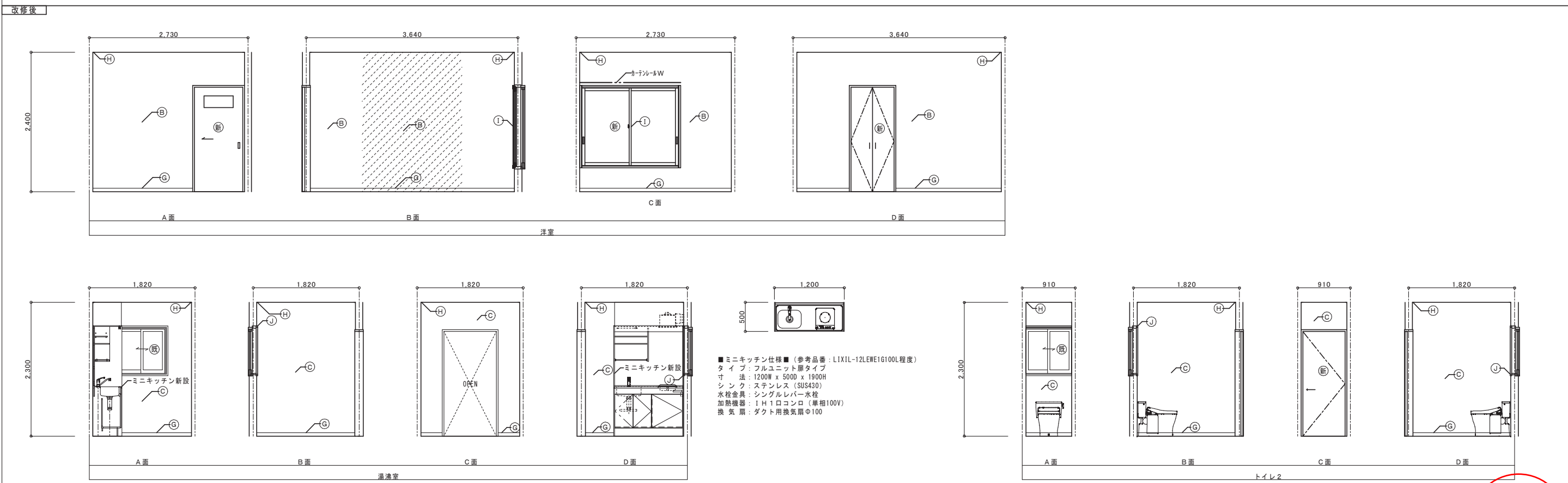
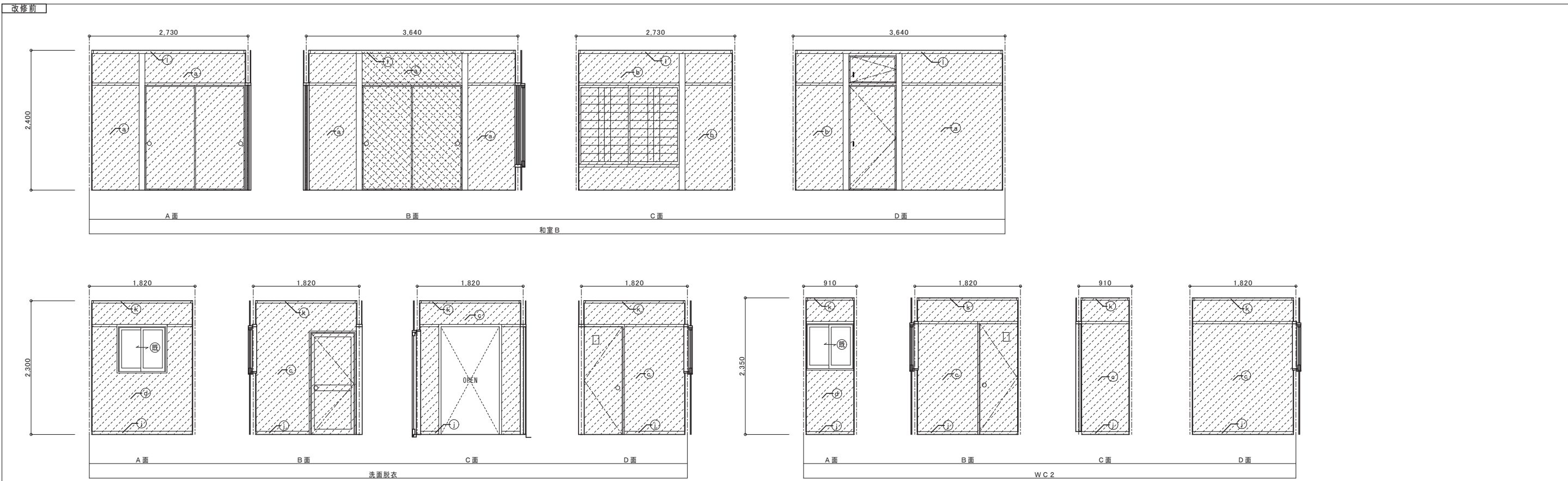
	有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK	DESIGN	DRAW	PROJECT NO	TITLE 浜村警察署鹿野駐在所改修工事	DRAWING NAME 矩計図 (4) (改修後)	SCALE 1:30	NO A-15
	株式会社 保木本設計										



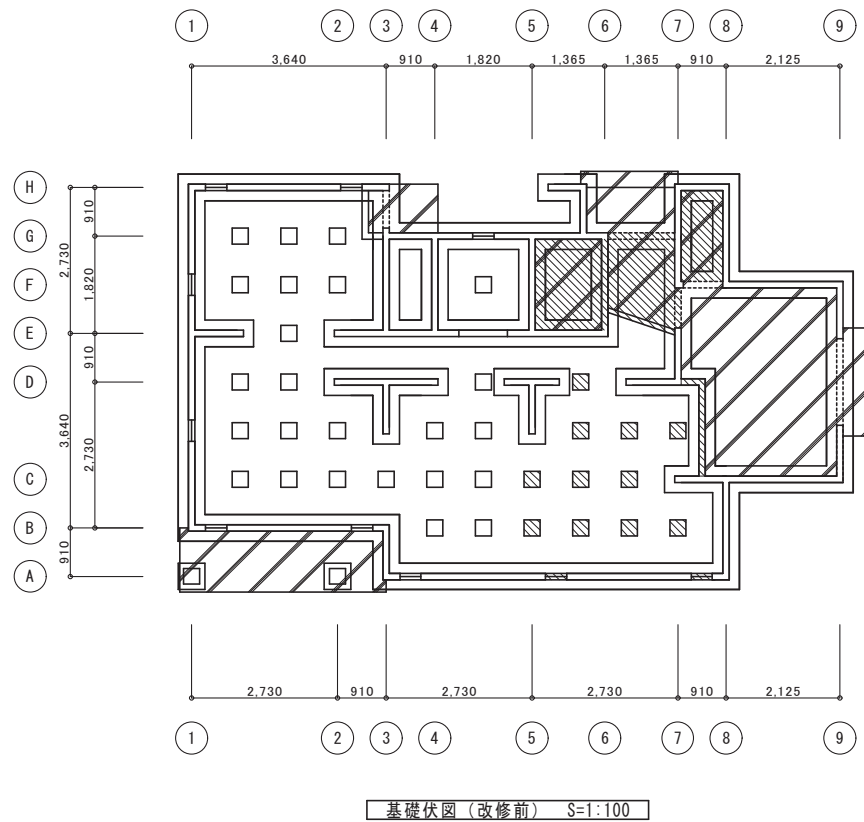
凡例 (改修前)	a	ビニルクロス撤去 (下地合板4.0t 共)	f	ラスモタル100角9t張り撤去 (下地シーリング'g'-d'9.0t 共)	k	廻縁30×45撤去	凡例 (改修後)	A	GB-R12.5t 下地珪藻土仕上げ塗材	F	ビニル巾木H=100	新	新設建具
	b	ビニルクロス撤去 (下地ラスボード7.0t+合板4.0t 共)	g	ラスモタル金コテAEP撤去 (下地シーリング'g'-d'9.0t 共)	l	廻縁30×60撤去		B	GB-R12.5t 下地ビニルクロス貼り	G	ビニル巾木H=60	既	既存のまま
	c	ビニルクロス撤去 (下地FK6.0t 共)	h	モルタル金コテ撤去 (一部ラスモタル下地板12t 共)	既	既存のまま		C	GB-S12.5t 下地ビニルクロス貼り	H	ビニル廻縁		
	d	ビニルクロス撤去 (下地ラスボード7.0t+FK6.0t 共)	i	化粧土台板15×105撤去	撤	下地ボード・モルタル等 撤去範囲		D	巾木見切り25×20WP塗り	I	樹脂内窓新設		
	e	ラワン合板4.0t撤去 (下地ラスボード7.0t 共)	j	木製巾木30×60撤去	撤	木製壁下地 (間柱・胴縁等) 撤去範囲		E	モルタル塗りの上ビニル巾木H=100	J	付廻縁30x30WP塗り	撤	木製壁下地 (間柱・胴縁等) 新設範囲



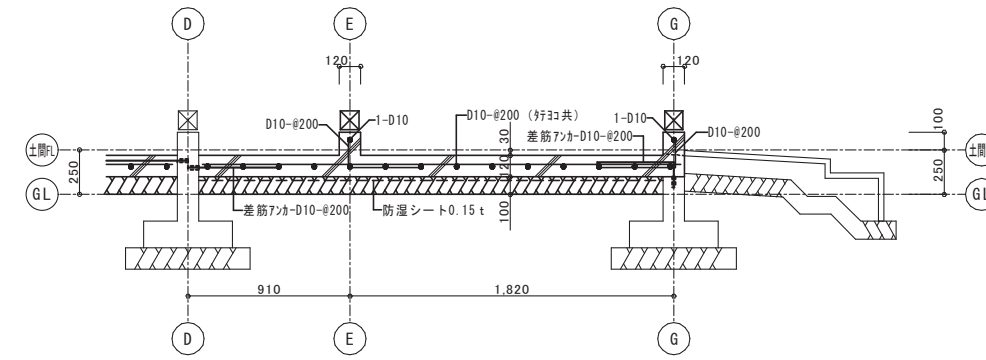
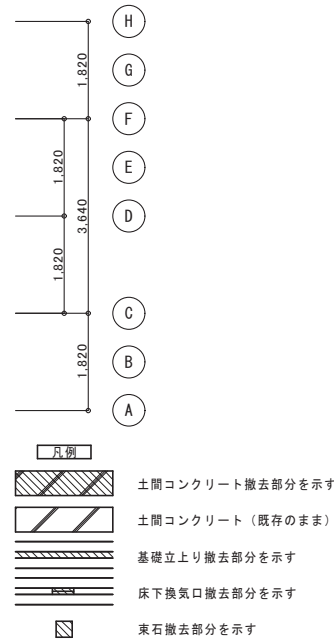
凡例 (改修前)	a	ビニルクロス撤去 (下地合板4.0t 共)	f	ラスモルタル100角9t張り撤去 (下地シーリングが'-d'-9.0t 共)	k	廻縁30×45撤去	凡例 (改修後)	A	GB-R12.5t 下地珪藻土仕上げ塗材	F	ビニル巾木H=100	新	新設建具
	b	ビニルクロス撤去 (下地ラスボード7.0t+合板4.0t 共)	g	ラスモルタル金コテAEP撤去 (下地シーリングが'-d'-9.0t 共)	l	廻縁30×60撤去		B	GB-R12.5t 下地ビニルクロス貼り	G	ビニル巾木H=60	既	既存のまま
	c	ビニルクロス撤去 (下地FK6.0t 共)	h	モルタル金コテ撤去 (一部ラスモルタル下地板12t 共)	既	既存のまま		C	GB-S12.5t 下地ビニルクロス貼り	H	ビニル廻縁		
	d	ビニルクロス撤去 (下地ラスボード7.0t+FK6.0t 共)	i	化粧土合板15×105撤去	下	下地ボード・モルタル等 撤去範囲		D	巾木見切り25×20WP塗り	I	樹脂内窓新設		
	e	ラワン合板4.0t撤去 (下地ラスボード7.0t 共)	j	木製巾木30×60撤去	木	木製壁下地 (間柱・胴縁等) 撤去範囲		E	モルタル塗りの上ビニル巾木H=100	J	付廻縁30×30WP塗り	木	木製壁下地 (間柱・胴縁等) 新設範囲



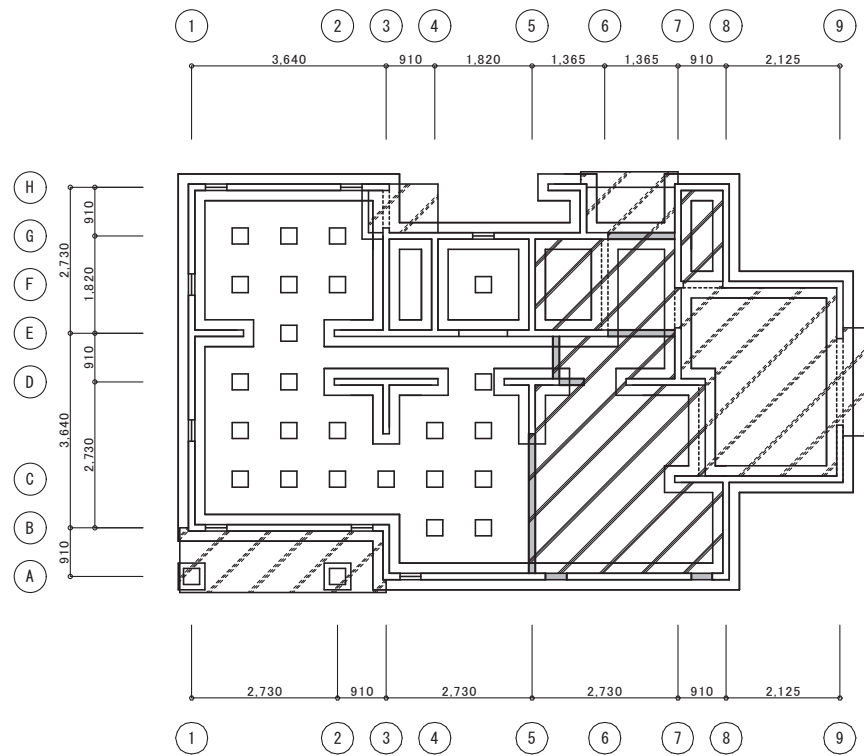
凡例 (改修前)	Ⓐ	ビニルクロス撤去 (下地合板4.0t 共)	Ⓕ	ラスモルタル100角918張り撤去 (下地シーリングφ'-d'9.0t 共)	Ⓚ	廻縁30×45撤去	凡例 (改修後)	Ⓐ	GB-R12.5t 下地珪藻土仕上げ塗材	Ⓕ	ビニル巾木H=100	Ⓝ	新設建具
	Ⓑ	ビニルクロス撤去 (下地ラスボード7.0t+合板4.0t 共)	Ⓖ	ラスモルタル金コテAEP撤去 (下地シーリングφ'-d'9.0t 共)	Ⓛ	廻縁30×60撤去		Ⓑ	GB-R12.5t 下地ビニルクロス貼り	Ⓖ	ビニル巾木H=60	Ⓖ	既存のまま
	Ⓒ	ビニルクロス撤去 (下地FK6.0t 共)	Ⓗ	モルタル金コテ撤去 (一部ラスモルタル下地板12t 共)	Ⓜ	既存のまま		Ⓒ	GB-S12.5t 下地ビニルクロス貼り	Ⓖ	ビニル廻縁		
	Ⓓ	ビニルクロス撤去 (下地ラスボード7.0t+FK6.0t 共)	Ⓛ	化粧土台板15×105撤去	Ⓝ	下地ボード・モルタル等 撤去範囲		Ⓓ	巾木見切り25×20WP塗り	Ⓛ	樹脂内窓新設		
	Ⓔ	ラワン合板4.0t撤去 (下地ラスボード7.0t 共)	Ⓜ	木製巾木30×60撤去	Ⓝ	木製壁下地 (間柱・胴縁等) 撤去範囲		Ⓔ	モルタル塗りの上ビニル巾木H=100	Ⓜ	付廻縁30×30WP塗り	Ⓝ	木製壁下地 (間柱・胴縁等) 新設範囲



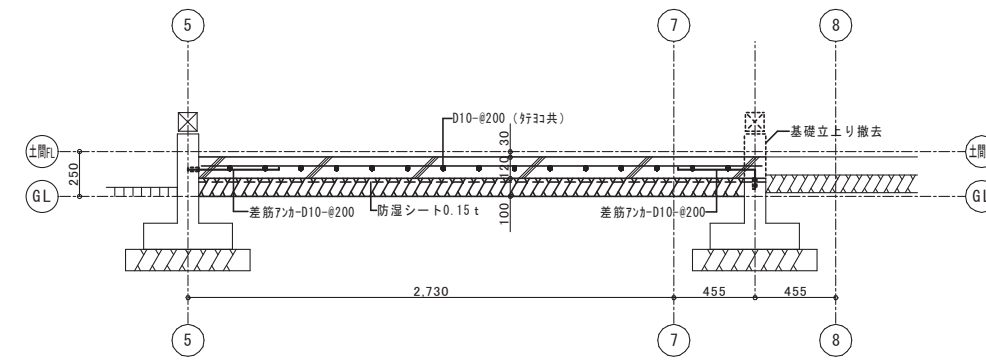
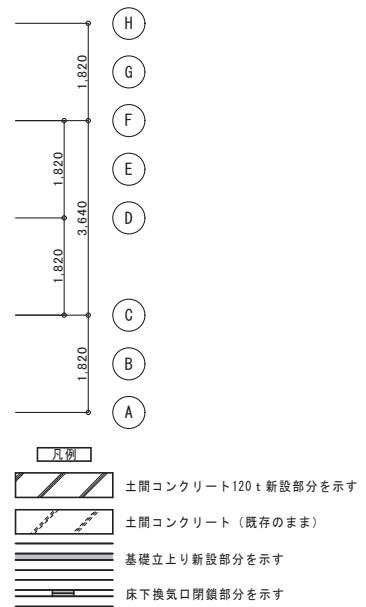
基礎伏図 (改修前) S=1:100



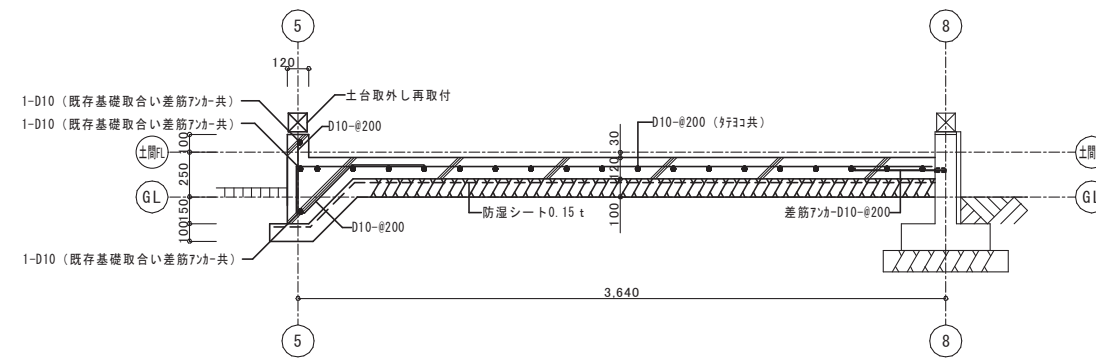
土間コンクリート詳細図 S=1:30



基礎伏図 (改修後) S=1:100



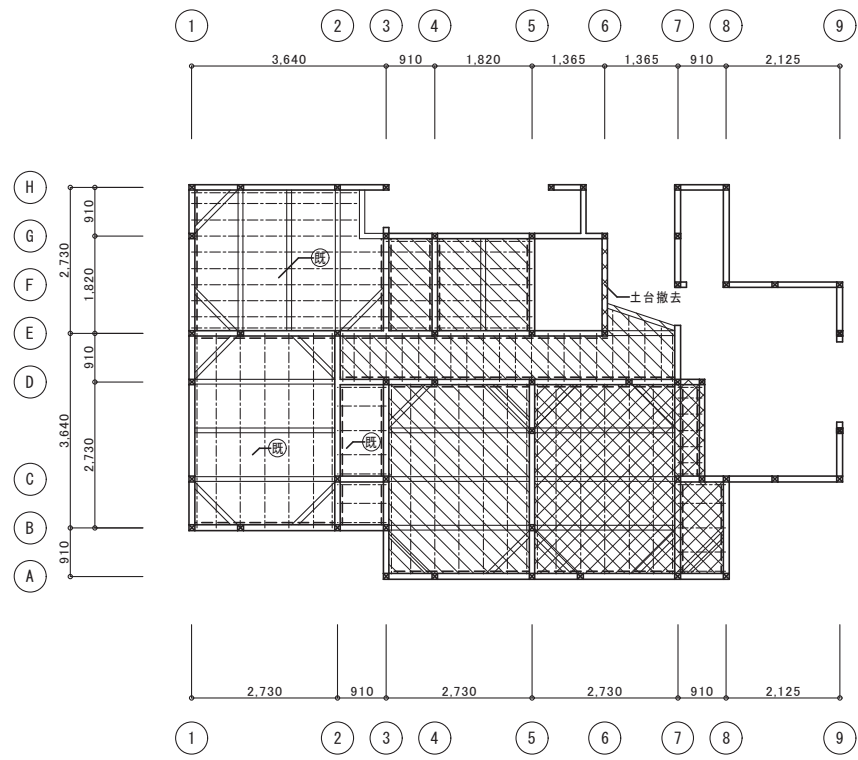
土間コンクリート詳細図 S=1:30



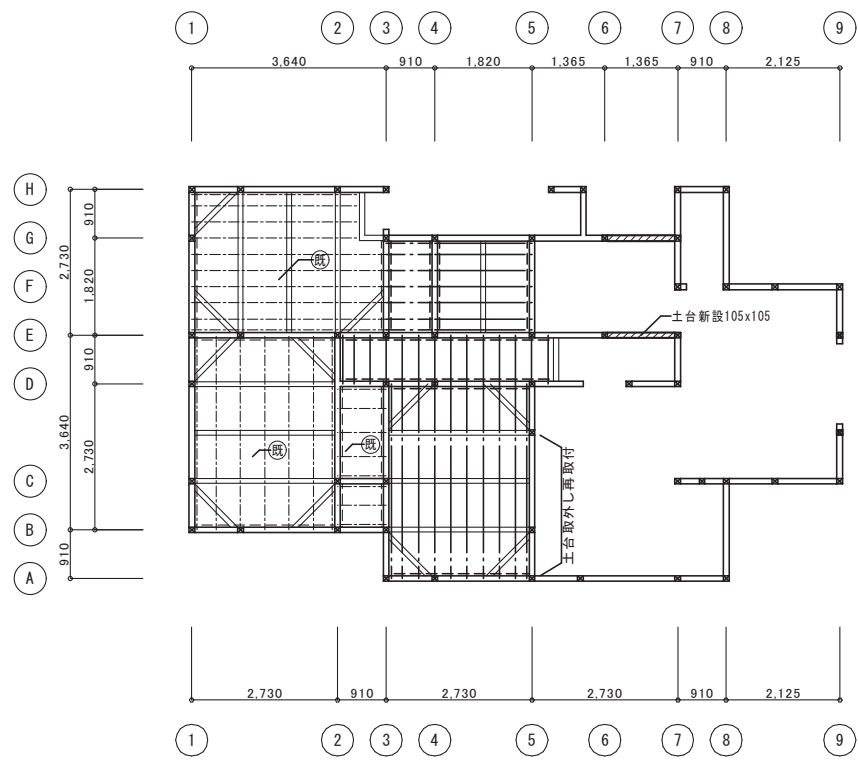
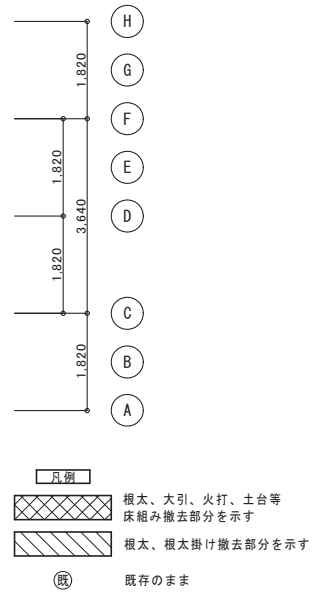
土間コンクリート詳細図 S=1:30

※既存基礎取合い部等は各箇所同様の納まりとする。

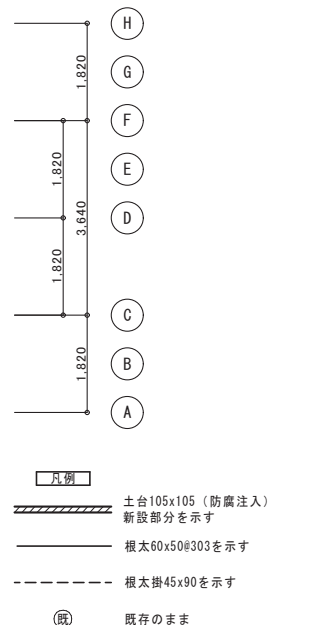




床伏図 (改修前) S=1:100



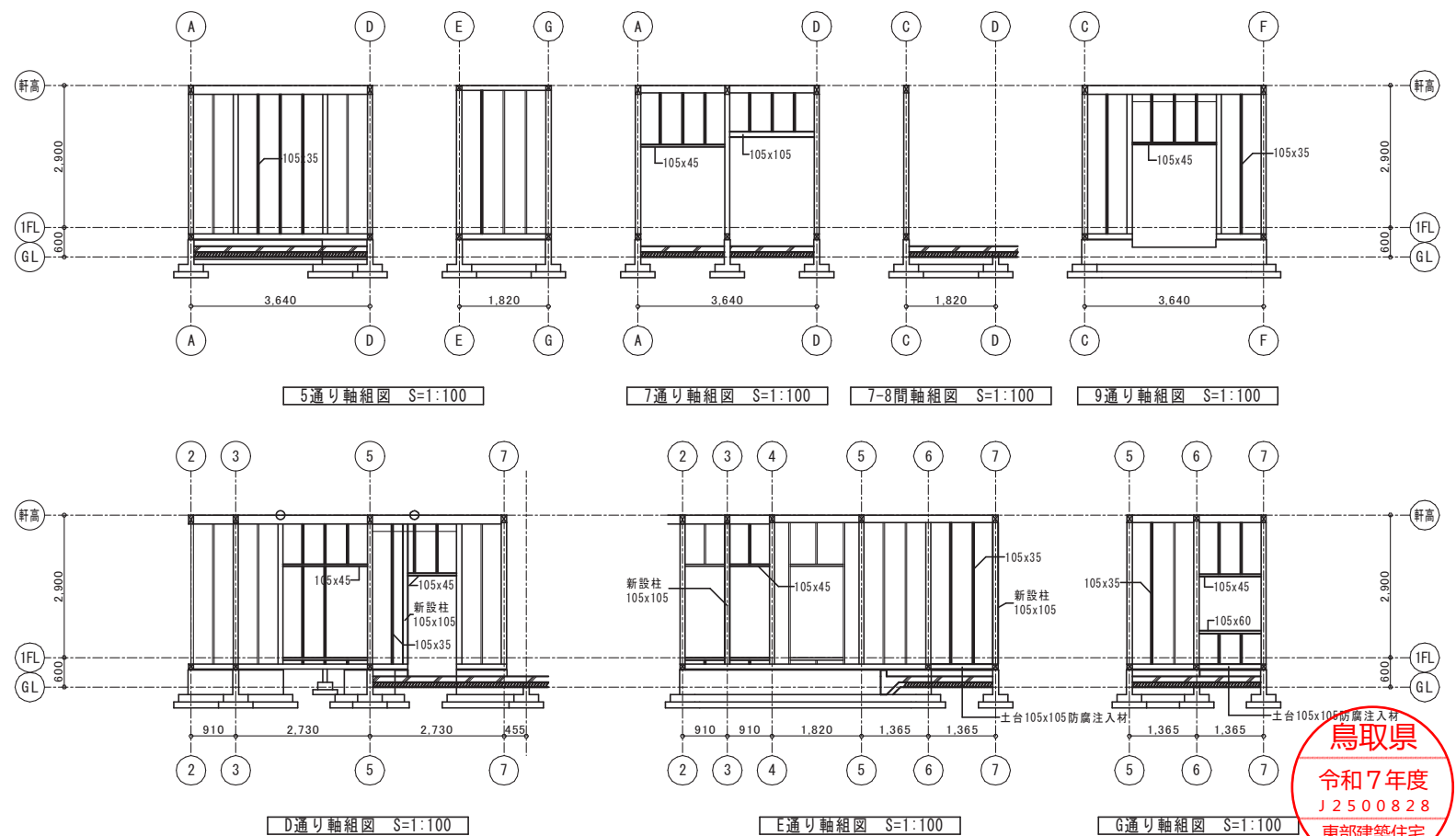
床伏図 (改修後) S=1:100



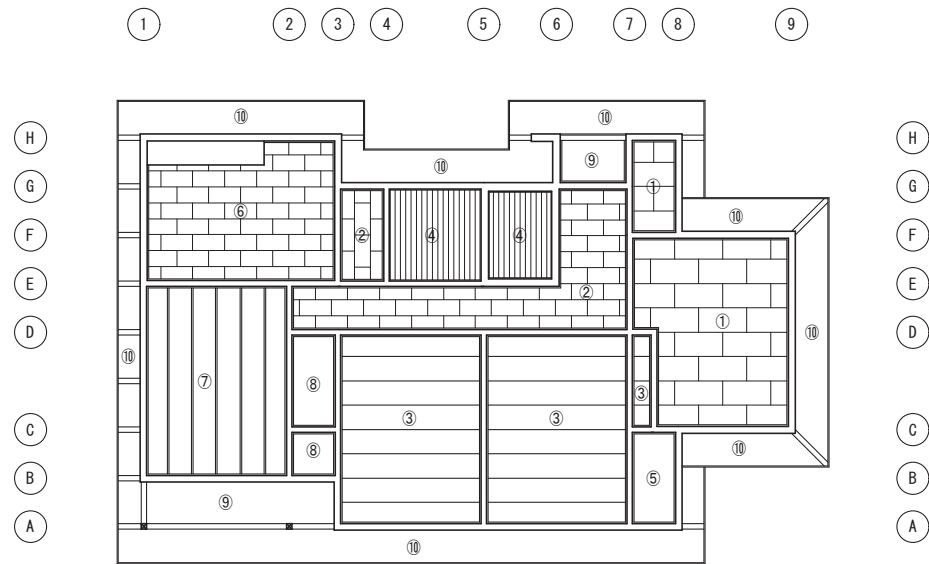
改修前 ※点線で表示の部分を撤去する。



改修後 ※太線で表示の部分を新設する。

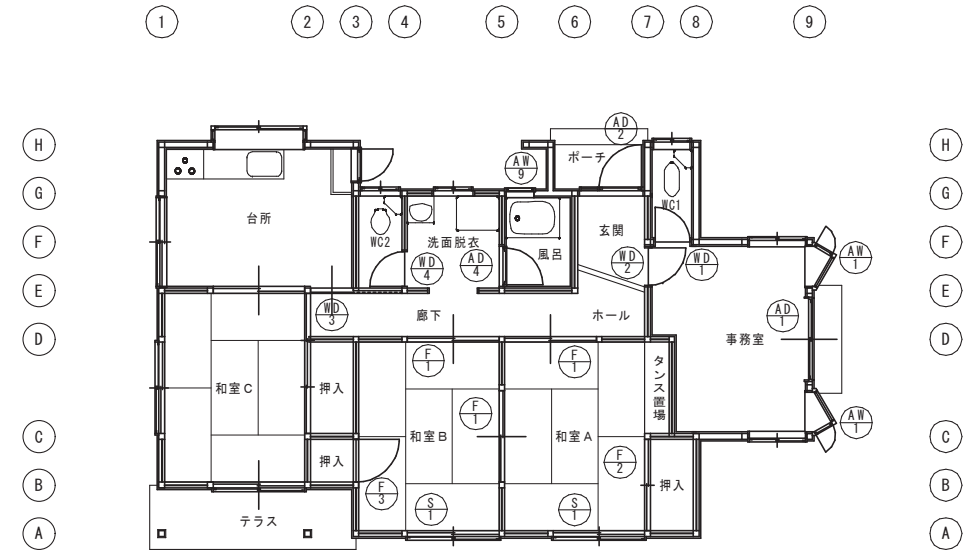


鳥取県
令和7年度
J2500828
東部建築住宅
事務所

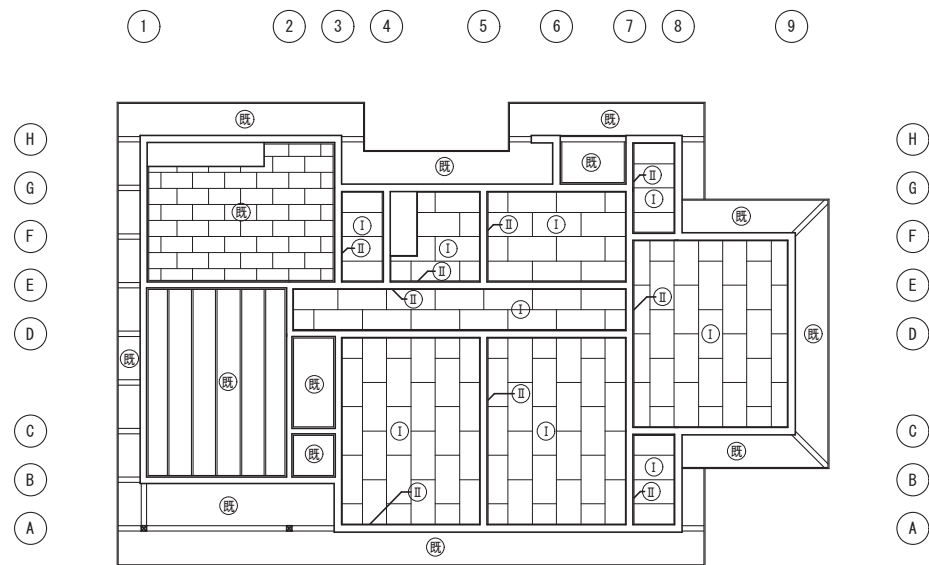


天井伏図 (改修前) S=1:100

凡例	
記号	内容
①	化粧石膏ボード9.0t撤去 (天井下地共)
②	吸音テックス9.0t撤去 (天井下地共)
③	杉化粧石膏ボード9.0t撤去 (天井下地共)
④	硬質塩ビバスリブ撤去 (天井下地共)
⑤	ラワン合板2.5t撤去 (天井下地共)
⑥	ロックウール吸音板9.0t (既存のまま)
⑦	杉化粧石膏ボード9.0t羊繰天井 (既存のまま)
⑧	ラワン合板2.5t (既存のまま)
⑨	ラスボード7.0t下地軒天用化粧合板 (既存のまま)
⑩	軒天用化粧合板 (既存のまま)

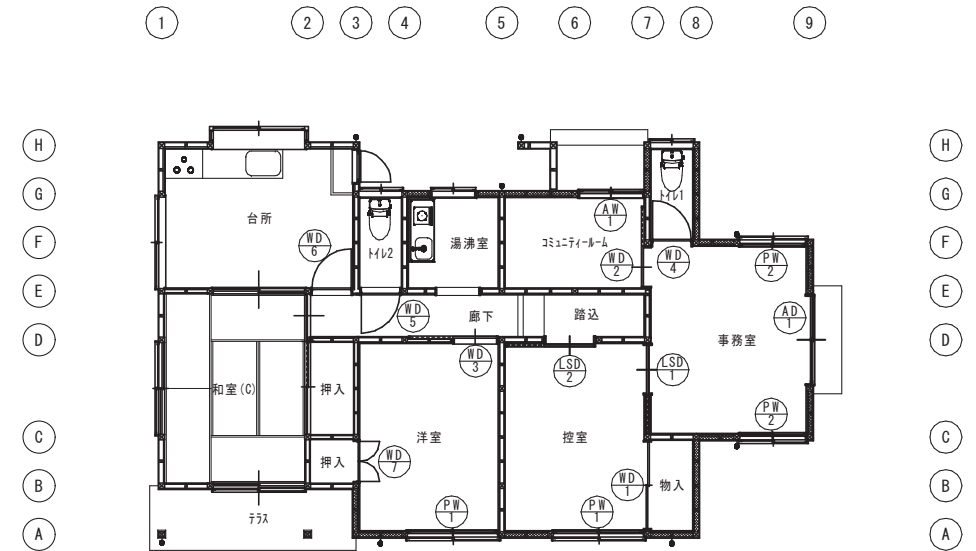


建具配置図 (改修前) S=1:100



天井伏図 (改修後) S=1:100

凡例	
記号	内容
①	化粧石膏ボード9.5t張り (天井下地共)
②	塩ビ廻縁
既	既存のままの部分を示す



建具配置図 (改修後) S=1:100



符号・数量	① AD ランマ付き引違い戸 1 箇所	② AD 片袖ランマ付き片開き戸 1 箇所	③ AD 片開き戸 1 箇所	④ AW 片開き三角出窓 2 箇所	⑤ AW ガラスルーバー窓 1 箇所
姿 図					
型式・見込	半外付・70	住宅用半外付・75	住宅用内付・60	住宅用出窓・60	住宅用半外付・65
材質・仕上	アルミカラー	アルミカラー	アルミシルバー	アルミカラー	アルミカラー
ガラス	フロート3.0t	型板4.0t	型板4.0t	フロート3.0t	型板4.0t
建具金物	クレセント、戸車、アルミパネル2.0t	レバーハンドル、サムラッチ錠、補助錠、ドアクローザー、丁番	丁番、非常解錠装置、アルミパネル2.0t	カムラッチハンドル、ヒリ出しアーム	オペレーターハンドル、網戸
備考	他付属金物一式	防犯チェーン、他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式
符号・数量	① WD 片開き戸 1 箇所	② WD 片開き戸 1 箇所	③ WD 片引き戸 1 箇所	④ WD 引違い戸 1 箇所	
姿 図					
型式・見込	木製フラッシュ戸・36	木製フラッシュ戸・36	木製フラッシュ戸・36	木製フラッシュ戸・36	
材質・仕上	ポリ合板	ポリ合板	ポリ合板	ポリ合板	
ガラス	型板2.0t	-	型板2.0t	型板2.0t	
建具金物	丁番、表示錠	丁番、シリンドー錠、ドアスコープ、安全クサリ	戸車、フラッターレール、引手	丁番、表示錠	
備考	他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式	
符号・数量	① F 引違いフスマ 3 箇所	② F ランマ付き引違いフスマ 1 箇所	③ F ランマ付き片開きフスマ 1 箇所		④ F 引違い障子 2 箇所
姿 図					
型式・見込	フスマ・18	フスマ・18	フスマ・18		障子・30
材質・仕上	フスマ紙	フスマ紙	フスマ紙		スプルス
ガラス	-	-	-		障子紙
建具金物	引手	引手	取っ手		引手
備考	他付属金物一式	他付属金物一式	他付属金物一式		他付属金物一式

鳥取県
令和7年度
J2500828
東部建築住宅
事務所

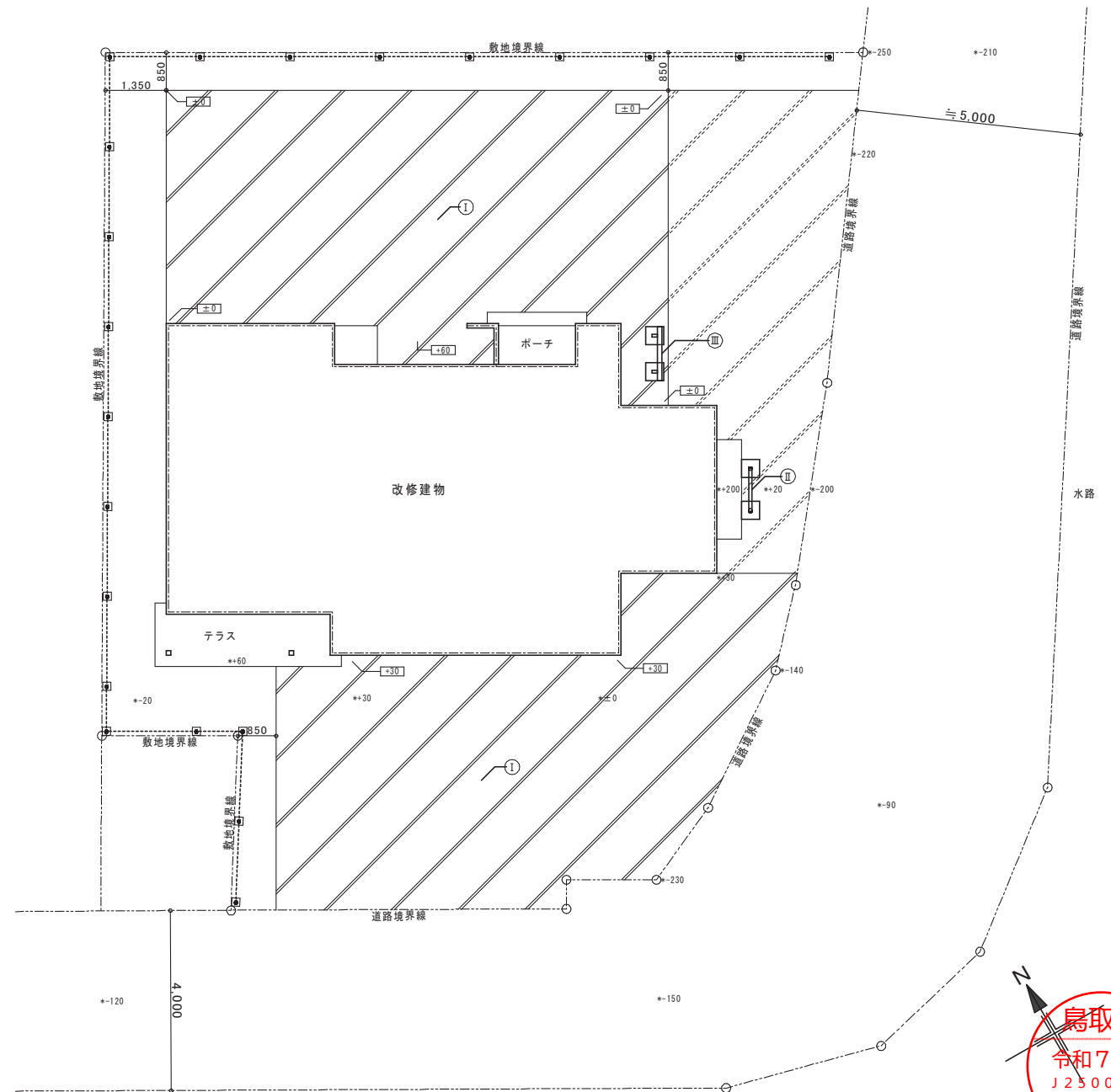
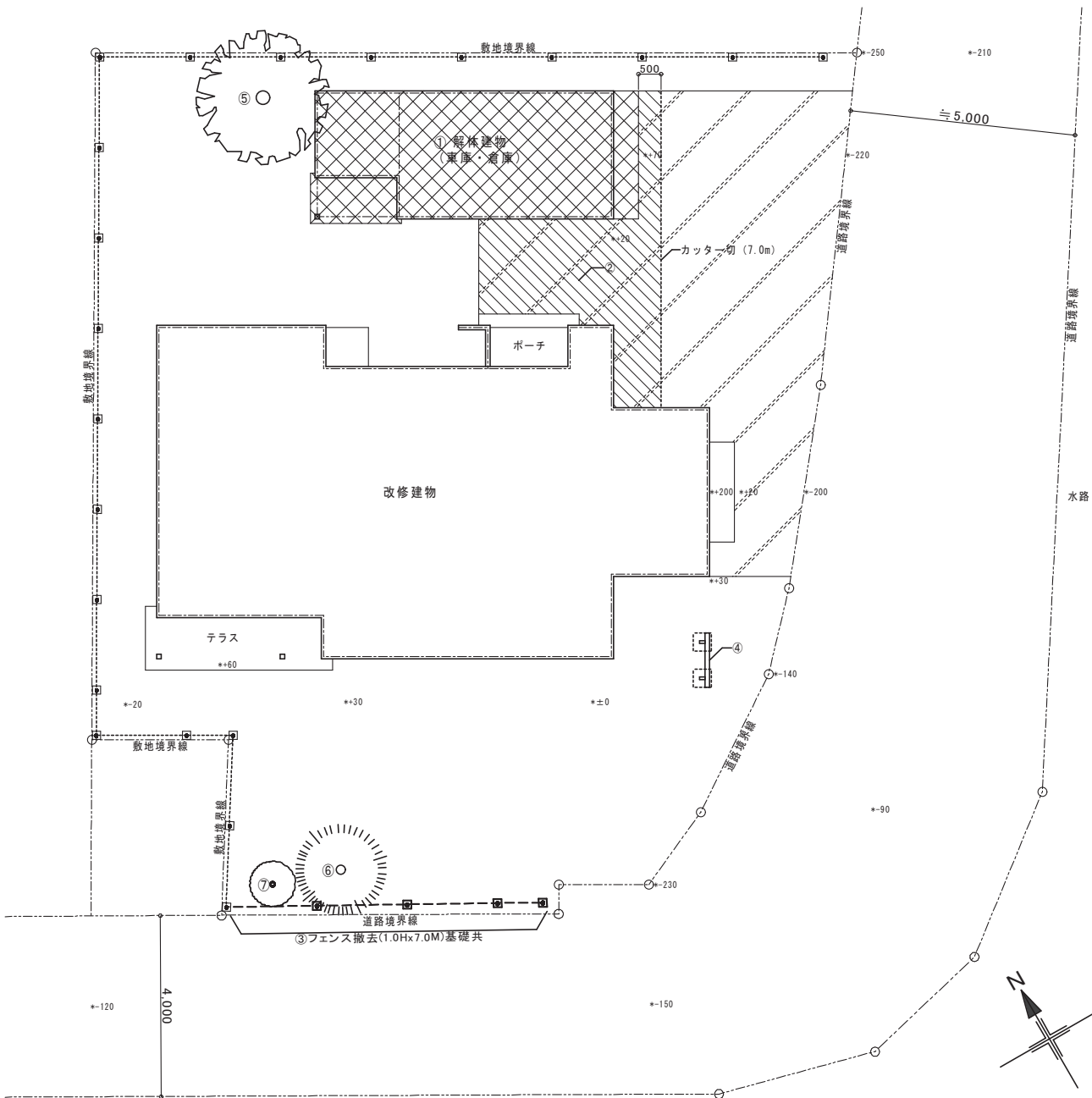
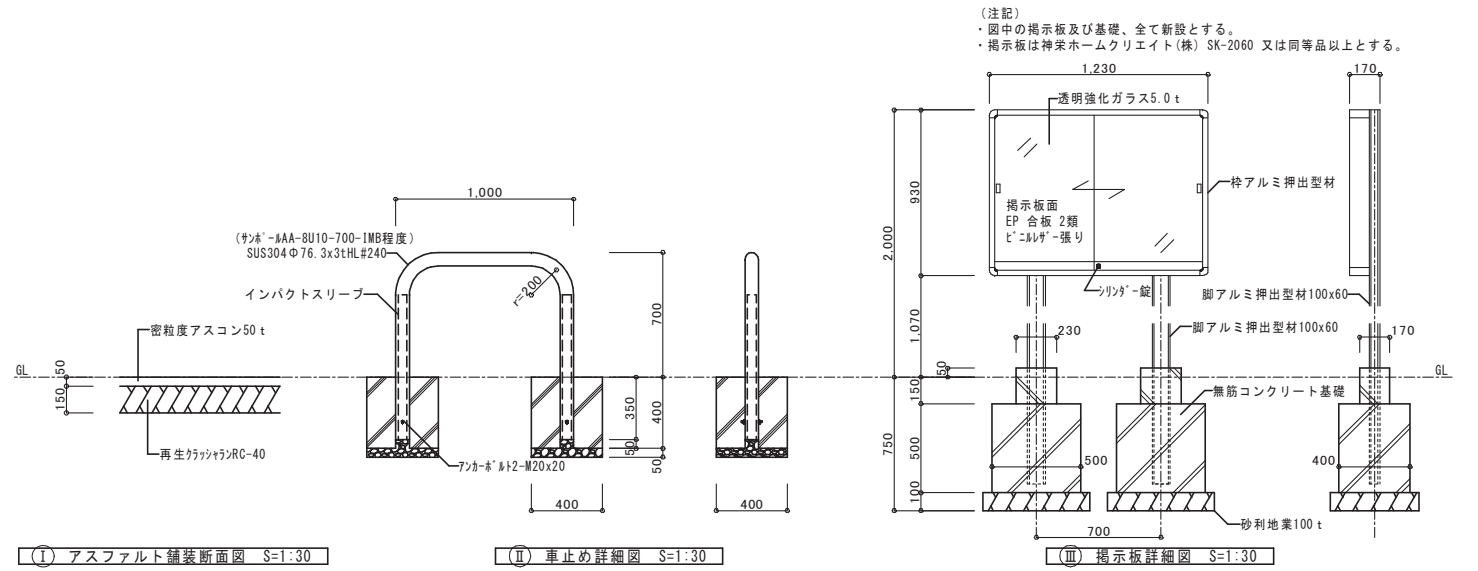
符号・数量	AD 1 箇所 引違い戸	AW 1 箇所 引違い窓		FW 2 箇所 引違い窓(内窓)	FW 2 箇所 引違い窓(内窓)
姿 図					
型式・見込	店舗用 半外付サッシ(断熱土間引戸) / 86	住宅用 半外付サッシ / 86		住宅用 断熱内窓 / 70程度ふかし枠25(メーカー仕様による)	住宅用 断熱内窓 / 70程度ふかし枠25(メーカー仕様による)
材質・仕上	アルミ樹脂複合枠	アルミ樹脂複合枠		樹脂押出型材	樹脂押出型材
ガラス	Low-E強化ペアガラス (LE3 + A15 + TP4)	Low-Eペアガラス (LE3 + A15 + F4)		Low-Eペアガラス (F4 + A12 + LE3)	Low-Eペアガラス (FL3 + A12 + LE3)
建具金物	引手 / 召し合せ錠(片側サムターン) / SUS土間レール / 戸車	クレセント / 網戸		クレセント	クレセント
備考	他付属金物一式 呼称寸法: 16520	他付属金物一式 呼称寸法: 11911		他付属金物一式 既存鴨居溝・敷居溝 埋木処理共	他付属金物一式
符号・数量	LSD 1 箇所 片引きハンガー戸(戸袋ボード納まり)	LSD 1 箇所 片引きハンガー戸(外付納まり)		WD 1 箇所 引違い戸	WD 1 箇所 片引き戸
姿 図					
型式・見込	軽量鋼製フラッシュ戸 / 枠見込:160 扉厚:40	軽量鋼製フラッシュ戸 / 枠見込:160 扉厚:40		木製フラッシュ戸 / 33	木製フラッシュ戸 / 33
材質・仕上	化粧鋼板	化粧鋼板		ポリ合板	ポリ合板
ガラス	-	-		-	-
建具金物	SUSHL引き棒/リソク錠(室内サムターン)/指挟み防止ゴム/ドアスコープ	SUSHL引き棒/リソク錠(室内サムターン)/指挟み防止ゴム/ドアスコープ		引手 / 戸車 / SUS土間レール	ハンガーレール/廻込引手
備考	他付属金物一式	他付属金物一式		他付属金物一式	他付属金物一式
符号・数量	WD 1 箇所 片引き戸	WD 1 箇所 片開き戸	WD 1 箇所 片開き戸	WD 1 箇所 片開き戸	WD 1 箇所 片開き戸
姿 図					
型式・見込	木製フラッシュ戸 / 33	木製フラッシュ戸 / 33	木製フラッシュ戸 / 33	木製フラッシュ戸 / 33	木製フラッシュ戸 / 33
材質・仕上	ポリ合板	ポリ合板	ポリ合板	ポリ合板	ポリ合板
ガラス	ポリカーボネート板(型板) 3.0t	-	-	-	-
建具金物	引手 / Vレール	丁番 / レバーハンドル錠(シリンダー/サムターン)	丁番 / レバーハンドル錠(シリンダー/サムターン)	丁番 / レバーハンドル錠(シリンダー/サムターン)	把手/丁番/リソク錠
備考	他付属金物一式	ドアクローザー(ストッパー付) / 戸当り / 他付属金物一式	ドアクローザー(ストッパー付) / 戸当り / 他付属金物一式	ドアクローザー(ストッパー付) / 戸当り / 他付属金物一式	他付属金物一式

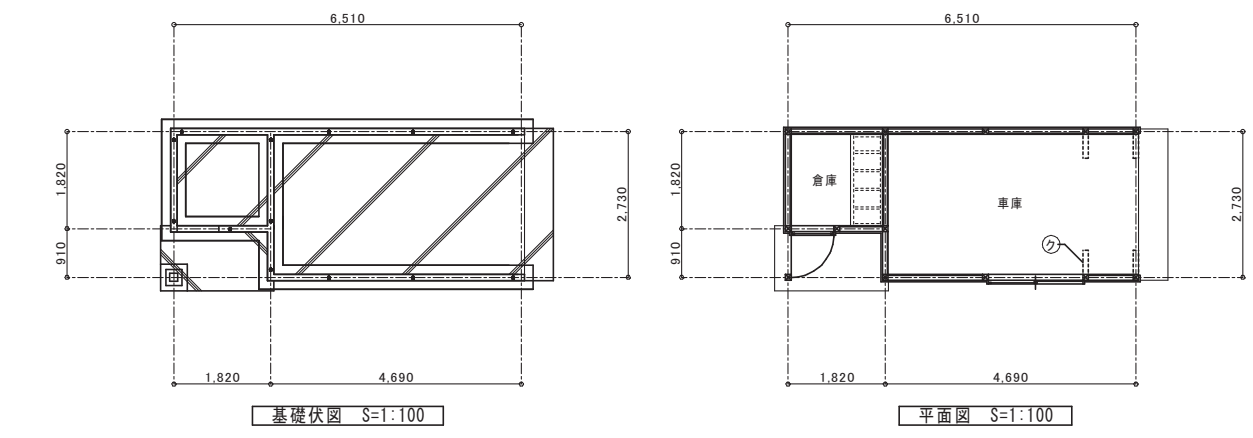
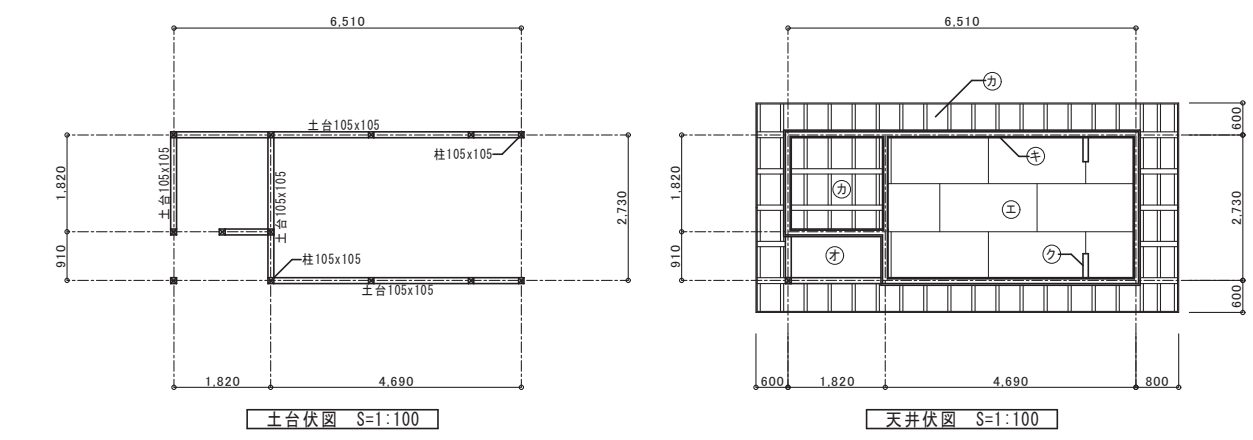
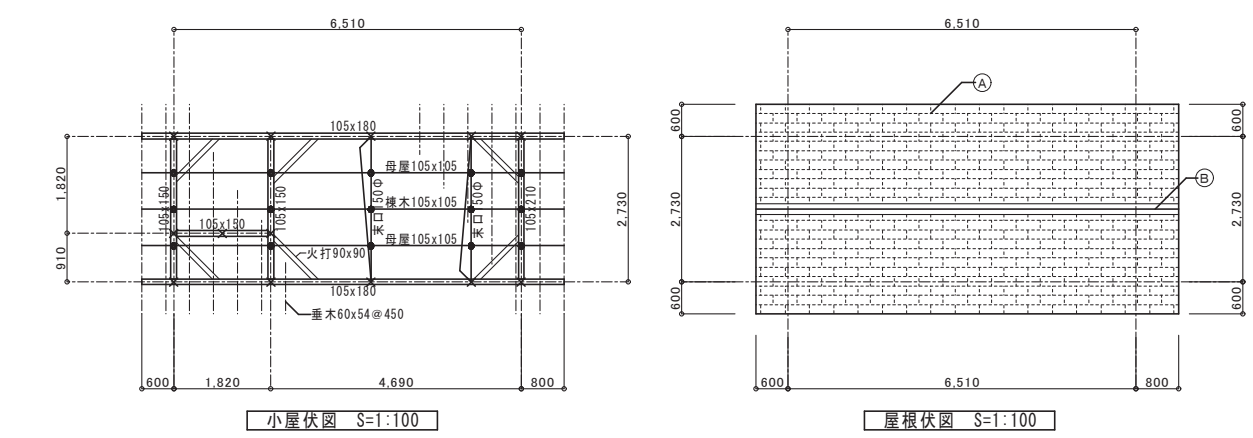
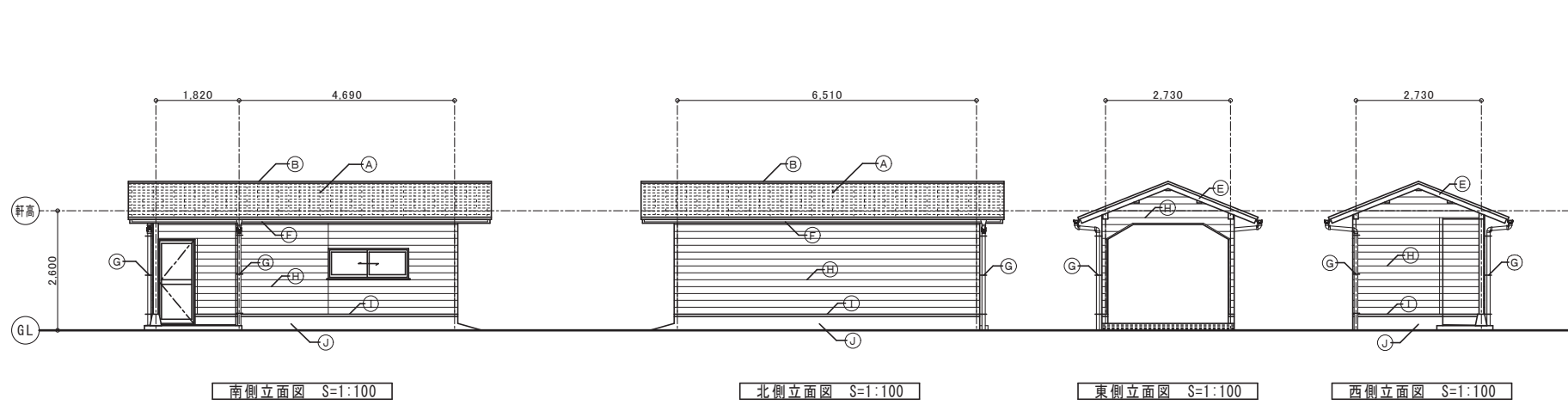
■ガラス略号 FL:フロート板ガラス F:型板ガラス PW:網入透明ガラス FW:網入型板ガラス TP:透明強化ガラス FT:型板強化ガラス LE:Low-Eガラス A:乾燥空気層 ArG:アルゴンガス層

	有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号	一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一	CHECK DESIGN DRAW PROJECT NO TITLE	浜村警察署鹿野駐在所改修工事	DRAWING NAME 建具表(改修)	SCALE 1:50	NO A-23

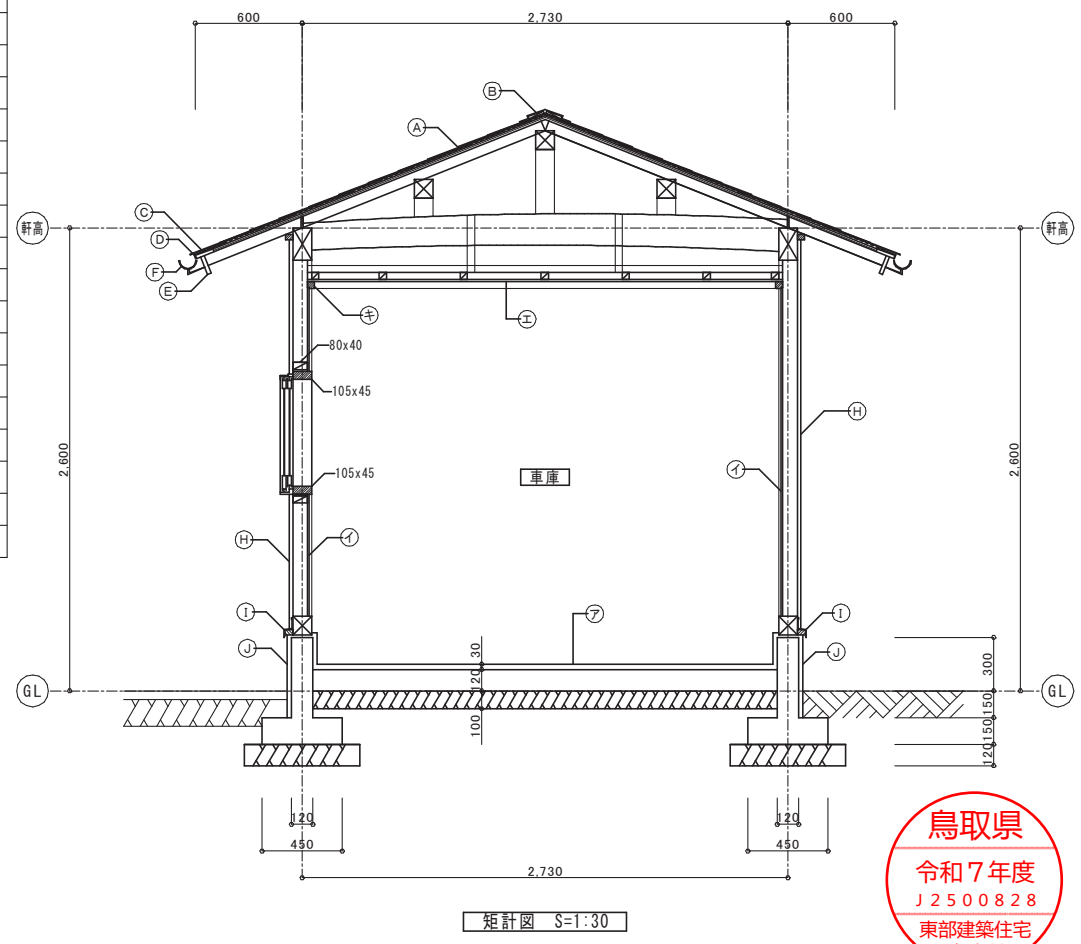
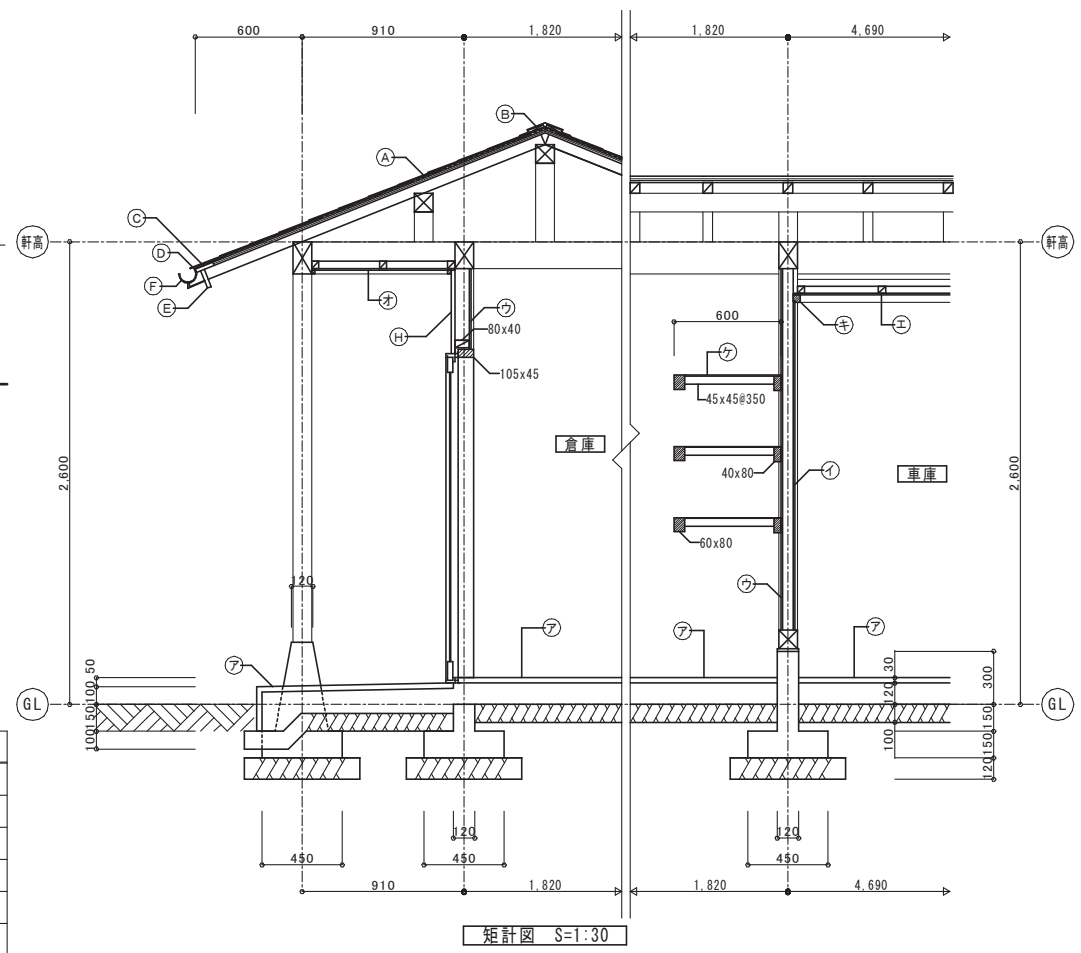
撤去凡例		
記号	内容	数量
①	解体建物（車庫・倉庫）詳細は別図参照	17.77m ²
②	アスファルト舗装撤去（カッター切共）	12.2m ²
③	既存フェンス撤去（基礎共）	7.0m
④	既存掲示板撤去（基礎共）	1ヶ所
⑤	樹木撤去（3.0Wx4.0Hx0.2φ程度）抜根共	1本
⑥	樹木撤去（2.0Wx3.0Hx0.3φ程度）抜根共	1本
⑦	樹木撤去（1.0Wx3.0Hx0.3φ程度）抜根共	1本
 既存アスファルト舗装を示す  既存アスファルト舗装撤去部分を示す		

改修凡例		
記号	内容	数量
Ⅰ	アスファルト舗装（A-5-15）新設	122.2m ²
Ⅱ	車止め新設（基礎共）	1ヶ所
Ⅲ	掲示板新設（基礎共）	1ヶ所
 アスファルト舗装新設部を示す  既存アスファルト舗装を示す		





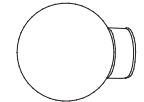
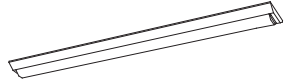
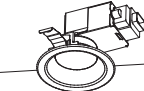



記号	内容
A	型枠用合板12 t+ツツノボード9 t 下地 727tトーフインク 22Kgの上屋根用化粧スレート葺き6 t
B	カラー鋼板様包み0.35 t 下地板15x90
C	広小舞20x105
D	唐草カラー鋼板0.35 t
E	鼻隠し破風板20x105
F	軒根塩ビ105φ半丸
G	壁根塩ビ60φ
H	727tトーフインク20kg下地サイディングボード12 t 張り砂壁状吹付
I	土台水切カラー鋼板0.35 t 木下地30x40
J	モルタル塗り剛毛引き仕上げ
ア	床モルタル塗り金コテ仕上げ
イ	壁網線20x40@300下地石膏ボード9.0 t 張り
ロ	壁網線20x40@300下地ラワン合板4.0 t 張り
エ	野線40x40@450下地石膏ボード9.0 t 張り
オ	野線40x40@450下地有孔合板4.0 t 張り
カ	小屋裏・軒裏化粧表し
キ	廻線30x40
ク	方杖90x90
ケ	欄板ラワン合板4.0 t

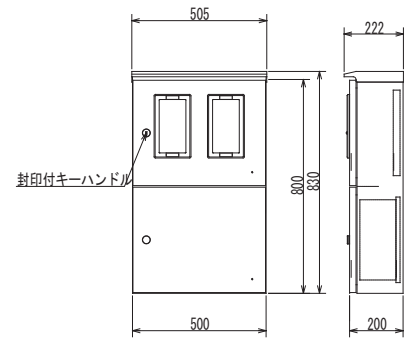
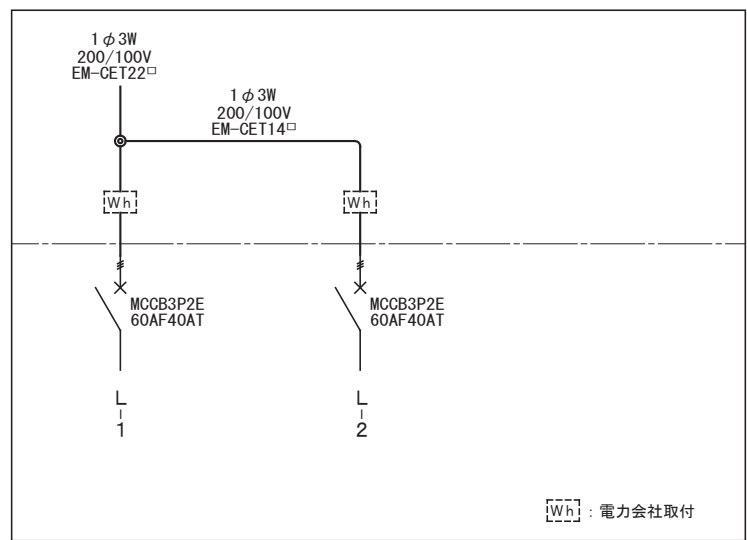


鳥取県
令和7年度
J2500828
東部建築住宅
事務所

<p>15 工事用仮設物</p> <p>⑮ 土工事</p> <p>⑰ 電線類</p> <p>⑲ 電線本数・管路等</p> <p>⑳ 屋外露出配管の仕上げ</p> <p>20 露出配管の塗装（付属品含む）</p> <p>21 波打硬質合成樹脂管（FEP）</p> <p>22 フラッシュプレートの材質</p> <p>23 カバープレートの表示</p> <p>24 ボルボックスの塗装</p> <p>25 耐震施工</p> <p>⑳ 接地極</p> <p>㉑ 屋上、屋側の支持金物等</p> <p>28 結露防止</p> <p>29 アスベスト含有建材の処理</p>	<p>構内につくることが ※ できる ● できない</p> <p>埋め戻し土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類（ ） ● 真砂土（ ）</p> <p>建設発生土の処理 ● 横外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積</p> <p>本工事で環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。</p> <p>EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。</p> <p>通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。</p> <p>盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。</p> <p>ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。</p> <p>分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承認を受けて変更してもさしつかえない。</p> <p>屋外露出配管（厚鋼電線管）で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ [めっき付重量 300g/m²以上] とする。</p> <p>塗装する部分 ● 屋上 ● 屋側 ● 屋外 ● 廊下 ● 機械室 ● 居室（ ） ●</p> <p>波打硬質合成樹脂管（FEP）を使用する場合は不燃又は難燃性とする。</p> <p>● 金属製（ステンレス、新金属も含む） ● 樹脂製</p> <p>シール等を貼付し、用途を表示する。</p> <p>ステンレス製ボルボックスの塗装 ※ 無（素地仕上） ● 有（指定色仕上）</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力、機器重量 [kN] に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">● 特定の施設</th> <th colspan="2">● 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上層階 屋上及び塔屋</td> <td>機 器</td> <td rowspan="3">2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中間階</td> <td>機 器</td> <td rowspan="3">1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地下及び1階</td> <td>機 器</td> <td rowspan="3">1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階 中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの 水槽類には燃料小出槽を含む</p> <p>重要機器（ ● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ● ）</p> <p>2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センター）を参考にする。</p> <p>接地極の材料は次による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記 号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接 地 極</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 共同接地</td> <td>EAED</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B × 3 連 - 2 組</td> </tr> <tr> <td>● 共同接地</td> <td>EACED</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B × 3 連 - 2 組</td> </tr> <tr> <td>● A種</td> <td>EA</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B × 3 連 - 2 組</td> </tr> <tr> <td>● B種</td> <td>EB</td> <td>Ω以下</td> <td>E B × 2 連 - 2 組</td> </tr> <tr> <td>● C種</td> <td>EC</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B × 3 連 - 2 組</td> </tr> <tr> <td>● D種</td> <td>ED</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B × 1</td> </tr> <tr> <td>● 高圧避雷器</td> <td>ELH</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B × 3 連 - 2 組</td> </tr> <tr> <td>● 交換機用</td> <td>Et</td> <td>Ω以下</td> <td>E B × 3 連 - 1 組</td> </tr> <tr> <td>● 通信用</td> <td>EAt</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B × 3 連 - 2 組</td> </tr> <tr> <td>● 通信用</td> <td>EDt及びEDa</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B × 1</td> </tr> <tr> <td>● 電話引込口の保安器用</td> <td>ELt</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B × 1</td> </tr> <tr> <td>● 測定用</td> <td>EO</td> <td>—</td> <td>E B × 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(連結の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする) (ED、Et、EDa、ELt、EOの場合、EBはD=10 L=1000 または W=30 L=900 以上とする) (その他単独の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)</p> <p>ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したのものとする。</p> <p>外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。</p> <p>公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 県有施設の石綿除去に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <p>● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。</p> <p>分析方法はJIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</p> <p>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。</p> <p>(測定時期：) (測定場所：) (測定点：)</p> <p>● 洗浄設備（洗機、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。</p> <p>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</p> <p>対象箇所（)</p>	設置場所	機器種別	● 特定の施設		● 一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.0	1.0	防振支持の機器	2.0	1.5	1.5	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	中間階	機 器	1.5	1.0	0.6	0.6	防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	水 槽 類	1.0	0.6	0.6	地下及び1階	機 器	1.0	0.6	0.4	0.4	防振支持の機器	1.0	0.6	0.6	水 槽 類	1.5	1.0	0.6	接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極	● 共同接地	EAED	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組	● 共同接地	EACED	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組	● A種	EA	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組	● B種	EB	Ω以下	E B × 2 連 - 2 組	● C種	EC	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組	● D種	ED	100Ω以下	E B × 1	● 高圧避雷器	ELH	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組	● 交換機用	Et	Ω以下	E B × 3 連 - 1 組	● 通信用	EAt	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組	● 通信用	EDt及びEDa	100Ω以下	E B × 1	● 電話引込口の保安器用	ELt	100Ω以下	E B × 1	● 測定用	EO	—	E B × 1	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲							<p>⑳ 補修など</p> <p>㉑ はつり</p> <p>㉒ はつり工事における非破壊検査</p> <p>㉓ あと施工アンカー</p> <p>34 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>35 火災保険等</p> <p>36 鳥取県公共事業環境配慮指針</p> <p>37 建築物省エネ法</p> <p>① 照明器具</p> <p>② 一般照明の照度測定</p> <p>3 非常用照明の照度測定</p> <p>4 照明制御の照度測定等</p> <p>1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。</p> <p>LEDの光源色 (● 昼白色 ● 温白色 ● 電球色)</p> <p>測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。)</p> <p>※ 設置した各部屋2箇所以上 ●</p> <p>明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。</p> <p>照度測定時期 (● 夜間 ● 昼間)</p> <p>調光制御点灯時 (● 夜間 ● 昼間)</p> <p>2 機器への接続</p> <p>※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事</p> <p>1 大地抵抗率の測定</p> <p>● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。</p> <p>● 構造体利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極</p> <p>1 変圧器移動車輪</p> <p>75kVA以上に取付。</p> <p>● 本工事 ● 別途工事</p> <p>前・後に設置する。</p> <p>2 デマンド監視装置</p> <p>3 盤内照明</p> <p>1 交流無停電電源装置 (UPS)</p> <p>停電補償時間 (分)</p> <p>方式 (● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式)</p> <p>1 自家発電装置</p> <p>運転時間 (h) 系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)</p> <p>出力 (kW) 配電用外箱 (● 有 ● 無)</p> <p>保安装置 (重故障項目特記) ● 有 ● 無 外部用端子 (● 要 ● 不要)</p> <p>減圧水槽及び初期注水槽の材質 (● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製)</p> <p>オイルタンク (● 地下 ● 屋内)</p> <p>据付：機械設備工事標準図 (● 施工30、32 (タンク室無し) ● 施工31、33 (タンク室有り))</p> <p>燃料小出槽 (注)：返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。</p> <p>材質 (● 鋼板製 ● ステンレス製)</p> <p>燃料油等 (● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス ())</p> <p>排気系統配管断熱材の厚さ (mm) ばい煙測定口 (● 設ける ● 設けない)</p> <p>排気ガスに含まれる窒素酸化物 (以下) 運転音 (dB以下)</p> <p>系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)</p> <p>公称最大出力 (kW) 耐風速 (m/s)</p> <p>パワーコンディショナ (相 線式 V) 定格容量 (kW)</p> <p>自立運転機能 (● 有 ● 無)</p> <p>表示装置 (● 有 ● 無) 方式 (※ 液晶 ●)</p> <p>系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力 (kW)</p> <p>1 交換装置</p> <p>局線応答方式 (● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式)</p> <p>停電補償時間 (分)</p> <p>※ 本工事 ● 別途工事</p> <p>※ モジュラージャック ● 電話用プレート</p> <p>内線 / / 回線 局線 / / 回線 (現用/実装/容量)</p> <p>5 電話機</p> <p>● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台</p> <p>● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台</p> <p>6 電話機への配線</p> <p>卓上電話機1台につき次のものを見込む。</p> <p>● ボタン電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●)</p> <p>● 内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ●)</p> <p>● 多機能電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●)</p> <p>● IP電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ●) (※ 15m ●)</p> <p>1 マルチサイン装置</p> <p>イメージスキャナ (● 設ける ● 設けない)</p> <p>制御装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形)</p> <p>呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)</p> <p>3 時刻表示装置</p> <p>親時計 (● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線)</p> <p>太陽電池式屋外時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)</p> <p>1 プロジェクタ</p> <p>光出力 (● I形 ● II形 ● III形) 解像度 (● A形 ● B形 ● C形)</p> <p>コントラスト比 (● X形 ● Y形)</p>	<p>⑩ 増幅器</p> <p>形式 (● 卓上形 ● ラック形) 定格出力 (W) 性能 (● Hi形 ● Lo形)</p> <p>● 増幅器の入出力配線と外部配管 (壁ボックス等)の接続はコネクタによる。</p> <p>⑪ 導 誘 支 援</p> <p>1 音声誘導装置</p> <p>検出方式 (● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式)</p> <p>12 火災報知設備</p> <p>1 自動火災報知設備</p> <p>受信機 (● 型 級 回線 (番組型) ● 複合形 ● 単独形)</p> <p>● 防火戸用 (※ ラッチ式 ● 電磁式)</p> <p>● 防煙ダンパー用 (※ 電動復帰 ● 手動復帰)</p> <p>● 防火シャッター用 (※ 別途工事 ● 本工事)</p> <p>検知器 (● 天井取付形 ● 壁取付形)</p> <p>2 自動閉鎖設備</p> <p>3 ガス漏れ火災警報設備</p> <p>1 施工方法</p> <p>埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。</p> <p>● GL-600以上 (● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ●)</p> <p>2 地中箱</p> <p>蓋の記号表示は録型流込み (鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。</p> <p>● 閉鎖形 (● 軽耐塩形 ● 重耐塩形) ● 地絡継電器付 (※ 方向性 ● 無方向性)</p> <p>● 避雷器内蔵</p> <p>※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。</p> <p>高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策 (熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等) を行う。</p> <p>3 高圧負荷開閉器</p> <p>● 一般形 ● 耐塩形</p> <p>※ 高圧 ● 低圧</p> <p>照明用ポールには配線用遮断器 (トリップ機能なし)又はカットアウトスイッチ (素通しヒューズ)を内蔵する。ただし、ガーデンプラントは除く。</p> <p>1 施工方法</p> <p>埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。</p> <p>● GL-600以上 (●)</p> <p>2 地中箱</p> <p>蓋の記号表示は録型流込み (鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。</p> <p>● データ回線 ● 電話 ● CATV ●</p> <p>1 調査仕様</p> <p>図面に記載されていない事項は、すべて(一社)日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領 (地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。</p> <p>2 テレビ電波受信障害調査時期</p> <p>※ 事前 ● 中間 ● 事後</p> <p>3 受信する受信波及び地点数</p> <p>中継局 波： 地点</p> <p>中継局 波： 地点</p> <p>※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事後 3部</p> <p>4 報告書提出部数</p> <p>⑬ 機器取付高</p> <p>機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>測 点</th> <th>取付高 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力共通</td> <td>取引用計器</td> <td>地上～窓中心 1,800~2,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>引込開閉器</td> <td>地上～中心 1,800~2,200</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電 気</td> <td>分電盤・OA盤・実験盤</td> <td>床上～中心 1,500 (上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>スイッチ</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>” (多機能トイレ)</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>コンセント (一般)</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>” (和室)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>” (台上)</td> <td>台上～中心 150</td> </tr> <tr> <td>” (土間)</td> <td>床上～中心 800~1,300</td> </tr> <tr> <td>” (車椅子用)</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>” (鏡上)</td> <td>鏡上端～中心 150</td> </tr> <tr> <td>” (鏡上)</td> <td>鏡上端～中心 150</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">動 力</td> <td>壁掛形制御盤</td> <td>床上～中心 1,500 (上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>手元開閉器</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>操作スイッチ</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">構 内 交 換</td> <td>端子盤</td> <td>床上～下端 300</td> </tr> <tr> <td>保安器箱</td> <td>天井下～上端 200</td> </tr> <tr> <td>壁付アウトレット</td> <td>床上～中心 300</td> </tr> <tr> <td>” (和室)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電 気 時 計</td> <td>壁掛形親時計</td> <td>床上～中心 1,500 (上限1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>子時計</td> <td>天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">拡 声</td> <td>壁掛形スピーカ</td> <td>床上～中心 天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td>壁付アッテネータ</td> <td>1,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 工事のための送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。</p>	名 称	測 点	取付高 (mm)	電力共通	取引用計器	地上～窓中心 1,800~2,000		引込開閉器	地上～中心 1,800~2,200	電 気	分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)	スイッチ	1,300	” (多機能トイレ)	1,100	コンセント (一般)	300	” (和室)	150	” (台上)	台上～中心 150	” (土間)	床上～中心 800~1,300	” (車椅子用)	900	” (鏡上)	鏡上端～中心 150	” (鏡上)	鏡上端～中心 150	動 力	壁掛形制御盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)	手元開閉器	1,500	操作スイッチ	1,300	構 内 交 換	端子盤	床上～下端 300	保安器箱	天井下～上端 200	壁付アウトレット	床上～中心 300	” (和室)	150	電 気 時 計	壁掛形親時計	床上～中心 1,500 (上限1,900以下)	子時計	天井高×0.9	拡 声	壁掛形スピーカ	床上～中心 天井高×0.9	壁付アッテネータ	1,300	<p>⑭ 構内配電線路</p> <p>1 施工方法</p> <p>埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。</p> <p>● GL-600以上 (●)</p> <p>蓋の記号表示は録型流込み (鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。</p> <p>● データ回線 ● 電話 ● CATV ●</p> <p>15 テレビ電波受信障害調査</p> <p>図面に記載されていない事項は、すべて(一社)日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領 (地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。</p> <p>※ 事前 ● 中間 ● 事後</p> <p>中継局 波： 地点</p> <p>中継局 波： 地点</p> <p>※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事後 3部</p> <p>⑮ その他</p> <p>表 示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>測 点</th> <th>取付高 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表示盤</td> <td>床上～中心</td> <td>天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td>壁付発信器</td> <td>”</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>ベル、ブザー、チャイム</td> <td>”</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>受付押ボタン (一般)</td> <td>”</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>電源箱</td> <td>床上～下端</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">誘 導 装 置</td> <td>外部受付用インターホン(子機)</td> <td>標準図による</td> </tr> <tr> <td>壁付インターホン(上記以外)</td> <td>床上～中心 1,300</td> </tr> <tr> <td>壁付押ボタン(多機能トイレ)</td> <td>”</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>壁付押ボタン(多機能トイレ)</td> <td>”</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>床転倒時用</td> <td>”</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">テ レ ビ 共 同 受 信</td> <td>機器収容箱</td> <td>天井下～上端 200</td> </tr> <tr> <td>テレビ端子</td> <td>床上～中心 300</td> </tr> <tr> <td>” (和室)</td> <td>”</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">火 災 報 知</td> <td>受信機・副受信機</td> <td>床上～操作部 800~1,500</td> </tr> <tr> <td>機器収容箱</td> <td>”</td> <td>800~1,500</td> </tr> <tr> <td>発信機</td> <td>床上～中心 800~1,500</td> </tr> <tr> <td>ベル</td> <td>天井下～上端 200</td> </tr> <tr> <td>表示灯</td> <td>”</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ガ ス 検 査</td> <td>ガス漏れ中継器</td> <td>天井下～中心 300</td> </tr> <tr> <td>検知器 (都市ガス)</td> <td>天井下～下端 300</td> </tr> <tr> <td>” (LPガス)</td> <td>床上～上端 300</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	測 点	取付高 (mm)	表示盤	床上～中心	天井高×0.9	壁付発信器	”	1,300	ベル、ブザー、チャイム	”	2,300	受付押ボタン (一般)	”	1,300	電源箱	床上～下端	300	誘 導 装 置	外部受付用インターホン(子機)	標準図による	壁付インターホン(上記以外)	床上～中心 1,300	壁付押ボタン(多機能トイレ)	”	900	壁付押ボタン(多機能トイレ)	”	300	床転倒時用	”	300	テ レ ビ 共 同 受 信	機器収容箱	天井下～上端 200	テレビ端子	床上～中心 300	” (和室)	”	150	火 災 報 知	受信機・副受信機	床上～操作部 800~1,500	機器収容箱	”	800~1,500	発信機	床上～中心 800~1,500	ベル	天井下～上端 200	表示灯	”	200	ガ ス 検 査	ガス漏れ中継器	天井下～中心 300	検知器 (都市ガス)	天井下～下端 300	” (LPガス)	床上～上端 300
	設置場所			機器種別	● 特定の施設		● 一般の施設																																																																																																																																																																																																																																		
		重要機器	一般機器		重要機器	一般機器																																																																																																																																																																																																																																			
	上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																			
		防振支持の機器		2.0	1.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																			
		水 槽 類		1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																			
	中間階	機 器	1.5	1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																			
		防振支持の機器		1.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																			
		水 槽 類		1.0	0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																			
	地下及び1階	機 器	1.0	0.6	0.4	0.4																																																																																																																																																																																																																																			
防振支持の機器		1.0		0.6	0.6																																																																																																																																																																																																																																				
水 槽 類		1.5		1.0	0.6																																																																																																																																																																																																																																				
接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極																																																																																																																																																																																																																																						
● 共同接地	EAED	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組																																																																																																																																																																																																																																						
● 共同接地	EACED	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組																																																																																																																																																																																																																																						
● A種	EA	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組																																																																																																																																																																																																																																						
● B種	EB	Ω以下	E B × 2 連 - 2 組																																																																																																																																																																																																																																						
● C種	EC	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組																																																																																																																																																																																																																																						
● D種	ED	100Ω以下	E B × 1																																																																																																																																																																																																																																						
● 高圧避雷器	ELH	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組																																																																																																																																																																																																																																						
● 交換機用	Et	Ω以下	E B × 3 連 - 1 組																																																																																																																																																																																																																																						
● 通信用	EAt	10Ω以下	E B × 3 連 - 2 組																																																																																																																																																																																																																																						
● 通信用	EDt及びEDa	100Ω以下	E B × 1																																																																																																																																																																																																																																						
● 電話引込口の保安器用	ELt	100Ω以下	E B × 1																																																																																																																																																																																																																																						
● 測定用	EO	—	E B × 1																																																																																																																																																																																																																																						
建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																																																																							
名 称	測 点	取付高 (mm)																																																																																																																																																																																																																																							
電力共通	取引用計器	地上～窓中心 1,800~2,000																																																																																																																																																																																																																																							
	引込開閉器	地上～中心 1,800~2,200																																																																																																																																																																																																																																							
電 気	分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																																																																																																																							
	スイッチ	1,300																																																																																																																																																																																																																																							
	” (多機能トイレ)	1,100																																																																																																																																																																																																																																							
	コンセント (一般)	300																																																																																																																																																																																																																																							
	” (和室)	150																																																																																																																																																																																																																																							
	” (台上)	台上～中心 150																																																																																																																																																																																																																																							
	” (土間)	床上～中心 800~1,300																																																																																																																																																																																																																																							
	” (車椅子用)	900																																																																																																																																																																																																																																							
	” (鏡上)	鏡上端～中心 150																																																																																																																																																																																																																																							
	” (鏡上)	鏡上端～中心 150																																																																																																																																																																																																																																							
動 力	壁掛形制御盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																																																																																																																							
	手元開閉器	1,500																																																																																																																																																																																																																																							
	操作スイッチ	1,300																																																																																																																																																																																																																																							
構 内 交 換	端子盤	床上～下端 300																																																																																																																																																																																																																																							
	保安器箱	天井下～上端 200																																																																																																																																																																																																																																							
	壁付アウトレット	床上～中心 300																																																																																																																																																																																																																																							
	” (和室)	150																																																																																																																																																																																																																																							
電 気 時 計	壁掛形親時計	床上～中心 1,500 (上限1,900以下)																																																																																																																																																																																																																																							
	子時計	天井高×0.9																																																																																																																																																																																																																																							
拡 声	壁掛形スピーカ	床上～中心 天井高×0.9																																																																																																																																																																																																																																							
	壁付アッテネータ	1,300																																																																																																																																																																																																																																							
名 称	測 点	取付高 (mm)																																																																																																																																																																																																																																							
表示盤	床上～中心	天井高×0.9																																																																																																																																																																																																																																							
壁付発信器	”	1,300																																																																																																																																																																																																																																							
ベル、ブザー、チャイム	”	2,300																																																																																																																																																																																																																																							
受付押ボタン (一般)	”	1,300																																																																																																																																																																																																																																							
電源箱	床上～下端	300																																																																																																																																																																																																																																							
誘 導 装 置	外部受付用インターホン(子機)	標準図による																																																																																																																																																																																																																																							
	壁付インターホン(上記以外)	床上～中心 1,300																																																																																																																																																																																																																																							
	壁付押ボタン(多機能トイレ)	”	900																																																																																																																																																																																																																																						
	壁付押ボタン(多機能トイレ)	”	300																																																																																																																																																																																																																																						
	床転倒時用	”	300																																																																																																																																																																																																																																						
テ レ ビ 共 同 受 信	機器収容箱	天井下～上端 200																																																																																																																																																																																																																																							
	テレビ端子	床上～中心 300																																																																																																																																																																																																																																							
	” (和室)	”	150																																																																																																																																																																																																																																						
火 災 報 知	受信機・副受信機	床上～操作部 800~1,500																																																																																																																																																																																																																																							
	機器収容箱	”	800~1,500																																																																																																																																																																																																																																						
	発信機	床上～中心 800~1,500																																																																																																																																																																																																																																							
	ベル	天井下～上端 200																																																																																																																																																																																																																																							
表示灯	”	200																																																																																																																																																																																																																																							
ガ ス 検 査	ガス漏れ中継器	天井下～中心 300																																																																																																																																																																																																																																							
	検知器 (都市ガス)	天井下～下端 300																																																																																																																																																																																																																																							
	” (LPガス)	床上～上端 300																																																																																																																																																																																																																																							
<p>令和5年4月改定</p> <p>有限会社 保木本設計</p> <p>一級建築士事務所 鳥取県知事登録第883号</p> <p>一級建築士登録 第139287号 管理建築士 保木本 啓一</p> <p>CHECK DESIGN DRAW PROJECT NO TITLE</p> <p>浜村警察署鹿野駐在所改修工事</p> <p>DRAWING NAME</p> <p>電気設備工事特記仕様書 (2)</p> <p>SCALE</p> <p>1:NS A3印刷時70.7%縮小</p> <p>NO</p> <p>E-02</p> <p>(山根設計 山根貴志)</p>	<p>鳥取県 令和7年度 J2500828 東部建築住宅 事務所</p> <p>㈱永井電機工業所 小林制電㈱ 藤原産業㈱</p> <p>㈱平木電機産業 ㈱富士オートメーション ㈱増岡電機製作所</p>																																																																																																																																																																																																																																								

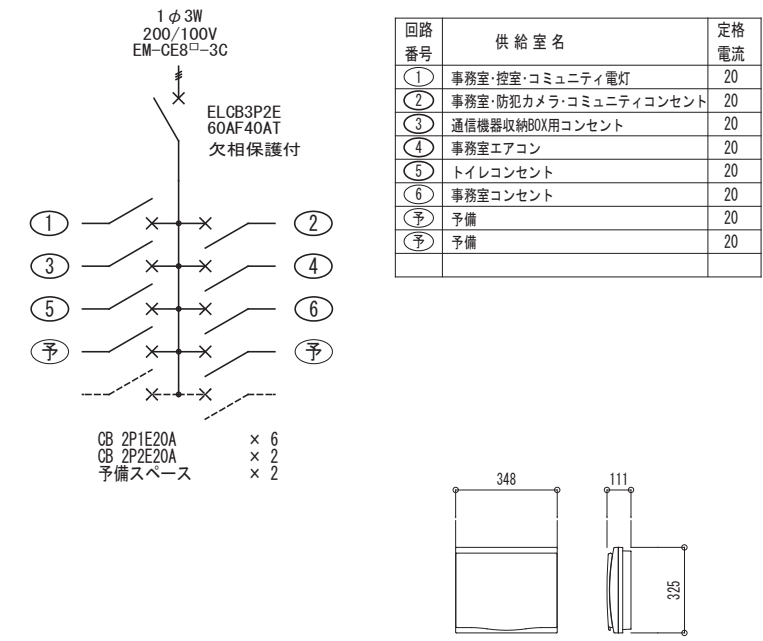
照明器具参考姿図 (※図中品番は参考とする)

<p>A 赤色表示灯</p>  <p>予備電源別置型・非常用LED併用型 電圧:AC/DC100V、消費電力:2.2W、入力電流:0.045A 常時・非常時ランプユニット (LED) グローブ:ガラス (内面赤色塗装) 天井直付型・壁直付型 防雨型</p> <p>パナソニック NNF20293Z相当品</p>	<p>B</p>	<p>C 直付40形 W150</p>  <p>LSS9-4-65</p> <p>一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力:43.1W、定格出力型、電圧:100~242V 本体:鋼板 (白色粉体塗装) ライトカバー (カバー):ポリカーボネート (乳白) 昼白色 (5000K)、Ra83</p>
<p>D ダウンライト 100形電球1灯器具相当</p>  <p>電球色 (2700K)、Ra83 器具光束:730lm、消費電力7.3W、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠:アルミ (ホワイトつや消し) 埋込穴φ100</p> <p>パナソニック LGD3100LLE1相当品</p>	<p>E シーリングライト</p>  <p>電球色 (2700K)、Ra83 器具光束:530lm、消費電力:6W、電圧:100V 天井直付型・壁直付型、拡散タイプ カバー:プラスチック (ホワイト) 送り用端子台付</p> <p>パナソニック LGB51655LE1相当品</p>	<p>F シーリングライト</p>  <p>電球色 (2700K)、Ra83 器具光束:815lm、消費電力:7.9W、電圧:100V 天井直付型・壁直付型、拡散タイプ カバー:プラスチック (ホワイト) 送り用端子台付</p> <p>パナソニック LGB51635LE1相当品</p>
<p>G シーリングライト</p>  <p>昼光色 (6500K)、Ra83 / 電球色 (2700K)、Ra83 器具光束:3950lm、消費電力:32W、電圧:100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、ソフトターン方式 カバー:アクリル (乳白つや消し)、枠: (ホワイト) リモコン (100%~5%) 調光、専用リモコン送信器同梱</p> <p>パナソニック LGC31156K相当品</p>		



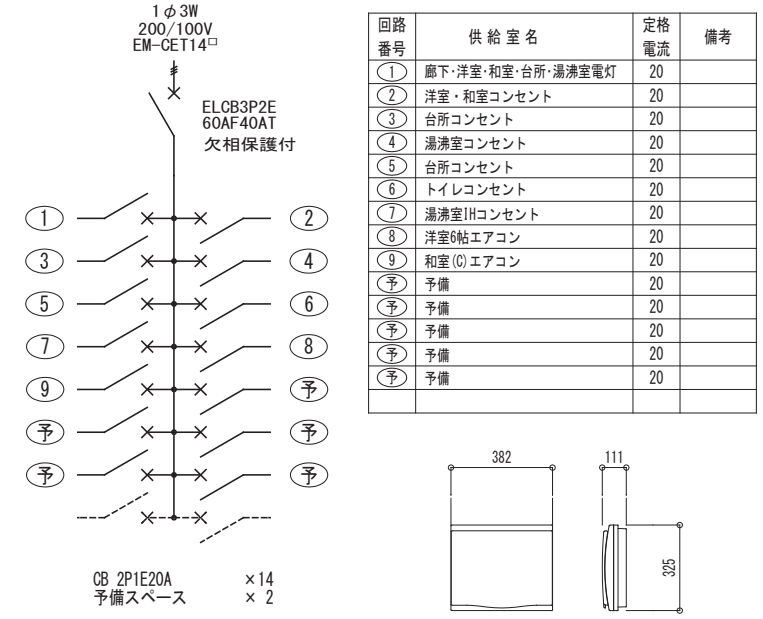
引込開閉器盤参考姿図 (SUS製防雨形露出 標準塗装色)

引込開閉器盤結線図



分電盤(L-1)結線図

分電盤(L-1)参考姿図 (市販品樹脂製露出形)



分電盤(L-2)結線図

分電盤(L-2)参考姿図 (市販品樹脂製露出形)



(山根設計 山根貴志)

特記事項

1. 図中太線を本工事とし、【再】印は取外し再取付、細線は既設のままとする。
2. 図にない機器・配線があった場合は、監督員と協議すること。
3. 壁内配線は、PF管にて保護すること。

図中、特記なき配管及び配線は下記による。

SSC	S-5C-FB	(天井内配線)
SSC	S-5C-FB	(露出配線)
UTP	UTP0.5-4P	(天井内配線)
A2C	AEO.9-2C	(天井内配線)
MEES	EM-MEES0.75-2C	(天井内配線)
MVVS	MVVS0.75-2C	(天井内配線)
MVVS(VE16)	MVVS0.75-2C (VE16)	(天井内配線)
MVVS(VE22)	MVVS0.75-2C (VE22)	(天井内配線)
(PF16)	(PF16)	(天井内配線)
(PF28)	(PF28)	(床隠蔽配線) (床はつり補修)

凡例

記号	名称	仕様
—	端子盤	参考図参照
Ⓜ	インターホン親機	カラーモニター付 AC100V
Ⓧ	玄関子機	カメラ付
Ⓞ	直列ユニット	壁付 中間
ⓄR	直列ユニット	壁付 端末
Ⓢ	煙感知器	天井付 煙2種
ⓐ	ガス漏れ警報器	壁付 LPG用
Ⓡ	ガス給湯機リモコン	壁付
ⓂP	防雨入線カバー	壁付 防水
Ⓢ	スピーカー	壁付 露出形 地区放送用
CCDR	監視カメラ用モニター	壁付HDDレコーダー共 (再取付・本工事)
Ⓜ	天井付監視カメラ	天井付 (再取付・本工事)
Ⓢ	緊急通報装置	(別途警察通信工事)
Ⓢ	不在時電話転送装置	(別途警察通信工事)
Ⓞ	電話用受口	壁付 ノズル
ⓄMJ	電話用受口	電話モジュラジャック6極2芯×1 (加入電話用)
ⓄMJ	電話用受口	電話モジュラジャック6極2芯×1 (警察電話用)
ⓄMJ	電話用アウトレット	ローテーションアウトレット (警察電話用)
Ⓞ	情報用アウトレット	情報モジュラジャック8極8芯×1 壁付
Ⓞ	情報用アウトレット	壁付 ノズル
Ⓞ	情報用アウトレット	ローテーションアウトレット
Ⓢ	インターホン子機	ウォールボックス収納 (機器: 別途警察通信工事)
2	埋込コンセント	2P15A×2
ⓂP	防雨入線カバー	樹脂製
□	アウトレットボックス	四角 中浅 D44

弱電機器参考図

① インターホン親機

② 玄関子機(カメラ付)

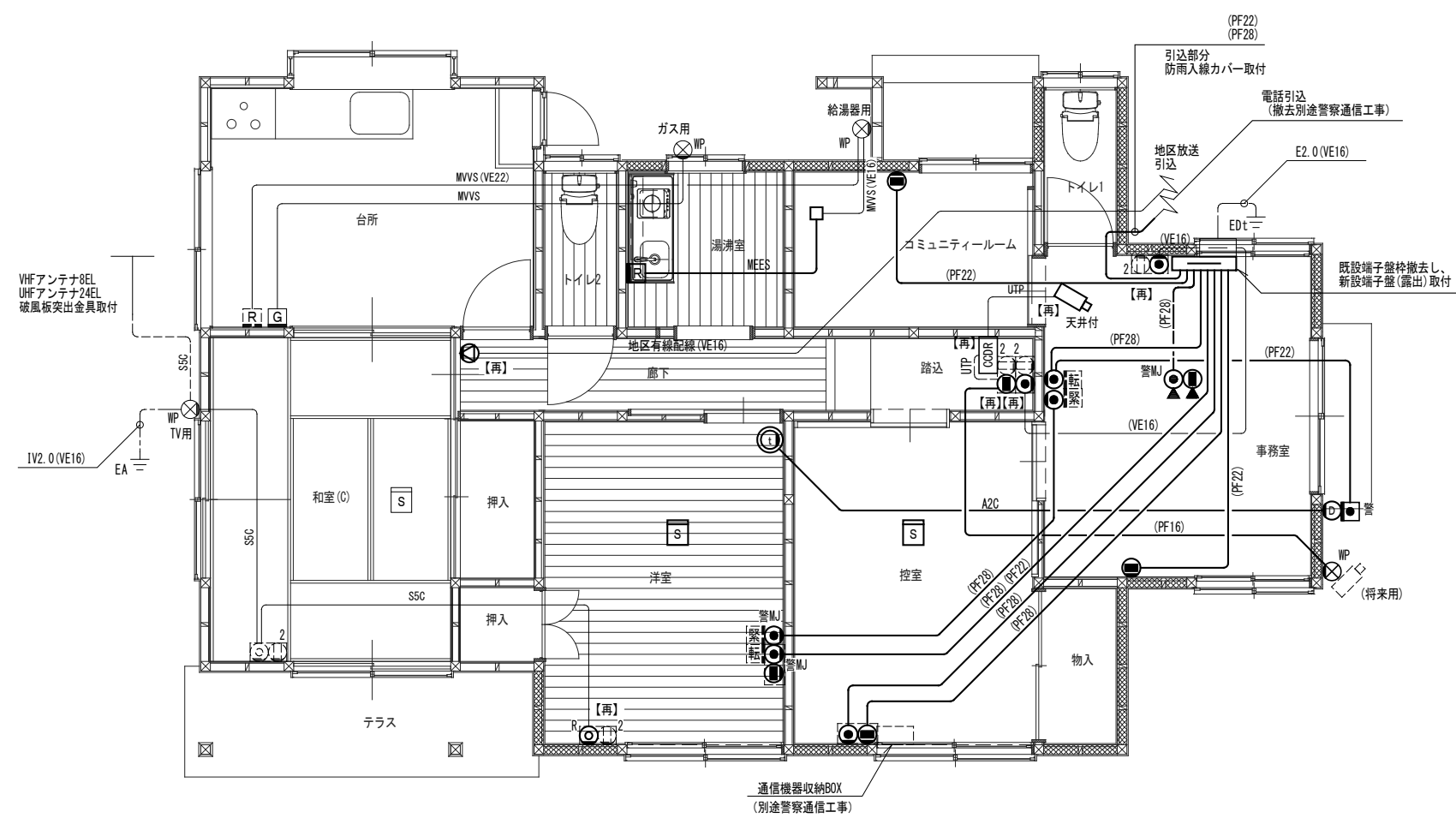
電源	AC100V (50/60Hz)
消費電力	待機時: 約6W 動作時: 約14W
質量	(壁掛け金具無し) 約860g (壁掛け金具有り) 約900g
画面表示	約7型ワイド カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	DECT: 1.9GHz TDMA-WB / Bluetooth: V5.0

電源電圧	DC 約18V
消費電流	待機時: DC 約40mA 動作時: DC 約200mA
質量	[露出時] 約380g [埋込時] 約340g
外観色調	シルバー
取付方法	露出型: JIS1個用スイッチボックス適合 埋込型: JIS3個用スイッチボックス適合

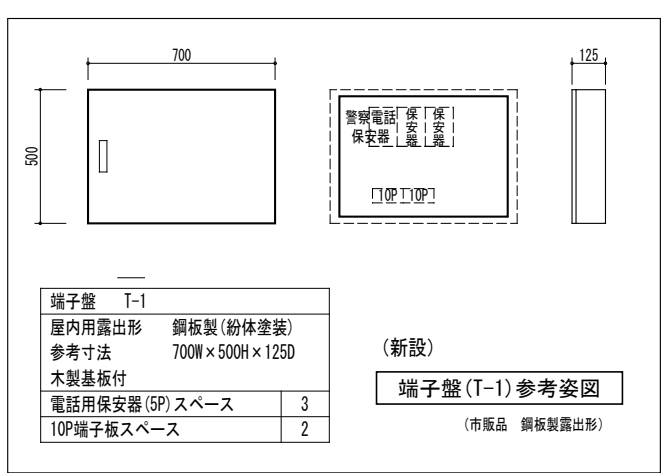
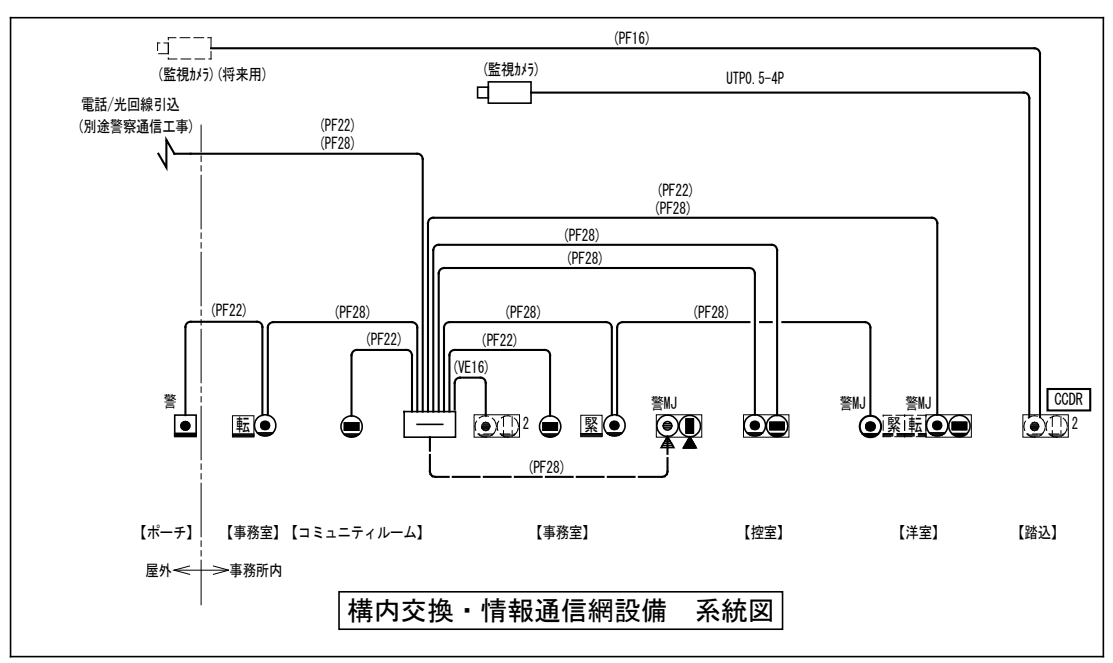
③ 住宅用火災警報器 2種(電池式)

(警報音・音声警報機能付)

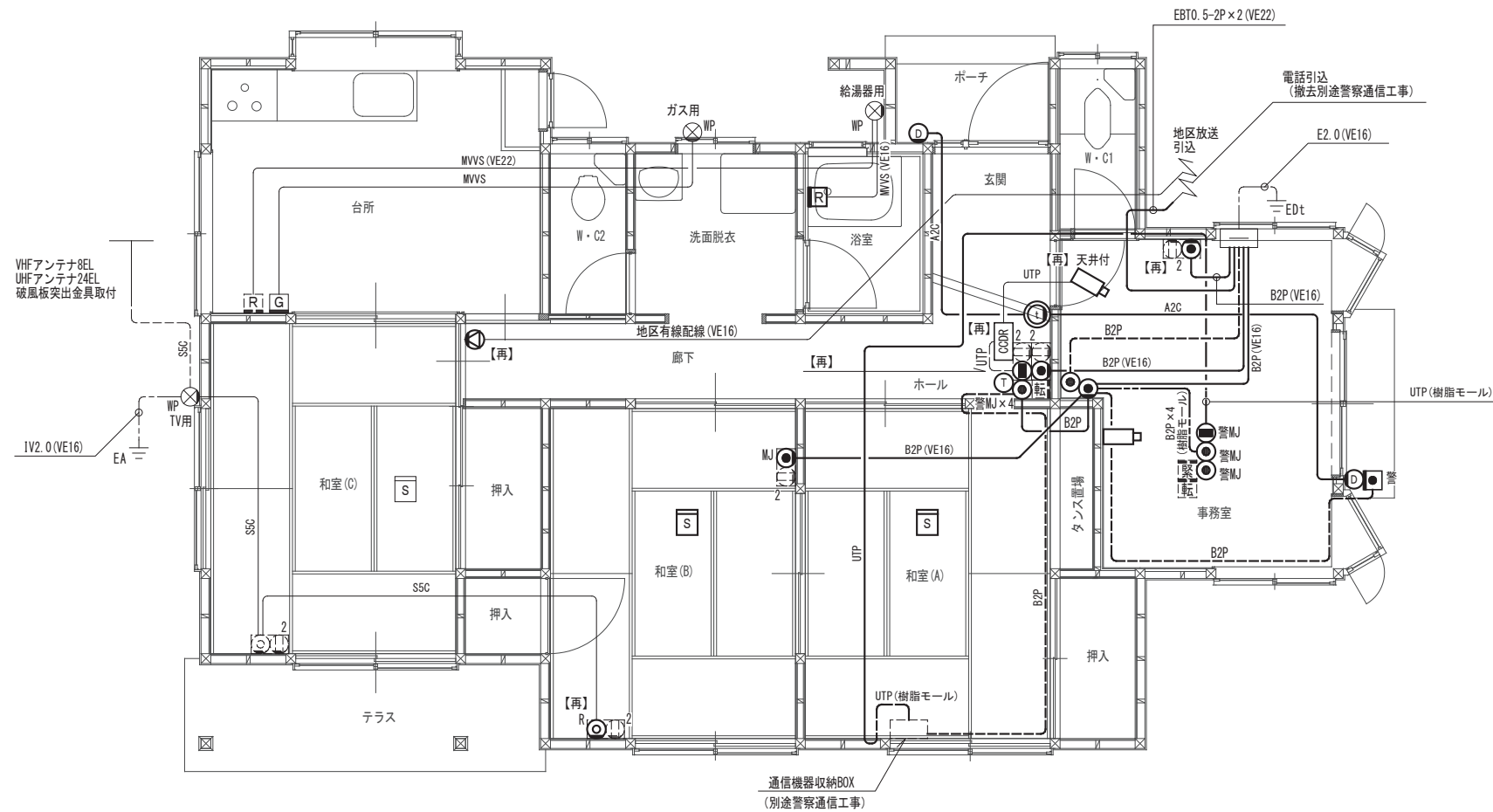
電源	専用リチウム電池 (SH384552520) (DC3V)
電池寿命	約10年
使用周囲温度	0°C~+40°C
質量	約105g (電池含む)
警報音量	90dB (1m)
警報音周波数	0.3kHz~4.0kHz



弱電設備 改修図(改修後) S:1:50



(山根設計 山根貴志)



弱電設備 撤去図(改修前) S=1:50

凡例

記号	名称	仕様
Ⓛ	インターホン親機	カラーモニター付 AC100V
Ⓧ	玄関子機	カメラ付
Ⓞ	直列ユニット	壁付 中間
ⓄR	直列ユニット	壁付 端末
Ⓢ	煙感知器	天井付 煙2種
ⓖ	感知器用アウトレット	壁付 ノズル
Ⓡ	ガス給湯機リモコン	壁付 (別途機械設備工事)
Ⓢ	WP	防雨入線カバー 壁付 防水
Ⓢ	スピーカー	壁付 露出形 地区放送用
CCDR	監視カメラ用モニター	壁付HDDレコーダー共 (取外し:本工事)
□	監視カメラ	壁付 (撤去:本工事)
□	天井付 監視カメラ	天井付 (取外し:本工事)
H	電話用保安器箱	屋内埋込形市販品 5P
Ⓢ	緊急通報装置	(別途警察通信工事)
Ⓢ	不在時電話転送装置用	(別途警察通信工事)
Ⓢ	電話機	
Ⓢ	MJ	電話用受口 電話モジュラジャック6極2芯×1 (加入電話用)
Ⓢ	警MJ	電話用受口 電話モジュラジャック6極2芯×1 (警察電話用)
Ⓢ	電話用アウトレット	壁付 ノズル
Ⓢ	MJ	電話用受口 電話モジュラジャック6極2芯×1 露出形
Ⓢ	情報用アウトレット	壁付 ノズル
Ⓢ	警MJ	情報用受口 情報モジュラジャック8極8芯×1 露出形
Ⓢ	2	埋込コンセント 2P15A×2
Ⓢ	警	インターホン子機 ウォルボックス取納 (機器:別途警察通信工事)
光	光成端装置	壁付

特記事項

1. 図中大線を本工事(既設撤去)とし、【再】印は取外し再取付、細線は既設のままとする。
2. 図にない機器・配線があった場合は、監督員と協議すること。

図中、特記なき配管及び配線は下記による。

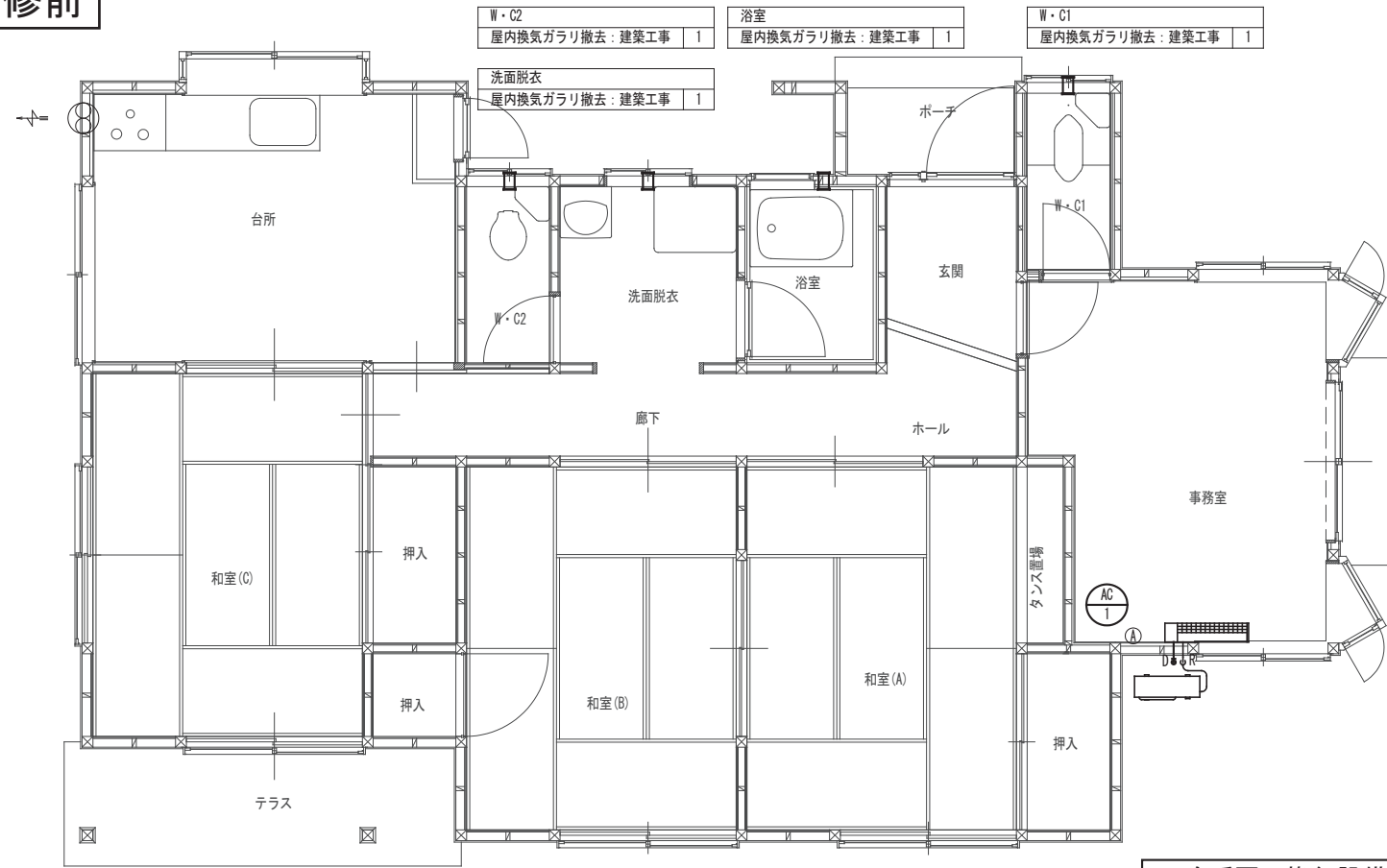
B2P(VE16)	EBT0. 5-2P (VE16)	(天井内配線)
B2P(VE22)	EBT0. 5-2P (VE22)	(天井内配線)
B2P	EBT0. 5-2P	(天井内配線)
B2P	EBT0. 5-2P	(露出配線)
SSC	S-5C-FB	(天井内配線)
SSC	S-5C-FB	(露出配線)
UTP	UTP0. 5-4P	(天井内配線)
UTP(樹脂モール)	UTP0. 5-4P (樹脂モール)	(露出配線)
UTP(樹脂モール)	UTP0. 5-4P (樹脂モール)	(床面露出配線)
A2C	AE0. 9-2C	(天井内配線)
MVVS	MVVS0. 75-2C	(天井内配線)
MVVS(VE16)	MVVS0. 75-2C (VE16)	(天井内配線)
MVVS(VE22)	MVVS0. 75-2C (VE22)	(天井内配線)

鳥取県
令和7年度
J2500828
東部建築住宅
事務所

<p>一般共通事項</p> <p>21 鋼管類の防食処置</p> <p>22 絶縁継手</p> <p>23 防振継手</p> <p>24 伸縮管継手</p> <p>25 塗装</p> <p>26 ステンレス鋼管の接合方法</p> <p>27 溶接配管の検査</p> <p>28 埋設表示</p> <p>29 支持金物・固定金具</p> <p>30 総合試運転調整</p> <p>31 アスベスト含有建材の処理</p> <p>32 補修など</p> <p>33 はつり</p> <p>34 はつり工事における非破壊検査</p> <p>35 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>36 火災保険等</p> <p>37 グリーン購入</p> <p>38 鳥取県公共工事環境配慮指針</p> <p>39 建築物省エネ法</p> <p>40 耐震施工</p>	<p>地中埋設 ●ペトロタム系 ●フチルゴム系 ●熱収縮チューブ及びシート</p> <p>●標準図(施工3) ●(1)絶縁フランジ ●(2)絶縁シート ●(3)絶縁スリーブ ●(4)絶縁ユニオン</p> <p>※合成ゴム製(球形) ●ポリテトラフルオロエチレン製 ●ペローズ形(ステンレス製)</p> <p>※ペローズ形 ●スリーブ形</p> <p>各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)</p> <p>(ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) (イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠べいされる部分 (エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等をしたもので、常時隠べいされる部分 (カ)カラー垂鉛鉄板面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <p>●上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所()</p> <p>呼び径60Su以下の継手は、SAS322を満足するものとする。</p> <p>●ガス配管 ●冷水配管 ●冷却水配管</p> <p>非破壊検査の適用(●放射線透過検査 ●浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)</p> <p>抜取率(●標準仕様書による ●%)</p> <p>●地中埋設機を隠す箇所に設ける。</p> <p>●埋設表示用テープを埋設する。(●ガス管 ●屋外給水管 ●)</p> <p>ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <p>●温度 ●湿度 ●風量 ●騒音 ●水量 ●浄化槽放流水質</p> <p>●風速 ●じんあい ●飲料水水質(●一般飲料水適否検査 ●残留塩素測定)</p> <p>●その他水質等(●雑用水 ●空調用流体 ●)</p> <p>公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 県有施設石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <p>● 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。</p> <p>分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</p> <p>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。</p> <p>(測定時期: 測定場所: 測定点:)</p> <p>● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。</p> <p>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</p> <p>対象箇所()</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にない補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>調査方法 ※電磁誘導式 ●放射線透過検査</p> <p>実施する。</p> <p>35 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。</p> <p>(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)</p> <p>グリーン購入は次のものとする。</p> <p>●空調用機器(エアコン) ●衛生器具()</p> <p>●断熱材() ●配管材(●再生硬質ポリ塩化ビニル管)</p> <p>●その他()</p> <p>対象工事</p> <p>対象工事</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>(1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽等には有効質量)[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平地震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">設計用標準水平地震度</th> <th colspan="2">●特定の施設</th> <th colspan="2">●一般の施設</th> </tr> <tr> <th>●重要機器</th> <th>●一般機器</th> <th>●重要機器</th> <th>●一般機器</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">上層階 屋上、塔屋</td> <td>機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>水槽類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>防振設置機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </table> <p>上層階の定義 2～6階建:最上層、7～9階建:上層2階、10～12階建:上層3階、13階建以上:上層4階</p> <p>中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <p>重要機器 ●換気機器 ●空調機器 ●熱源機器 ●防災機器 ●監視制御設備 ●危険物貯蔵装置</p> <p>●火を使用する設備 ●避難経路上に設置する機器 ●水槽類(燃料小出槽を含む)</p> <p>()</p> <p>(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。</p>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲							設計用標準水平地震度	●特定の施設		●一般の施設		●重要機器	●一般機器	●重要機器	●一般機器	上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	中間階	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	地階・1階	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	<p>1 空気調和設備</p> <p>2 冷暖房設備</p> <p>3 換気設備</p> <p>1 設計用温湿度条件</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">外気条件(目標値)</th> <th colspan="4">室内(調整目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">一般</th> </tr> <tr> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>36.0</td> <td>℃</td> <td>50.2</td> <td>%</td> <td>28.0</td> <td>℃</td> <td></td> <td>%</td> <td></td> <td>℃</td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-0.4</td> <td>℃</td> <td>78.5</td> <td>%</td> <td>19.0</td> <td>℃</td> <td></td> <td>%</td> <td></td> <td>℃</td> <td></td> <td>%</td> </tr> </table> <p>2 冷却水管</p> <p>3 冷水・温水・冷温水管</p> <p>4 膨張・空気抜・補給水管</p> <p>5 蒸気給気管</p> <p>6 蒸気還水管</p> <p>7 油・油用通気管</p> <p>8 冷媒管</p> <p>9 空調用給水管</p> <p>10 空調用排水管</p> <p>11 弁類</p> <p>12 ファンコイルユニット</p> <p>13 ダンパー</p> <p>14 ダクト</p> <p>15 吹出口・吸込口</p> <p>16 チャンパー等</p> <p>17 消音内貼り</p> <p>18 瞬間流量計及び流量測定口</p> <p>19 測定風量・変風量ユニット</p> <p>20 温度計</p> <p>21 冷水管の空気抜き</p> <p>22 空調機用トラップ</p> <p>23 鋼板製煙道</p> <p>24 オイルサービスタンク</p> <p>25 地下オイルタンク</p> <p>26 油面制御装置</p> <p>27 フィルター等付属品</p> <p>28 パッケージ空調機の能力表示</p> <p>29 防振吊り及び支持金物</p> <p>4 1ダクト</p> <p>2 排煙口</p> <p>3 排煙口開放及び復帰方式</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>5 1中央監視制御装置</p> <p>2電源装置</p> <p>3温度調節器等</p> <p>4計装工事の配線</p> <p>5 自動制御設備</p>		外気条件(目標値)				室内(調整目標値)				一般		一般		一般		一般		(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏季	36.0	℃	50.2	%	28.0	℃		%		℃		%	冬季	-0.4	℃	78.5	%	19.0	℃		%		℃		%	<table border="1"> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">外気条件(目標値)</th> <th colspan="4">室内(調整目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">一般</th> </tr> <tr> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>36.0</td> <td>℃</td> <td>50.2</td> <td>%</td> <td>28.0</td> <td>℃</td> <td></td> <td>%</td> <td></td> <td>℃</td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-0.4</td> <td>℃</td> <td>78.5</td> <td>%</td> <td>19.0</td> <td>℃</td> <td></td> <td>%</td> <td></td> <td>℃</td> <td></td> <td>%</td> </tr> </table> <p>●SGP(白) ●SGP-VA ●SGP-PA</p> <p>●SGP(白) ●SGP-HVA ●ステンレス鋼管(SUS304)</p> <p>●架橋ポリエチレン管(ファンコイル機器接続部に限る) ●ポリプテン管(ファンコイル機器接続部に限る)</p> <p>●SGP(白) ●ステンレス鋼管(SUS304)</p> <p>●SGP(黒)</p> <p>●STPG370-Sch40(黒) ●ステンレス鋼管(SUS304)</p> <p>一般配管 ●SGP(黒) 地中配管 ※合成樹脂被覆鋼管</p> <p>※断熱材被覆鋼管</p> <p>●ステンレス鋼管 ●SGP-VA ●</p> <p>●SGP(白) ●VP</p> <p>●5K ●10K</p> <p>※流量調整弁 ●定流量弁(●ダイヤフラム式流量可変式 ●カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防煙ダンパー ※遠隔復帰式 ●電気式</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※遠隔復帰式 ●</p> <p>●低圧ダクト ●高圧1ダクト ●高圧2ダクト</p> <p>●長方形ダクト ●コーナーボルト工法(●共板工法(動作用電圧(電圧)0.7A以下とする。)(長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。)) ●アングルフランジ工法</p> <p>●防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。</p> <p>ボックス ※垂鉛鉄板製 ●グラスウール製</p> <p>シーリングディフューザーの接続は、標準図(施工49)を参考とする。</p> <p>接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>線状吹出口には、(長さ+100)×300×300Hの接続チャンパーを設ける。</p> <p>外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。</p> <p>吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。</p> <p>内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口(原則400×600)を取付ける。</p> <p>形式はピトー管式(コック付)とする。 ●着脱式 ●固定式</p> <p>下記の箇所、若しくは図示により取付ける。</p> <p>●冷凍機類の冷水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング</p> <p>●冷凍機類の冷却水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング</p> <p>●ボイラー又は熱交換器の温水出口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング</p> <p>●冷水水ヘッダーの各送り管 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング</p> <p>●ユニット形空気調和機の冷水水入口 ●瞬間流量計 ●測定用タッピング</p> <p>●メカニカル形 ●風速センサー形</p> <p>機器付属以外の温度計 ※工業用バイメタル式 ●ガード付L形温度計</p> <p>空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。</p> <p>※手動 ●自動</p> <p>自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工38(g))</p> <p>機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。</p> <p>トラップ形式はフオートボール式(床置型) ※FRP製保温型 ●FRP製 ●SUS製</p> <p>材質及び厚さ ●SS400(※3.2mm ●4.5mm) ●SUS(※1.5mm ●2.0mm)</p> <p>煤煙濃度計 ●取付ける ●取付けない ●取付座を付ける</p> <p>煤じん量測定口(80φ×2) ※取付ける ●取付けない</p> <p>油面計はゲージ式(側計)とする。</p> <p>据付け方法 ●標準図(施工32)(二重殻タンク・タンク室無し) ●標準図(施工33)(タンク室有り)</p> <p>タンクの保護被覆 ※強化プラスチック ●エポキシ樹脂 ●アスファルト</p> <p>基礎杭 ※不要 ●要(※別途工事 ●本工事)</p> <p>土留め工事 ●要 ●不要</p> <p>タンクローリー用アース端子を設ける。</p> <p>油面制御装置の機能 ●給油ポンプの起動停止 ●満油警報 ●減油警報 ●</p> <p>●機器表特記による。</p> <p>●空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。</p> <p>インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。</p> <p>標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。</p> <p>※垂鉛鉄板製 ●鋼板製(厚1.6mm)</p> <p>形状 ●パネル形 ●スリット形 ●ダンパー形</p> <p>取付け ●天井取付 ●壁取付</p> <p>電気式(遠隔操作) ※不要 ●要)</p> <p>●有り(構成機能は、図示による) ●無し</p> <p>●要(●本工事 ●別途工事) ●不要</p> <p>取付高さ ※1300mm ●mm</p> <p>●屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。</p> <p>●天井隠べいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。</p>		外気条件(目標値)				室内(調整目標値)				一般		一般		一般		一般		(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏季	36.0	℃	50.2	%	28.0	℃		%		℃		%	冬季	-0.4	℃	78.5	%	19.0	℃		%		℃		%	<p>6 衛生器具設備</p> <p>7 給水設備</p> <p>8 排水設備</p> <p>9 給湯設備</p> <p>10 消火設備</p> <p>11 ガス設備</p> <p>12 浄化槽設備</p> <p>1 衛生器具の参考型番</p> <p>2 小便器用節水装置</p> <p>3 自動水栓</p> <p>4 大便器洗浄弁</p> <p>5 温水洗浄便座</p> <p>6 器具と排水管接続</p> <p>1 量水器</p> <p>2 配管材料</p> <p>3 弁類</p> <p>4 水槽のマンホール</p> <p>1 配管材料</p> <p>(イ)屋内雑排水管 ●VP ●RF-VP ●SGP(白) ●排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>(ウ)ポンプ排水管 ●VP(水道用) ●HIVP ●排水用塩ビライニング鋼管(送排水管用継手)</p> <p>(エ)通気管 ●VP ●RF-VP ●SGP(白) ●排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>(オ)屋外排水管 ●VP ●RF-VP ●VU(地中) ●REP-VU(地中)</p> <p>●RS-VU ●卵形管 ●コンクリート管</p> <p>3階以上わたる排水管立て管に満水試験継手を ●取付ける ●取付けない</p> <p>※ 施工する ● 施工しない</p> <p>※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う</p> <p>1 配管材料</p> <p>2 弁類</p> <p>1 配管材料</p> <p>(ア)一般配管 ●SGP(白) ●STPG</p> <p>(イ)土間下配管 ●SGP-VS ●STPG-VS</p> <p>(ウ)地中配管 ●SGP-VS ●STPG-VS</p> <p>※10K ●16K</p> <p>(ア)呼水タンク ※施工しない ●施工する</p> <p>(イ)充水タンク ※施工しない ●施工する</p> <p>(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e・3・(ハ)・VIIによる)</p> <p>●屋内消火栓用(※施工しない ●施工する) ●スプリンクラー用(※施工しない ●施工する)</p> <p>●連絡送水用(※施工しない ●施工する) ●連絡放水用(※施工しない ●施工する)</p> <p>●広範囲型2号消火栓 ●易操作性1号消火栓 ●屋内消火栓(●1号 ●2号)</p> <p>●窒素 ●IG-541 ●IG-55 ●HFC-227ea ●HFC-23</p> <p>※手動 ●自動手動切替式</p> <p>1 都市ガス設備</p> <p>2 配管材料</p> <p>3 ガスメータ</p> <p>4 バルク貯槽</p> <p>5 容器廻りの配管</p> <p>6 容器転倒防止</p> <p>7 ガス漏れ警報器</p> <p>1 処理種別及び方式</p> <p>2 型式</p> <p>3 処理能力</p> <p>4 放流水の水質</p> <p>5 排水方式</p> <p>6 埋戻し土</p> <p>7 土留め工事</p> <p>8 マンホールふた</p> <p>9 消毒薬</p> <p>型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。</p> <p>※小便器一体型 ●小便器分離型</p> <p>●洗浄水量4リットル/回以下</p> <p>※個別感知方式(●AC電源 ●自己発電 ●乾電池) ●手動式</p> <p>電源供給方式 ●AC電源 ●自己発電 ●乾電池</p> <p>操作方式 ●電気開閉式(●センサー式 ●タッチスイッチ式)</p> <p>●手動式</p> <p>洗浄用水加温方式 ●瞬間式 ●貯湯式</p> <p>※標準図(施工64) ●標準図(施工65)</p> <p>●観メーター ※借用 ●買収 (※直読 ●遠隔表示)</p> <p>●子メーター ※買収 ●借用 (※直読 ●遠隔表示)</p> <p>(ア)一般配管 ●SGP-VB ●SGP-PB ●SUS304 ●SUS316</p> <p>●HIVP ●架橋ポリエチレン管</p> <p>(イ)土間下配管 ●SGP-VD ●SGP-PD ●HIVP ●SUS304 ●SUS316</p> <p>(ウ)地中配管 ●SGP-VD ●SGP-PD ●HIVP ●SUS304 ●SUS316</p> <p>●水道配水用ポリエチレン管(75～100A) ●水道用ポリエチレン二層管(50A以下)</p> <p>(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>(オ)ビニル管の接合方法 ※接着接合 ●ゴム輪接合(直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。)</p> <p>(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※金属製継手 ●融着継手 75A以上 ※融着継手</p> <p>※口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。</p> <p>●5K(受水槽以降の配管に使用) ●10K(公営水道に直結する配管に使用)</p> <p>●公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用)</p> <p>屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形(二重蓋含む)とする。</p> <p>(ア)屋内汚水管 ●VP ●RF-VP ●排水用塩ビライニング鋼管 ●耐火二層管</p> <p>(イ)屋内雑排水管 ●VP ●RF-VP ●SGP(白) ●排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>●耐火二層管</p> <p>(ウ)ポンプ排水管 ●VP(水道用) ●HIVP ●排水用塩ビライニング鋼管(送排水管用継手)</p> <p>(エ)通気管 ●VP ●RF-VP ●SGP(白) ●排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>(オ)屋外排水管 ●VP ●RF-VP ●VU(地中) ●REP-VU(地中)</p> <p>●RS-VU ●卵形管 ●コンクリート管</p> <p>3階以上わたる排水管立て管に満水試験継手を ●取付ける ●取付けない</p> <p>※ 施工する ● 施工しない</p> <p>※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う</p> <p>1 配管材料</p> <p>2 弁類</p> <p>●SGP-HVA ●ステンレス鋼管 ●架橋ポリエチレン管</p> <p>●保温付被覆鋼管 ●鋼管 ●HTVP</p> <p>湯沸器、給湯機器の付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <p>※5K ●10K</p> <p>(ア)一般配管 ●SGP(白) ●STPG</p> <p>(イ)土間下配管 ●SGP-VS ●STPG-VS</p> <p>(ウ)地中配管 ●SGP-VS ●STPG-VS</p> <p>※10K ●16K</p> <p>(ア)呼水タンク ※施工しない ●施工する</p> <p>(イ)充水タンク ※施工しない ●施工する</p> <p>(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e・3・(ハ)・VIIによる)</p> <p>●屋内消火栓用(※施工しない ●施工する) ●スプリンクラー用(※施工しない ●施工する)</p> <p>●連絡送水用(※施工しない ●施工する) ●連絡放水用(※施工しない ●施工する)</p> <p>●広範囲型2号消火栓 ●易操作性1号消火栓 ●屋内消火栓(●1号 ●2号)</p> <p>●窒素 ●IG-541 ●IG-55 ●HFC-227ea ●HFC-23</p> <p>※手動 ●自動手動切替式</p> <p>都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。</p> <p>(ア)一般配管 ●SGP(白) ●合成樹脂被覆鋼管 ●ガス用ポリエチレン管</p> <p>(イ)土間下配管 ※合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(ウ)地中配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ●ガス用ポリエチレン管</p> <p>●観メーター ※借用 ●買収 (取付け ※別途 ●本工事)</p> <p>●子メーター ※買収 ●借用 (取付け ※本工事 ●別途)</p> <p>●縦型 ●横型 ●借用 ●買収</p> <p>●標準図(施工73)の ●要領(a) ●要領(b) ●要領(c)</p> <p>●標準図(施工74)の ●要領(a) ●要領(b)</p> <p>●不要 ●要(※別途工事 ●本工事)</p> <p>●小規模合併処理(●分離接触ばっ気方式 ●嫌気床接触ばっ気方式 ●脱窒床接触ばっ気方式)</p> <p>●その他性能評価を受けた方式()</p> <p>●合併処理(●接触ばっ気方式 ●長時間ばっ気方式 ●回転接触方式)</p> <p>●ユニット型 ●現場施工型</p> <p>●処理対象人員 ●処理水量 m³/d</p> <p>●流入BOD 200mg/L ●放流水質BOD 20mg/L以下</p> <p>●T-N mg/L以下 ●T-P mg/L以下</p> <p>※自然流下 ●ポンプ排水</p> <p>●砂 ●根切土中の良質土</p> <p>●不要 ●要(図示による)</p> <p>※製造者標準仕様(ロック式) ●MHA型(ボルト式)</p> <p>3ヶ月相当分を納入する。</p>	<p>DRAWING NAME</p> <p>SCALE</p> <p>NO</p> <p>機設設備工事特記仕様書(2)</p> <p>M-02</p>
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																																																																																																																																												
	設計用標準水平地震度	●特定の施設		●一般の施設																																																																																																																																																																											
		●重要機器	●一般機器	●重要機器	●一般機器																																																																																																																																																																										
	上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																																									
		防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																																																																																																																																									
	中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																																									
		機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																																																																									
中間階	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																																										
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																																																																										
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																																																																																																																																										
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																																																																																																																																										
地階・1階	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																																																																										
		外気条件(目標値)				室内(調整目標値)																																																																																																																																																																									
一般		一般		一般		一般																																																																																																																																																																									
(DB)		(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																																																																																																																																																							
夏季	36.0	℃	50.2	%	28.0	℃		%		℃		%																																																																																																																																																																			
冬季	-0.4	℃	78.5	%	19.0	℃		%		℃		%																																																																																																																																																																			
	外気条件(目標値)				室内(調整目標値)																																																																																																																																																																										
	一般		一般		一般		一般																																																																																																																																																																								
	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																																																																																																																																																							
夏季	36.0	℃	50.2	%	28.0	℃		%		℃		%																																																																																																																																																																			
冬季	-0.4	℃	78.5	%	19.0	℃		%		℃		%																																																																																																																																																																			
<p>有限会社 保木本設計</p> <p>一級建築士事務所</p> <p>鳥取県知事登録第883号</p> <p>一級建築士登録 第139287号</p> <p>管理建築士 保木本 啓一</p>	<p>CHECK DESIGN DRAW PROJECT NO TITLE</p> <p>浜村警察署鹿野駐在所改修工事</p>	<p>DRAWING NAME</p> <p>SCALE</p> <p>NO</p> <p>機設設備工事特記仕様書(2)</p> <p>M-02</p>	<p>(山根設計 山根貴志)</p>																																																																																																																																																																												



改修前



冷暖房 機器表 (撤去)

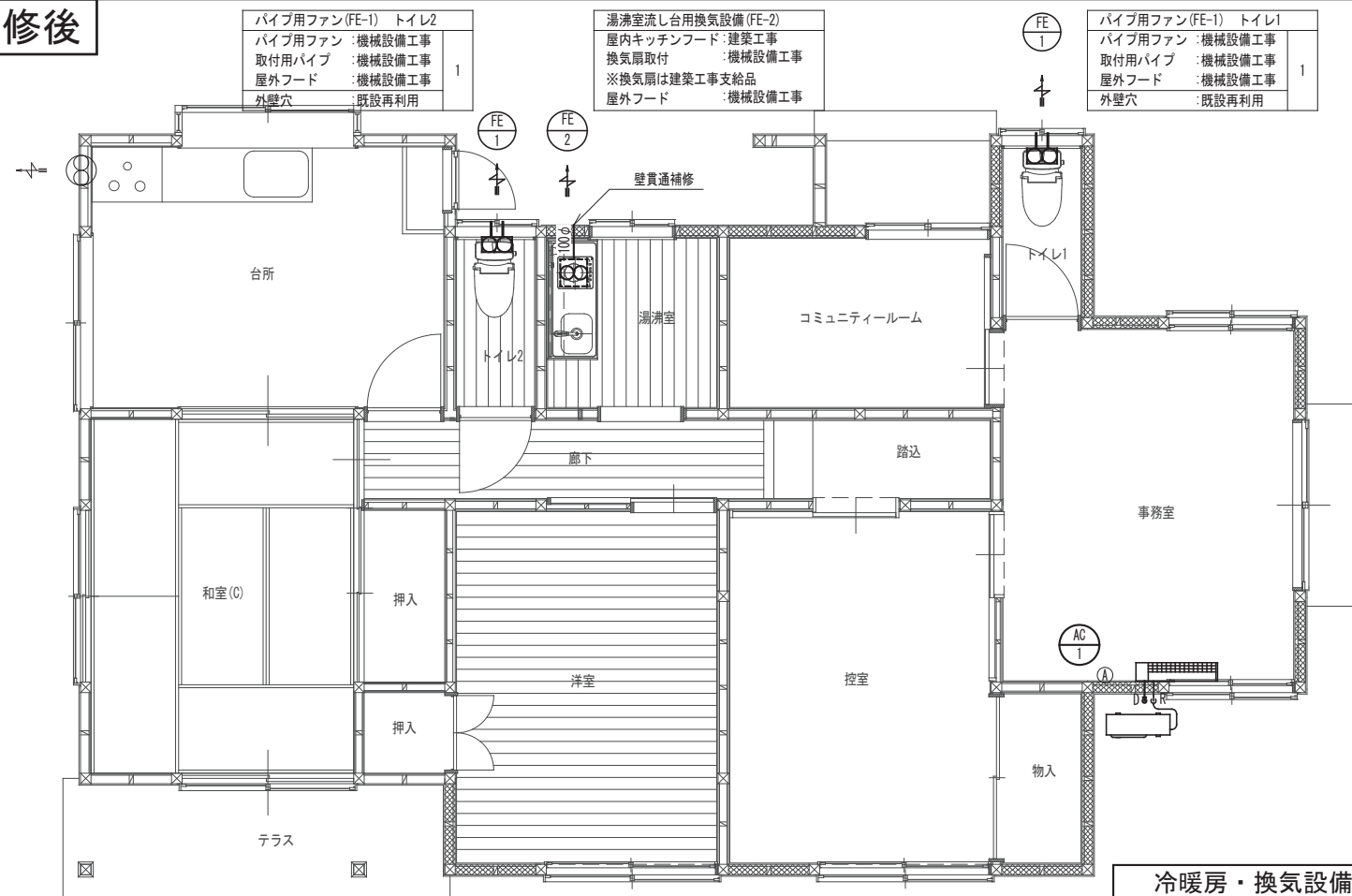
機器番号	室名	仕様	電源容量		台数	備考
			相	V		
AC 1	事務室	ルームエアコン 冷房:2.2kW	1	100	0.65kW	1 撤去 (家電リサイクル) 冷媒:R22 0.57kg 室外機重量:24kg

凡例 (撤去)

R	冷媒管	冷媒用被覆銅管
D	ドレン管	VP
Ⓐ	φ6.35/φ9.52 VWF 1.6-3C	

冷暖房・換気設備 撤去図 (改修前) S=1/50

改修後



冷暖房機器表

名称	記号	運転方式	室内機形式	定格 冷房能力 kW	定格 暖房能力 kW	圧縮機			消費電力		付属品	数量	備考
						相	V	kW	冷房	暖房			
ルームエアコン	AC-1	1台運転	壁掛形	2.8	3.2	1	100	0.75	0.54	0.675	ワイヤレスリモコン 転倒防止金具	1	室外機銅製架台 (300H) 室外機基礎 (既設再利用) グリーン購入法適合品

換気機器表

名称	仕様	記号	ダクト径 φ	風量 m3/h	静圧 Pa	電気容量			付属品	数量	備考
						相	V	W			
パイプ用ファン	格子形	FE-1	100	40	10	1	100	10	深形フード(アルミ製:防虫網付)	2	電気式シャッター付、直結式
天井埋込形換気扇	(建築工事)	FE-2	150			1	100		深形フード(アルミ製:防虫網付)	1	ダクト接続:機械設備工事

冷暖房設備 凡例

R	冷媒管	冷媒用被覆銅管
D	ドレン管	VP20
Ⓐ	冷媒用被覆銅管 室内外機渡り配線	φ6.35/φ9.52 EM-EFF 2.0-3C E1.6

< 冷暖房設備 特記事項 >

- 図中の配管・配線サイズは参考とし、選定したメーカーの仕様に合わせて施工する。
- 冷媒用被覆銅管の被覆厚は、液管10mm、ガス管20mmとする。
- 屋内外露出冷媒管は、樹脂製化粧カバー(参考:SD77)にて保護とする。

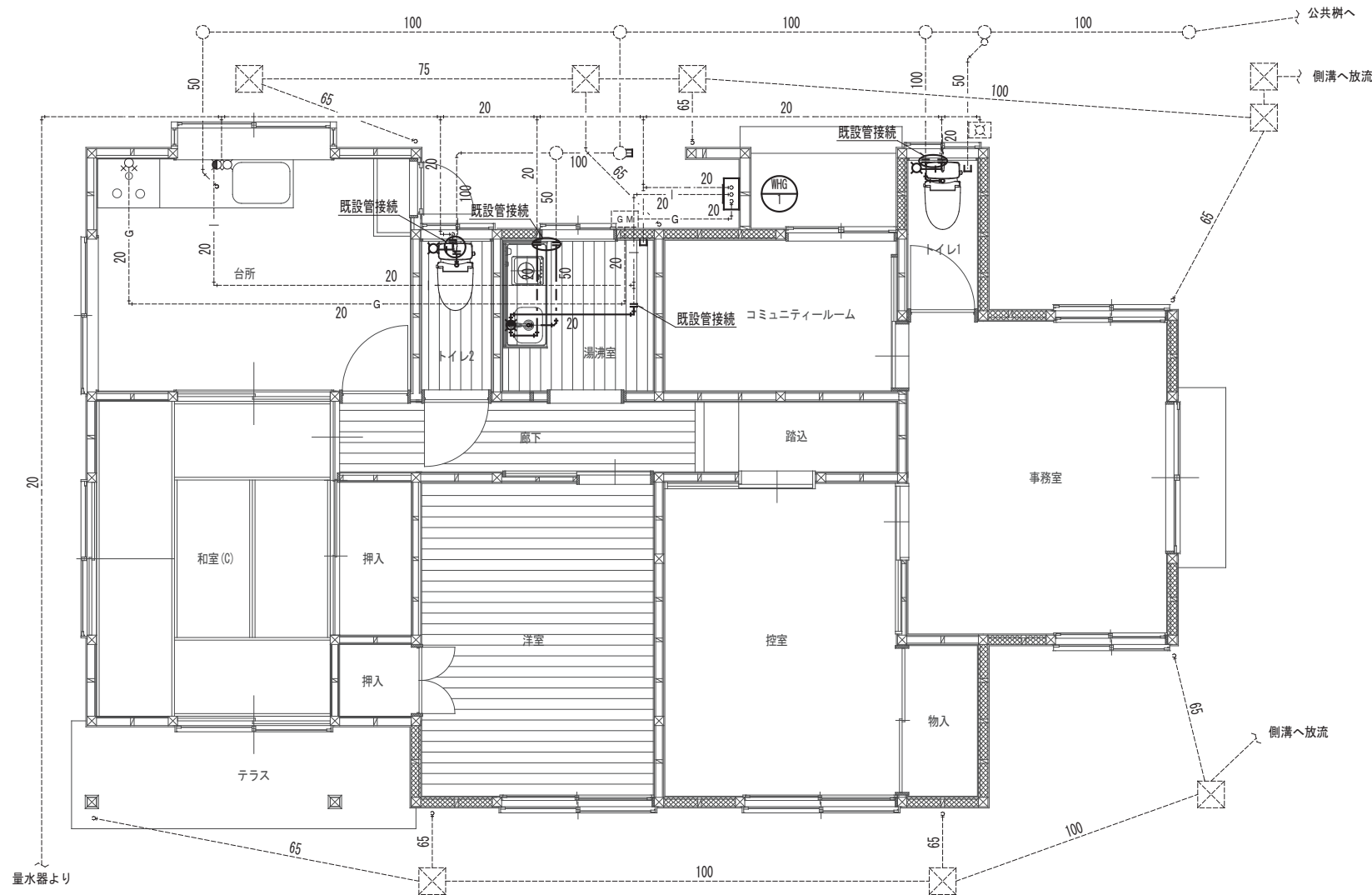
冷暖房・換気設備 改修図 (改修後) S=1/50

鳥取県

令和7年度
J2500828

東部建築住宅
事務所

(山根設計 山根貴志)



給排水・給湯・衛生設備 改修図(改修後) S=1:50

衛生器具表

器具名称	参考品番	器具仕様 (参考品番)	トイレ1	トイレ2	湯沸室	合計
洋風便器	CS597BMS	排水アジャスター付、SH597BAR (手洗付ロータンク) TCF587 (温水洗浄便座)、YH600FMR (棚付二連紙巻器)、YT405 (タオルリング)	1	1		2
流し台	(建築工事)	※排水管接続は機械設備工事			1	1
シングルレバー混合栓	(建築工事)				1	1

給湯機器表

名称	記号	形式	号数	LPガス消費量 kW	消費電力 φ・V	付属品	数量
ガス給湯器 (給湯専用)	WHG-1	屋外壁掛形	16号	29.4	1φ100V	配管カバー(参考寸法:900H)、付属品一式、凍結防止ヒーター付 台所リモコン ※リモコンは電気設備工事へ支給 グリーン購入法適合品	1

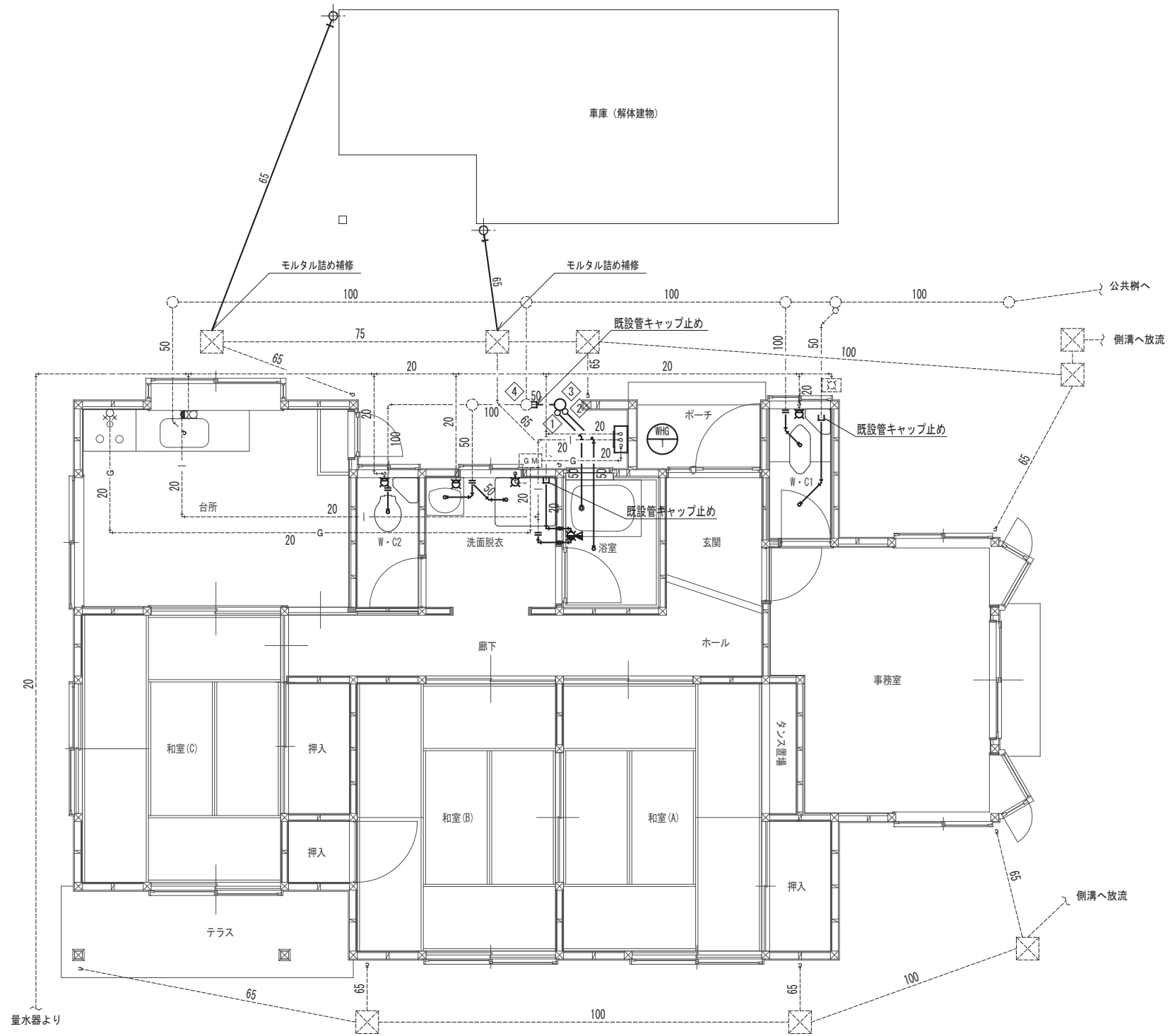
凡例

給水管	屋内一般	H1VP
	屋外露出	H1VP
	屋外埋設	H1VP
排水管	屋内一般	VP
	屋外埋設	WU
給湯管	屋内一般	H1VP
	屋外露出	H1VP
ガス管	屋内一般	SGP(白)
	屋外露出	SGP(白)
	地中埋設	合成樹脂被覆鋼管
既設管	※既設のまま	
既設管接続	※給水管、給湯管、ガス管、排水管	

ガス給湯器(WHG-1)廻り		
給水	逆止弁付ボール弁20	1
	水道用フレキチューブ(300L)20	1
給湯	水道用フレキチューブ(300L)20	1
ガス	ガス中間バルブ20	1
	ガス用金属フレキホース(300L)20	1

※給湯器廻りの露出給排水、ガス管は新設
 ※給湯器廻り露出配管の保温は
 給水:ポリスチレン厚20mm(SUSラッキング)
 給湯:グラスウール厚20mm(SUSラッキング)とする。
 ※露出ガス管(SGP(白))は塗装とする。





給排水・給湯・衛生器具設備 撤去図(改修前) S=1:50

樹リスト

記号	名称	規格	MH蓋	参考深さ(H)	数量	備考
◇	プラスチック樹	φ75	塩ビ蓋	325	1	DR 撤去
◇	プラスチック樹	φ75	塩ビ蓋	325	1	DR 撤去
◇	プラスチック樹	φ150	塩ビ蓋	330	1	45Y 撤去
◇	プラスチック樹	φ150	塩ビ蓋	335	1	90Y 既設のまま

給湯機器表 (撤去)

名称	記号	形式	号数	台数	備考
ガス給湯器	WHG-1	屋外壁掛形	16号	1	

凡例 (撤去)

---	給水管撤去	屋内一般	H1VP
---		土間埋設	H1VP
---		屋外埋設	H1VP
---	排水管撤去	屋内一般	VP
---		屋外埋設	VU
---	給湯管撤去	屋内一般	HTVP
---		屋外埋設	HTVP
---	ガス管撤去	屋内一般	SGP(白)
---		屋外露出	SGP(白)
---		地中埋設	合成樹脂被覆鋼管
---	既設管	※既設のまま	
---	既設管切筋	※給水管、給湯管、ガス管、排水管	

衛生器具表 (撤去)

W・C1	和風大便器(兼用便器)、ロータンク	撤去
	紙巻器	撤去
	床排水金物 40A	撤去
W・C2	洋風大便器、ロータンク	撤去
	洗浄便座	撤去
洗面脱衣	紙巻器	撤去
	洗面化粧台(W=600)	(撤去:建築工事)※配管切り離しは本工事
	化粧鏡	撤去
	洗濯機パン	撤去
浴室	洗濯機用水栓	撤去
	シャワー金具(混合栓)	撤去
	排水金具 50A	撤去
台所	台付混合栓	既設のまま
	二口ガスコック	既設のまま
屋外	散水栓	既設のまま



(山根設計 山根貴志)